

令和 3 年度（2021 年度） 第 1 回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会 主な意見

■日時 令和 3 年（2021）7 月 27 日（火）14：00～

■場所 熊本市役所別館駐輪場 8 階会議室

■出席者 伊東（龍）委員長・伊東（麗）委員・河島委員・小堀委員・坂本委員・西嶋委員・服部委員・廣瀬委員・毛利委員・森崎委員・山尾委員・山田委員 計 12 名
 ※山田委員はリモートでの出席、小畑委員は欠席

【前回委員会の主な意見】

委員	委員意見	当日の回答	対応
廣瀬	・顔はめ看板の横に熊本城等の文言はあったか。ここが熊本城だということが写真を撮った時に分かった方が SNS で流れた際にわかりやすいように思う。	・名称等は入っていない。	・「熊本城」のプレート設置済。 

【報告・議題】

1）今年度の委員会について（主な審議等の予定 ・開催スケジュール）

委員	委員意見	当日の回答	対応
	発言なし		

2）熊本城域の基本情報

委員	委員意見	当日の回答	対応
西嶋	・配布資料第 6 章に運営体制の整備というところがあり、本文を見ると各関係機関との連絡会議を設けると書いてあるが、今どのような形で進捗しているのか。今後、保存と活用を進めていく時に、運営体制の整備というものを明確にし、具体的にどう進めていくのかをこの委員会で検討いただくことが重要かと思う。	・全体的なバランスの中で運営体制の整備を最後あっさりまとめている印象かと思う。この委員会を進めていくにあたり、それぞれ課題や皆さんの意見などをいただくと思うので忌憚のないご意見をいただき、事務局もそれを参考にして務めたいと思う。	
毛利	・資料 4 - 3 のゾーニング計画の中に別紙の地図が	・保存活用計画策定の段階では、三の丸につい	

	あったが、三の丸と二の丸は近く、どちらも公園になっているので、二の丸だけでなく三の丸についても緑の憩いの広場ゾーンにしてもよいのではないか。 ・資料 3 の文化財の保存と活用に関する基本的な考え方に文化財の価値を地域に生活する人々が享受できるとあるが、この地域に生活するというのは広い範囲で考えて熊本県民、市民というように受け止めてよいのか。	ては博物館や刑部邸があるので歴史体験ゾーンという形で方針を定めているが、緑の部分もある。計画自体は今の段階では変えられないが、運用の中では広く緑、憩いの場としていただけるようにしたい。 ・熊本城の保存活用計画で地域というものを限定して、地域住民と記載しているわけではない。当然テーマごとに市民・県民のことを想定していたり、熊本城の城域の中の話であったり、様々な場面がある。	
--	---	--	--

3) 千葉城地区（NHK 跡地等）の史跡整備計画について

委員	委員意見	当日の回答	対応
西嶋	・千葉城地区については、11 月ごろに開催される二回目の委員会で成果報告・基本計画案、調査計画案を示されるということか。 ・かつて委員会メンバーと有識者を加えた部会を設置したことが相当有効だったと認識しているので、今後検討の在り方というものがどういう形に変わる部分、変わらない部分があるのか。	・資料 2 で例示しているが、基本的には具体的な基本計画案を示す段階までは今年度はいかないだろう。順番としては、資料の整理把握をしたうえで何が必要かを積み上げていきたいので、11 月は成果報告、調査計画案になると思う。 ・現在の委員構成自体が各分野・団体の代表の方々一名ずつ委員になっていただいているような状況であり、現時点では千葉城地区については委員の皆様から意見をいただきたいと考える。そのため、すぐに部会を設けてそれぞれの案件を分けることは考えていない。将来必要に応じて有効になれば考えていかなければならないと思う。	成果報告は資料 2-1、調査計画案は資料 2-2 により説明。

河島	千葉城を調査し、武家屋敷の地割や屋敷内部の施設等を明らかにするというが、作り物を作るのは私はどうかと思う。かといって中世の地図があるわけではないし、中世の在り方がどうなっていたかということもよくわからない。千葉城の在り方の本質をどうとらえていくのかというのが一番重要だと思っているし、県立美術館分館の活用と千葉城をいかに保存していくかを考えていただきたい。	千葉城地区（NHK 跡地）については、古代の横穴墓や中世城があったり、西南戦争の砲台が置かれたり、軍で使われていたという歴史がある。ここにあるべきものとして近世城郭という部分は保存活用計画でもあるが、そういう歴史もしっかり伝えていくことも必要と当然考える。それが NHK 跡地が他の所と違う役割、ここならではの部分というものが出ると思う。そういった情報を整理して提供させていただきながら、皆様から色々なご意見をいただきたい。	資料 2-1 により説明。
服部	3 回でイメージを固めておくということだったが、その点はどういう方法でイメージを深めていくのか。3 回でイメージを深めていくのであればどういう方法でアプローチしていくのが説明を聞いてもよくわからなかった。具体的にはどうしていくのか。	実際に 2 回で固めてしまうわけではなく、あくまで目安とさせていただいた。調査研究成果を第 2 回、第 3 回で提示し、その中で具体的な議論に入っていきたい。今回としてはこれからの方針をご了解いただければと思う。	
坂本	調査研究をするにしてもそこが目的ではなく、どういう風な保存をして、どういう風に活用していくかという結論を導き出すような議論をしていかなければならない。千葉城地区は熊本城と上通をつなぐ場所であり、熊本城を起点として周回する熊本の観光にとって重要な場所であるので、どのような活用をするかという議論も同時にどこかでしていかなければならない。		
山尾	本質的価値を把握するとあるが、千葉城地区の本質的価値はどの時代からを対象とするのか。中世	基本的に近世城郭が本質的価値の部分であると考え。ただ、熊本城の前後の歴史も重要で	整備計画を進める中で、活用についても検討を進めていきたい。

	以前を全て含めるのか、熊本城の本質的価値とされている時代を対象とするのか明確ではない。	あるため、新たな資料の発見や発掘調査で明らかになることがあれば、本質的価値の部分ではないかもしれないが、理解を深めるために必要であれば調査を進めていく。	
山田	・ 中世城の問題は、熊本城エリアに先行する城があったかどうかということにも関わってくるので、中世段階の状況の把握はそれなりに意味があると思う。		・ 中世城については今後も調査研究を進めていく。
西嶋	・ 行幸坂・櫓方門のように後世に手が加えられ違う意味合いの名所になり、市民に定着している所がある。そういった場所については歴史的な経緯を説明してもらうことで納得感が得られると思う。保存と活用の観点からすると、エビデンス（根拠）に基づいた活用の検討をお願いしたい。 ・ 人流・消費などのデータに基づいて活用を議論しなければならない。過去の経験や思い込みで物事を解決しようとする傾向があるので、これからはDX等も使って科学的に分析された資料に基づいて活用を議論することが必要だ。		・ ご意見を受けて検討を進めていきたい。

4) 熊本城みどり保存管理計画について

委員	委員意見	当日の回答	対応
廣瀬	・ 行幸坂の桜について伐採を予定という事だが、伐採された後、植樹の予定があるか。	・ 桜の寿命が来ているのも実際あるので、今回の伐採をするのが一点。桜自体は切ってからしばらく期間を置かないと補植が難しいというのが一つと、少し離れた所に植えなければならないのも一つ。行幸坂そのものは、元々南坂に盛土をしているが、補植ができる場所は	

		どこかという事の検討が今からとなる。	
西嶋	・2回の委員会の議論でほんとうに多項目にわたる問題が着地できるのか心配だ。1つは上位概念、「みどりの基本計画」に該当する部分を、次回の委員会でお示しいただきたい。 ・緑に関して、歴史的事実の認識が不足している。明治以降近代になってから造営された緑が相当沢山在ると私は認識しており、城域は近代のランドスケープの創造の場ではなかったか。その点が資料化されていない。 ・我々も15年間ほど官民連携で桜の植樹活動をしてきたが、横目ではボロボロになった桜を見てきた。15年前から現場ではどういう管理をしてきたのか、不作為は無かったか。その辺りも点検して欲しい。	・一度11月に途中経過という形でご報告させていただきたい。 ・熊本城については「熊本城保存活用計画」を踏まえながら、しっかり管理を行なっていくという一言が書いてある。	○第2回委員会（本日）で説明
服部	・今回熊本城の歴史的変遷を調査されるという事で、土地利用の変遷、遺構調査が入っているが、元々建物があった所には木は無いと思う。石垣に悪影響を与えているというのは、そもそも木が生えるべきでは無い所に木が生えたから、石垣の中に入り込んでいっていると思う。それから遺構表示をする場合に、ここにこういう建物があったんだという、表示するのが史跡の普通のやり方だと思う。そういう遺構表示をした所に木が在ったらおかしいと思う。 ・熊本城ではこういった植栽をして、城としての機能を果たしていたなどの情報や、熊本城はどうい		○第2回委員会（本日）で説明

	う姿が本当なのかななどの情報を分かるようにしてもらえたらいいと思うので、今回の歴史の変遷にはそういった所も加えてもらおうとありがたいと思う。		
伊東 (龍)	・熊本城の植栽の変遷、近世から近代まで連続して歴史が成立する中で、それらを踏まえた案ができることが望ましい。		○第2回委員会（本日）で説明
小堀	・城内の木について歴史的価値といいですか、歴史があるものと近世のものといういろいろあると思うが、古樹についてまとめられていますが、できるだけ残してもらいたいと思う。ただし安全確保は必要。 ・熊本城図で坪井川沿いに桜が描かれているものがある。古い絵図で桜があったと分かる場所についてはケアしてもらい、眺望・景観を維持できるよう配慮してほしい。	・古樹につきましては、今年度は詳細点検をさせていただいて、保存の可能性を見極めながら対応策を考えさせていただく。	
河島	・お城としての景観をいかに観光客にもうまく見せるか、城壁の石垣を遠方からでも綺麗に見せるのか重要かと思う。ここに通町から見た熊本城の写真があるが、樹木がどんどん育っていくので伐採もしながら管理することが大事。		
毛利	・熊本城の特別史跡の中に樹木で国指定の天然記念物になっている所は、何ヶ所くらいあるのか。 ・藤崎台の大クスノキについては、今回計画の中に入っていない。大クスノキの管理は熊本城管理事務所がやるという方向に検討していただければ、	・国の特別史跡の中に国指定の樹木はありません。特別史跡として保護されていて、その中の樹木で個別に指定されていない。 ・県文化課の方とは情報共有しながら、お互いに意見交換をして適切な管理を続けていく。	

	ありがたい。		
伊東 (麗)	・熊本城内の緑というのは、安全面以外にも、観光客に対しての緑陰効果とか大変重要だと思う。木が切られたとしても樹冠を少しでも広げて、緑陰を確保するという事で緑の基本計画にも繋がると思う。		・ご意見を受けて検討を進めていきたい。
西嶋	・4番の熊本城みどり保存管理計画ですが、これは継続審議か。今日提示されたものは、全て継続か。継続審議のものと結論を出すものをしっかり分けて諮っていただきたい。	・今回特にD判定についての考え方の方向性の承認をいただきたいのと、安全対策工事が終了し開放する行幸坂のD判定樹木が11本ほど工事エリアにあるが、それについては、計画を作る前に伐採の方で進めさせていただければと思う。	
伊東 (龍) 委員 長	・計画そのものは継続審議で、行幸坂のD判定については直ちに伐採したい。D判定で行幸坂以外のものは、時期まだいつという事はないということか。	・計画そのものは、今後も継続して審議にかけていきたい。 ・D判定の樹木については、優先度を高く設定して近年中に対応したいと考えている。しかし予算等の関係もあるので、全てを一遍にする事は難しい。トライアージ（優先度選別）を考えながら、対応を進めたいと考える。	

5) 今年度の復旧事業予定について

委員	委員意見	当日の回答	対応
	発言なし		

史跡整備に伴う NHK 跡地の発掘調査について

1. 調査の目的

整備基本計画の策定に向けて、本質的価値を詳細に把握するため、これまでの絵図・古地図・古写真等の調査、史跡指定前の既往の発掘調査や旧 NHK 建物解体時の立会結果をもとに、発掘調査を実施する。（第 1 回委員会承認事項、資料 2-2、資料 4-1）

2. 絵図・古写真等の調査及び既往の発掘調査成果【参考資料参照】〔報告〕

- ・ 7 世紀中葉頃とみられる横穴墓計 10 基を発掘調査で確認（昭和 37 年）
- ・ 発掘調査では中世城にみられる「抜け穴」とされる遺構も確認（昭和 37 年）
- ・ 加藤時代に武家屋敷として利用。細川時代にも継承され、江戸時代後期には藩施設も設置される
- ・ 明治 9 年（1876）に熊本中学校開設。明治 10 年西南戦争で焼失。政府軍陣地となる
- ・ 陸軍用地となり、工兵営・憲兵本部・偕行社などの施設として利用される

3. 想定される遺構【トレンチ配置案（資料 2-2）参照】〔審議〕

○陸軍施設（工兵営・憲兵本部・偕行社）

→明治 10 年以降、工兵営設置。明治 23 年に憲兵本部が設置される。敷地西部に井戸あり。
昭和 4 年、偕行社設置。

○西南戦争時の砲台・塹壕跡（T11）

→千葉城には山砲 1 門、野砲 1 門が配備される。塹壕の古写真あり。

○熊本中学校

→江戸時代の武家屋敷地を熊本県が購入後、熊本中学校を建築。武家屋敷時にあった中央の土塁状構造物は撤去された可能性あり。東西に長い複数棟の建物からなる。明治 10 年焼失か。

●武家屋敷（以下●は本質的価値）

→東側は細川時代を通じて松野家（500 石）の屋敷地。西側は所有者が変遷し、江戸時代後期には一部藩施設（掃除方用屋敷）となる。古写真には屋敷の屋根が写るが、建物の平面配置は不明。

●土手や溝、柵などの武家屋敷の区画を形成する構造物（T6、T7、T12、T13）

→中央付近で敷地を区画するのは土塁状の構造物で、高さ 1 間（約 2m）、幅は北部で 6 間（約 12m）、南部で 1 間（約 2m）。

●武家屋敷への入口・通路（T1、T4、T19、T20）

→台地南部に、西から北東に向かってカーブを描く坂状の入口。道幅は 2 間～2 間半（約 4～5m）程度。西側の区画入口には石垣あり。

○中世隈本城

→昭和 37 年の調査で「抜け穴」とされる遺構を確認。NHK 建設にあたって壊されている可能性あり。

○古墳時代の横穴

→昭和 37 年の調査で南側崖面に横穴群を確認。NHK 建設にあたって一部壊されている可能性あり。

4. 発掘調査に向けた今後の流れ

基本計画策定に向けた諸条件の調査・整理

- ・ 絵図、古写真、過去の調査（今回委員会報告）
- ・ 情報確認・整理のための部分的な発掘調査

調査計画案の諮問（今回委員会）⇒

承認案による現状変更許可申請（R3 年 12 月）⇒申請許可（R4 年 2 月）⇒

土地取得後、発掘調査実施（ ～R4 年夏前）

※調査期間中に、委員への現地視察や市民向けの説明会等を考えている

トレンチ配置案

設定トレンチ

立会結果

- 盛土
- 火砕流
- 不明

- 立会地点
- 埋設構築物

凡例

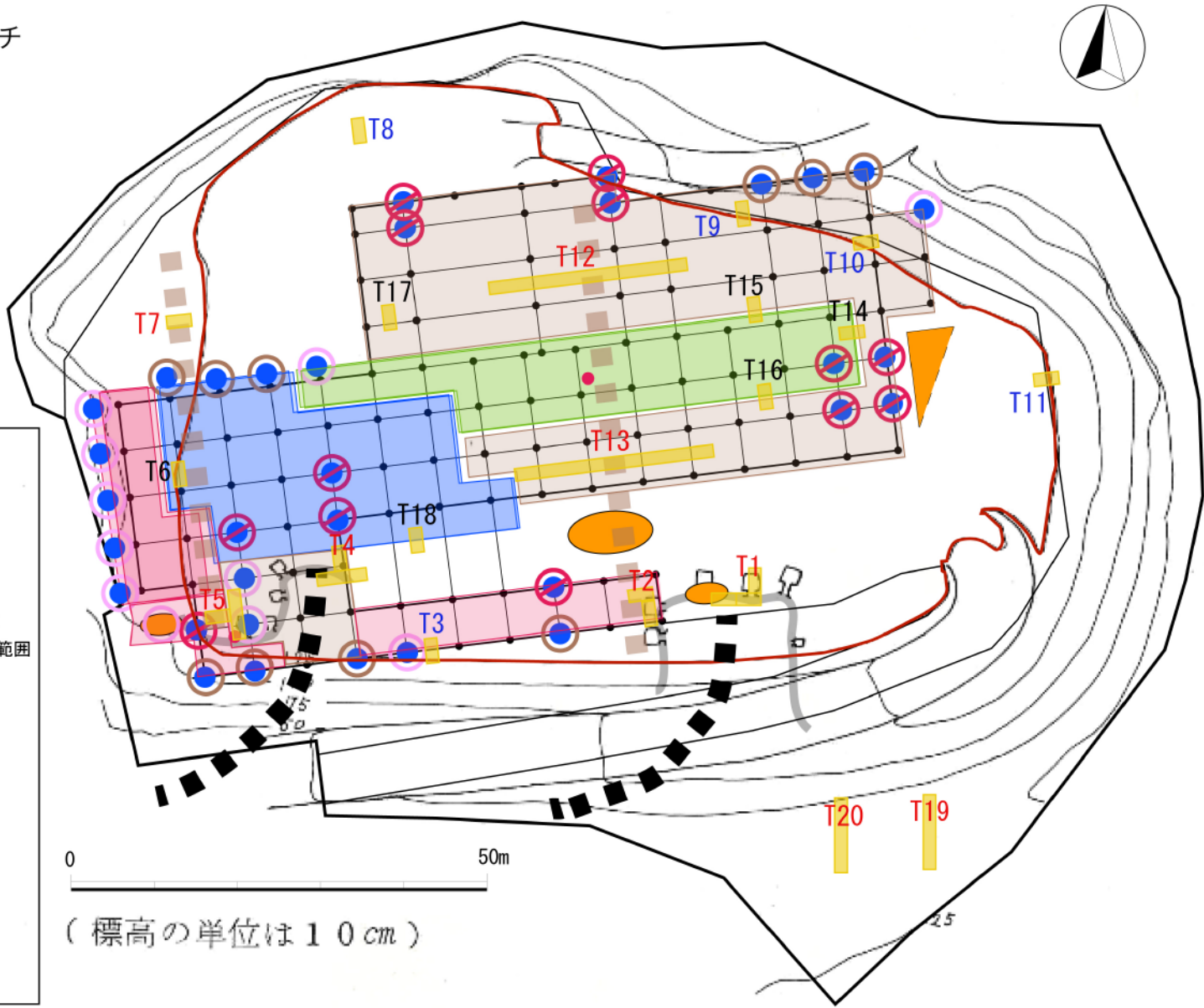
- 古墳時代の横穴墓
- 古墳時代の崖面
- 中世の抜け穴か
- 想定される土手の位置
- 想定される出入口の位置
- NHK 建設以前の平坦面の範囲

基礎杭までの深度

- 4. 470m
- 3. 900m
- 2. 950m
- 1. 495m

調査優先度

- T 高
- T 中
- T 低



Tr 番号	設 定 目 的
T1	近世遺構面・遺構確認(屋敷への入口、古墳時代の横穴)
T2	屋舗境確認、遺構確認(古墳時代の横穴)
T3	旧地形・屋敷境確認
T4	近世遺構面・遺構確認(屋敷への入口、古墳時代の横穴)
T5	旧地形・屋敷境確認(溝・柵など)
T6	旧地形・屋敷境確認
T7	近世遺構面・遺構確認、屋舗境確認(溝・柵など)
T8	近世遺構面・遺構確認
T9	旧地形・屋敷境確認
T10	旧地形・屋敷境確認
T11	近世遺構面・遺構確認(西南戦争時の塹壕)
T12	近世遺構面・遺構確認、屋舗境確認(土塁幅2~12m)
T13	近世遺構面・遺構確認、屋舗境確認(土塁幅2~12m)
T14	近世遺構面・遺構確認
T15	近世遺構面・遺構確認
T16	近世遺構面・遺構確認
T17	近世遺構面・遺構確認
T18	近世遺構面・遺構確認
T19	近世遺構面・遺構確認(近世~近代の道路)
T20	近世遺構面・遺構確認(近世~近代の道路)

『熊本市北部地区文化財調査報告』1971
「御土居絵図」上林ヨリ藪内橋迄

千葉城地区（NHK跡地等）の史跡整備計画について

1 千葉城地区の概要〔確認〕

「特別史跡熊本城跡保存活用計画」平成 30 年（2018 年）3 月策定より

磐根橋から厩橋に通じる県道熊本四方寄線と旧坪井川河川敷と坪井川に挟まれた区域で、一部に民有地はあるものの熊本家庭裁判所・旧九州財務局分室・熊本県伝統工芸館・旧熊本国税局千葉城分室・県立美術館分館・旧NHK熊本放送局等公共機関等が多く所在する地区である。

◎千葉城地区の整備方針：「文化交流ゾーン」

本丸地区と隣接した空間を活かし、史跡・公園整備等を行って旧城域としての史跡の一体的な保存を図る。あわせて、城下町からのアクセスを意識したエントランスとして位置づけ、既存の文化施設等も活用して市民等が歴史文化・芸術に親しむことができるなど地域の魅力向上に資する地区として整備する。

2 千葉城地区（JT跡地、NHK跡地）の経緯〔確認〕

- ・平成 27 年（2015 年） 日本たばこ産業株式会社（JT）移転 ※平成 29 年度建物解体
- ・平成 29 年（2017 年） 日本放送協会熊本放送局（NHK）移転
- ・平成 31 年（2019 年） 千葉城地区（JT跡地、NHK跡地）保存活用基本構想策定
- ・令和元年（2019 年） 特別史跡「熊本城跡」に追加指定
- ・令和 2 年（2020 年） JT跡地の史跡（土地）取得（3 月）
- ・令和 3 年（2021 年） NHKの旧建物解体（3 月）

※NHK側と売買契約の締結に向けた協議に関する覚書を締結中

3 千葉城地区（NHK跡地等）の史跡整備の考え方について〔確認〕

（1）史跡整備について（文化庁監修「史跡整備の手引き」より）

①史跡整備の手法とは

- ・史跡等とそれを取り巻く諸条件について詳細な分析を行い、その成果に基づき、整備活用事業の内容及びその実現の方法・課題を検討する。
- ・本質的価値を保存し、調査研究を充実させつつ、本質的価値を学び理解する場を提供する。

②史跡整備の過程 【資料 4-2】

i 企画→ii 計画〔基本構想（ここまで実施済）→基本計画〕→iii 設計〔基本設計→実施設計〕→iv 工事の実施→v 管理運営・公開活用〔事業成果の公表→管理運営・公開活用〕

（2）NHK跡地の史跡整備計画の基本的な考え方

「熊本城跡千葉城地区（JT跡地、NHK跡地）保存活用基本構想」（平成 31 年 1 月策定）より

- ・R元年度の熊本城保存活用委員会の意見を踏まえ、下記のとおり方向性を整理
- ◎基本構想に記載した基本方針 7 項目のうち、まずは文化財価値の保存や熊本城の理解促進、歴史・文化を伝えること等を目的とした 5 項目に関する史跡整備内容とする。

◎基本方針 5 項目：「文化財価値の保存」「千葉城地区の歴史を表示」「熊本城の理解促進」「景観保全と緑地の整備」「歴史・文化を伝える整備」

※残りの基本方針である「熊本城の復旧復興の拠点」「熊本城調査研究の拠点」については、その機能や規模の整理を行い、史跡外を含め、引き続き検討をしていく。

4 千葉城地区（NHK跡地等）の基本計画の策定方針案について〔審議〕

（１）基本計画の策定に向けた検討・整理について（令和３年度からの検討案）

①基本計画策定に向けた諸条件の調査・整理の方法について

〔i 必要な情報の把握・整理〕

ア 事業の対象とする史跡等の本質的価値の詳細な把握（絵図、古写真、立ち合い結果など）

【把握するための主な材料・目標等】

- ・ NHK跡地の整備を検討する資料として、絵図・古地図や古写真を重視する。
- ・ 近代・現代の古地図を再検討し、現在に残る地形から江戸時代の旧地形を追跡する。
- ・ 残されている絵図によると複数の武家屋敷があったことが分っている。
- ・ 発掘調査については、豊富な絵図等の史料との照合や過去の立ち合い結果等を踏まえ、必要な部分について遺構の確認を行うなど限定的に行う場合がある。（時期未定）
- ・ これらの調査により、この武家屋敷の地割や屋敷内部の施設等を明らかにすることを目指したい。

イ 公開活用を促進する上で必要となる関連諸条件の把握

- ・ 地域からの要望や、教育・観光、都市など関係部局の計画など構想策定時からの追加的な情報の把握（以前実施したアンケート結果の再分析、新たなアンケート調査の検討を含む）

〔ii 基本の方針の整理・確定〕

ア 基本理念・基本方針（基本構想で整理した方針等の整理・確定）

イ ゾーニング（JT跡地、高橋公園を含む）、整備対象時期など。

②上記の調査・検討・分析を踏まえた基本計画の具体的な内容の検討・策定

参考：特別史跡熊本城跡 千葉城地区整備基本計画目次（イメージ案）【資料４－３】

※第５章「整備基本計画」等、列記したものは「史跡整備の手引き」に参考として示されたものであり、具体的には今後検討していくもの。

（２）想定スケジュール 【資料４－２】

①基本計画の検討・策定：令和３年度から令和４年度（状況により令和５年度まで）

※史跡の保存・理解促進等に向けて何が必要か、何が出来るのかを含め、必要な調査・分析、意見聴取、協議（文化庁含む）等を十分行いながら検討を進める予定

◎令和３年度の検討内容

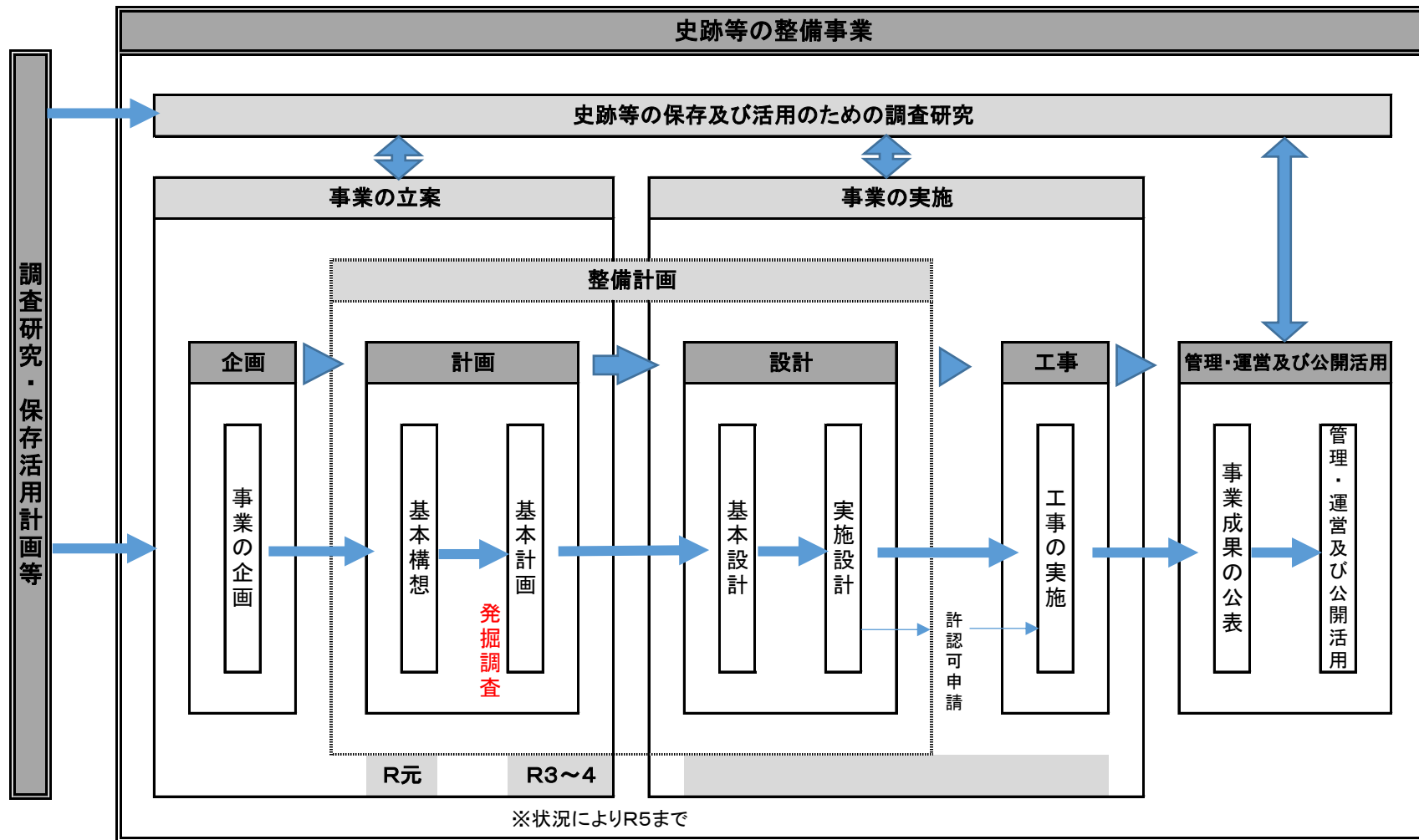
- ・ 必要な情報の把握・整理
- ・ 基本の方針の整理・確定

◎令和４年度以降の検討内容

- ・ 必要な情報の把握・整理（継続）
- ・ 調査・検討を踏まえた基本計画の具体的な内容の検討・策定

②基本設計・実施設計・工事等：基本計画の策定後（令和５年度以降）に実施

【参考】史跡等の整備事業の各過程（史跡整備の手引き（文化庁監修）より抜粋）



特別史跡熊本城跡保存活用委員会
千葉城地区整備基本計画 参考資料

参考資料 1-1 熊本城跡変遷一覧表

参考資料 1-2 千葉城地区変遷一覧表

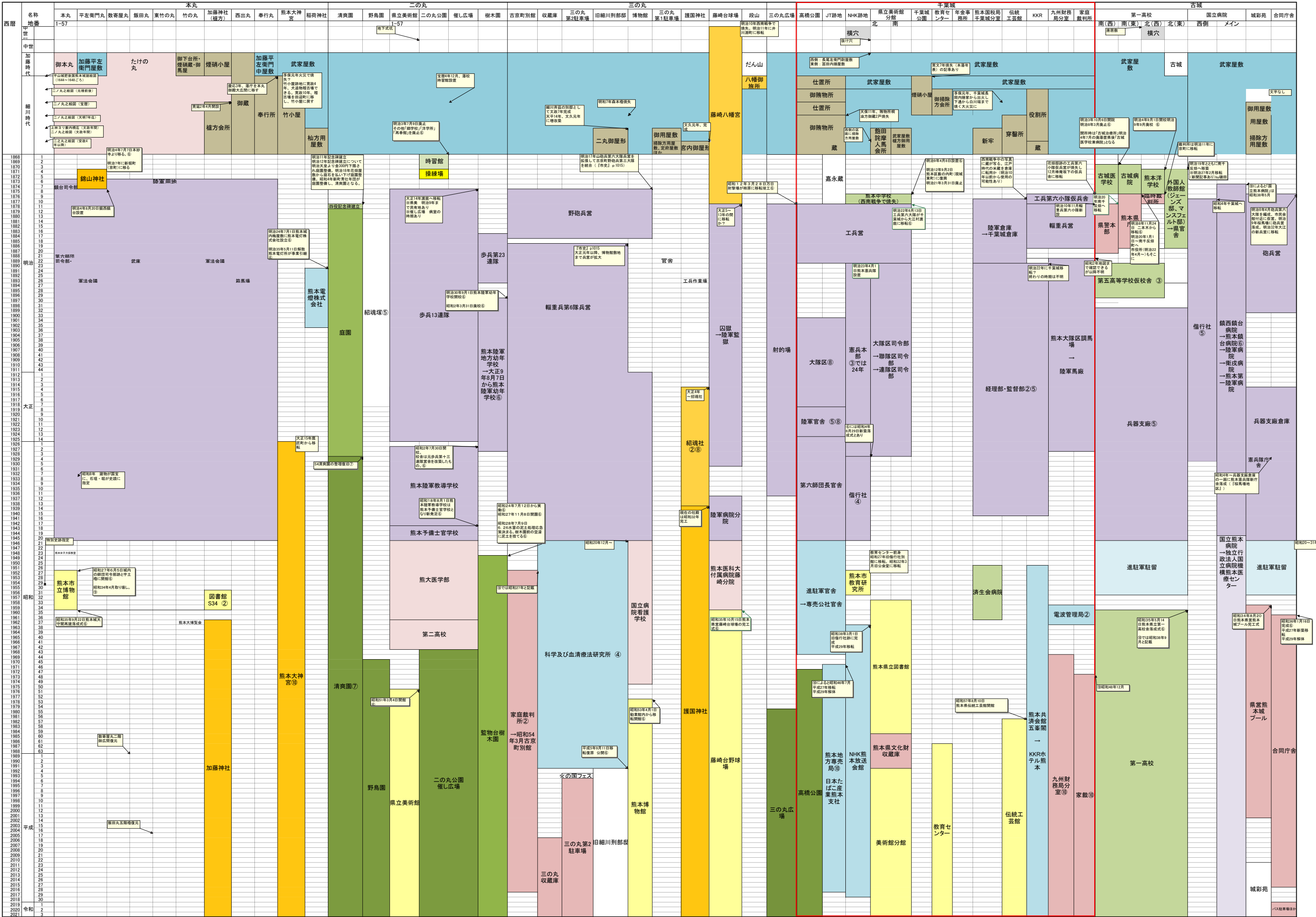
参考資料 2-1 千葉城地区の変遷

参考資料 2-2 「上林ヨリ藪内橋迄」トレース図

参考資料 2-3 「二丸之絵図」トレース図

参考資料 3-1 千葉城地区調査歴

参考資料 3-2 千葉城地区調査・工事・き損履歴一覧

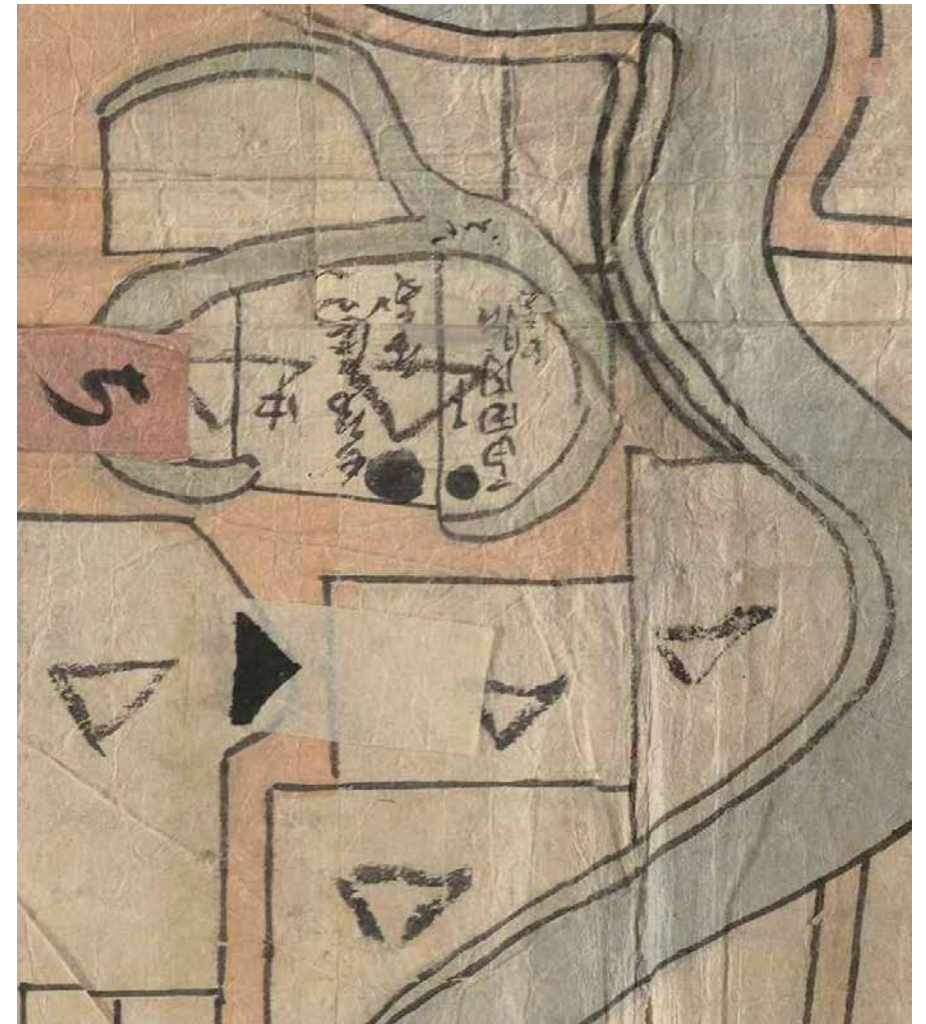
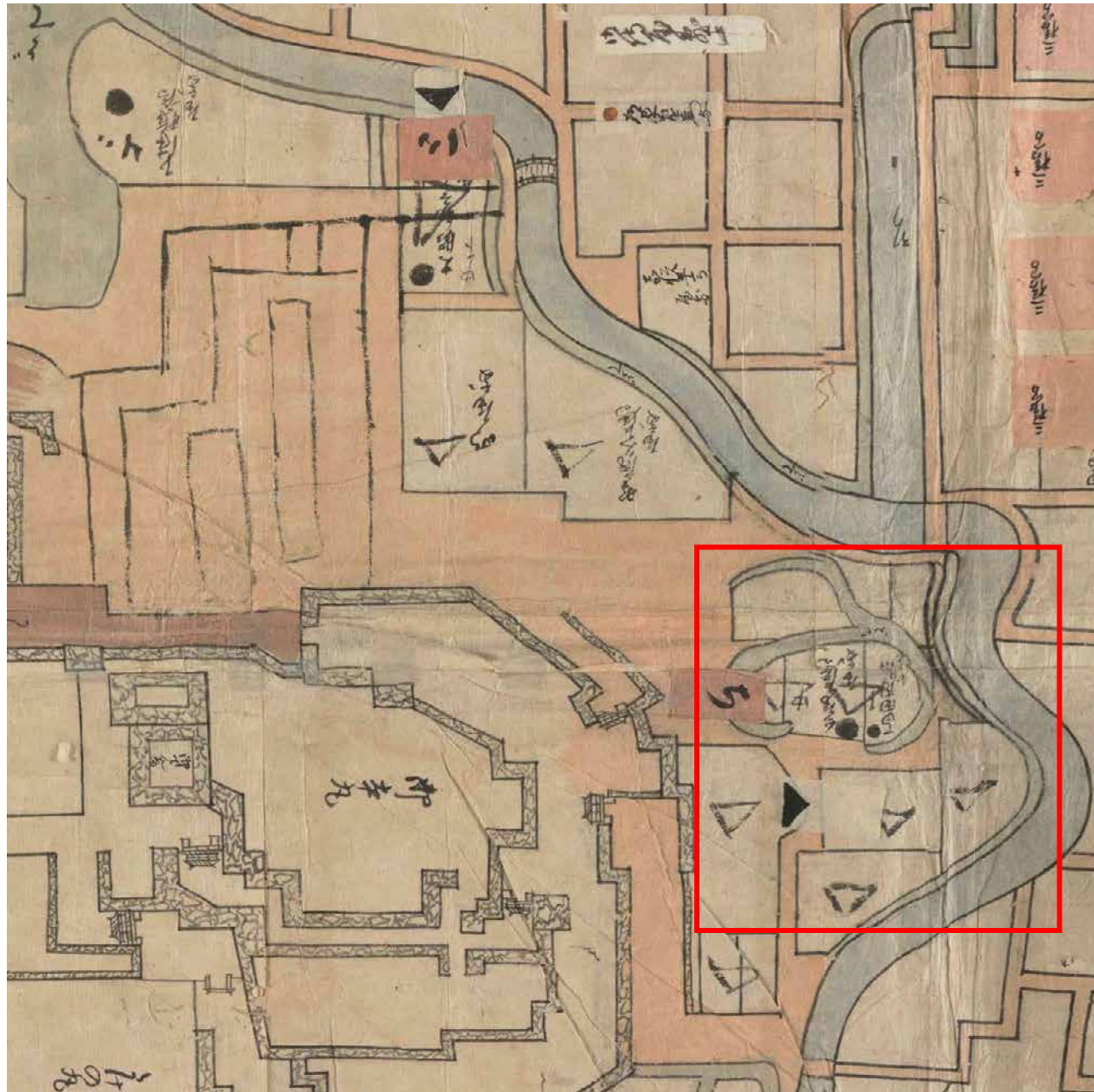


[illegible]

参考資料1-2

千葉城地区の変遷

千葉城地区の変遷



NHK跡地は2区画か

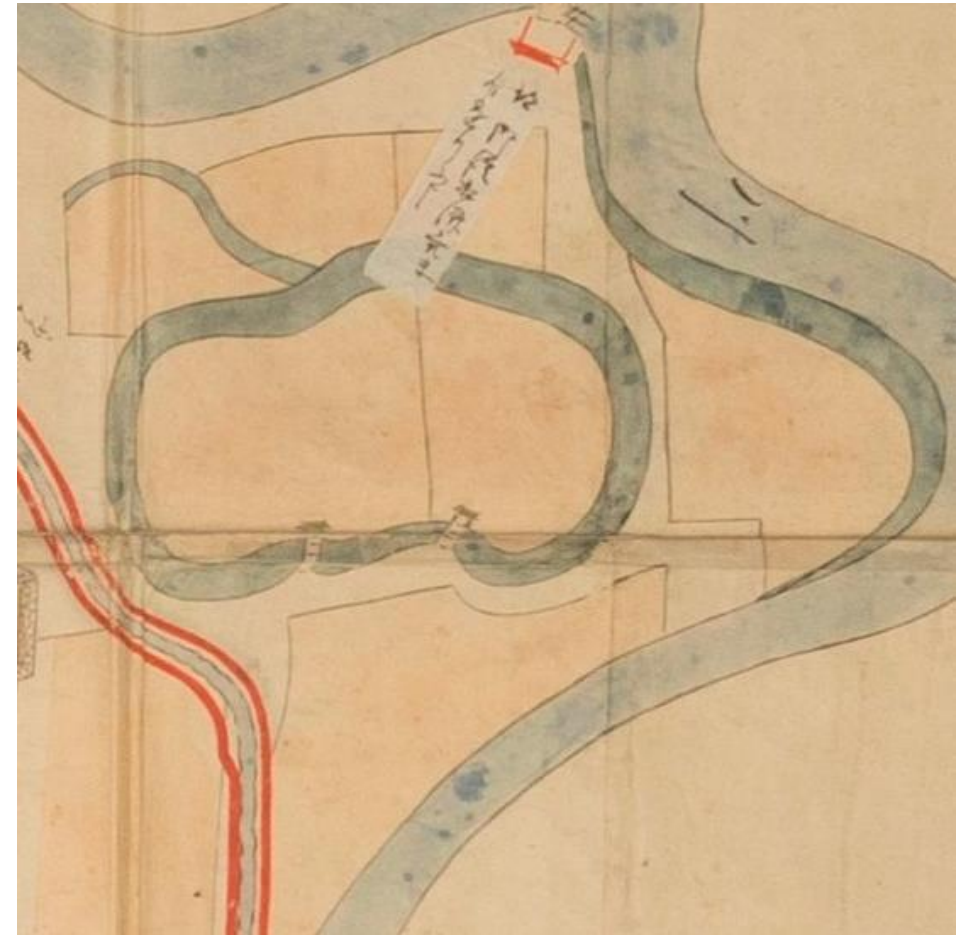
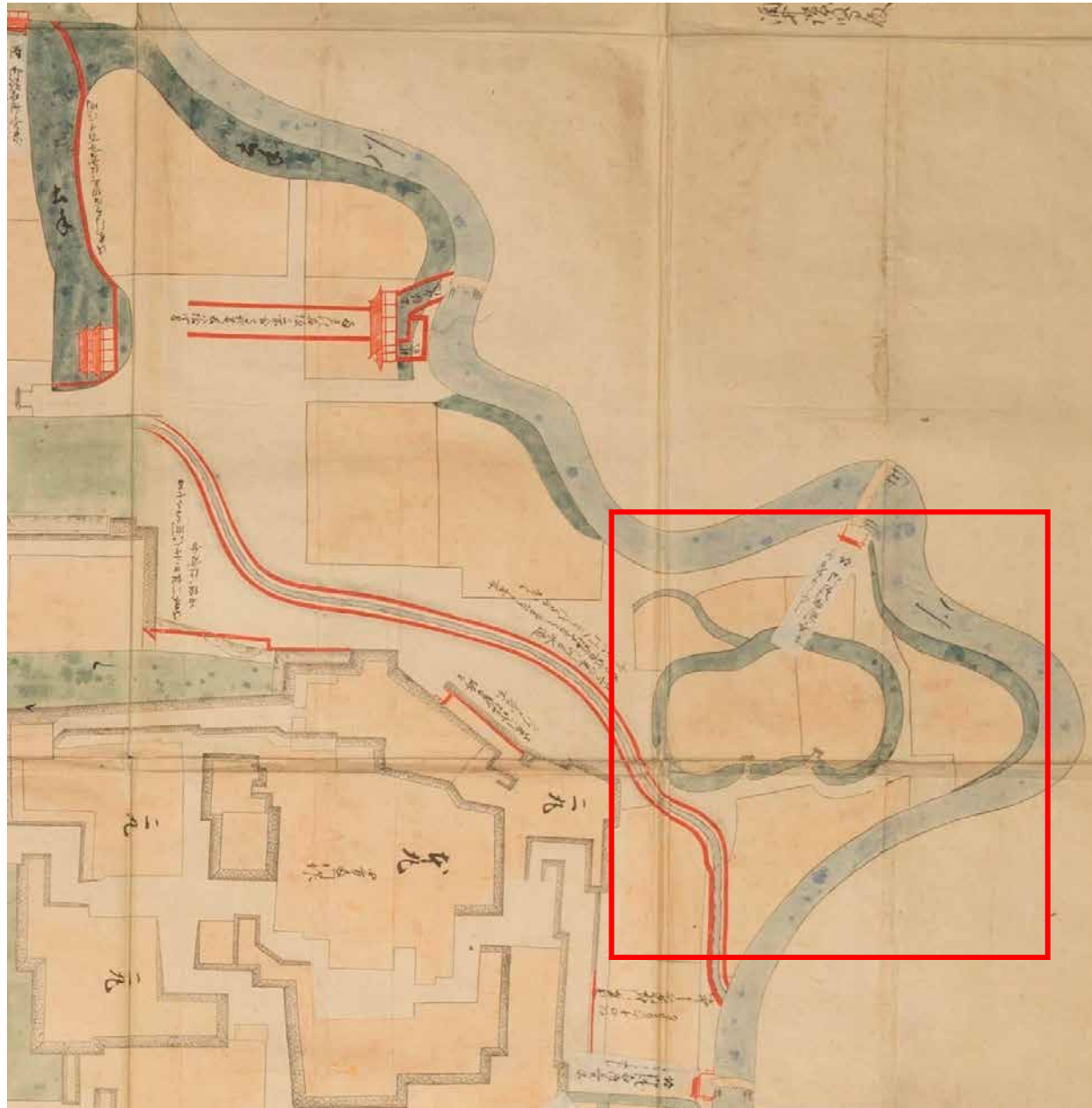
西：長尾左衛門尉屋敷（1500石）、

東：富田内膳屋敷（970石）

寛永6～8年（1629～1631）

熊本屋鋪割下絵図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



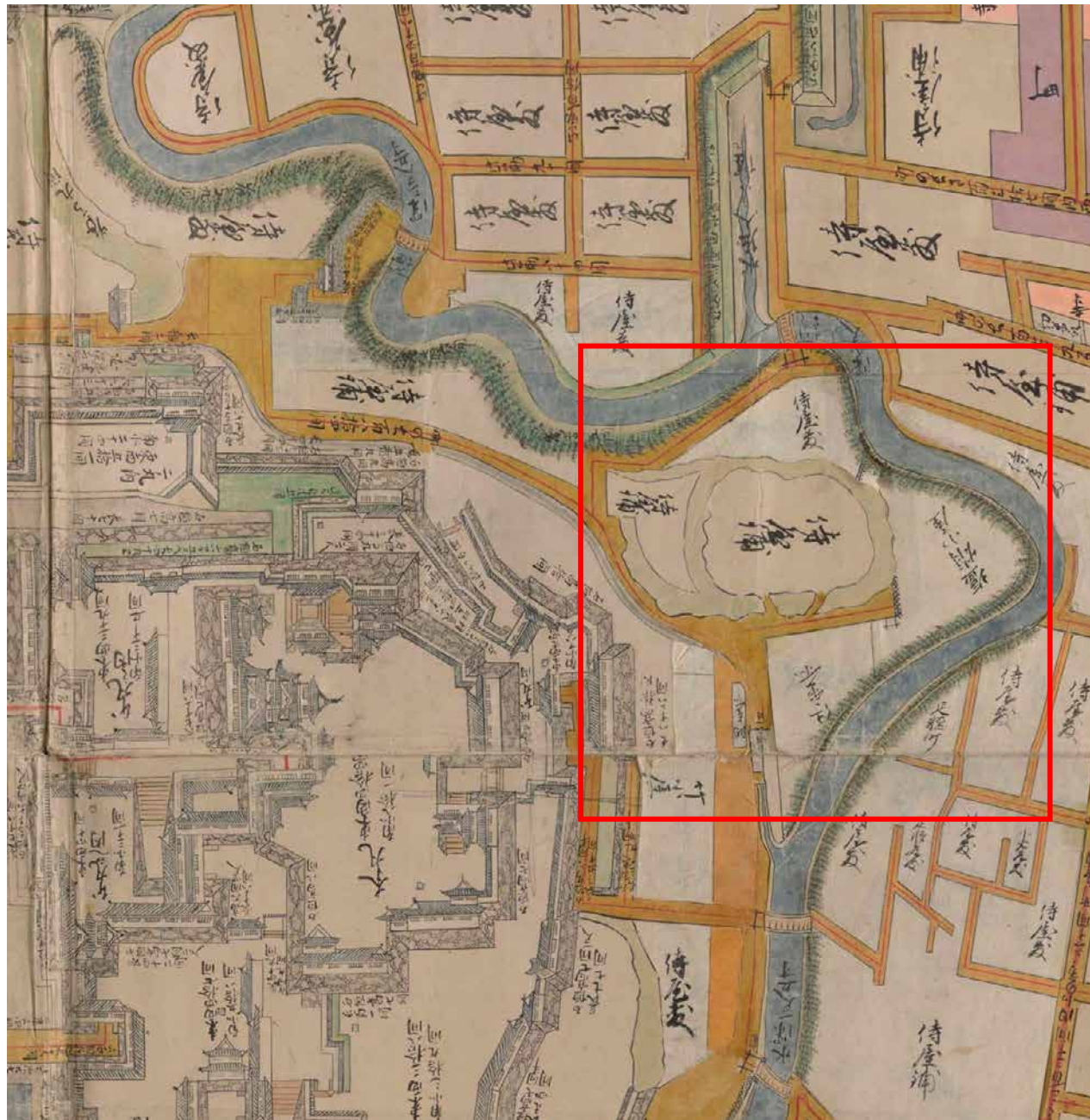
NHK跡地は2区画か それぞれの入口に門あり
玉川の普請

※細川忠利、宮本武蔵を招き千葉城に居宅を与えるとされるが位置は不明

寛永11年（1634）

肥後国熊本城廻普請仕度所絵図（熊本県立図書館蔵）

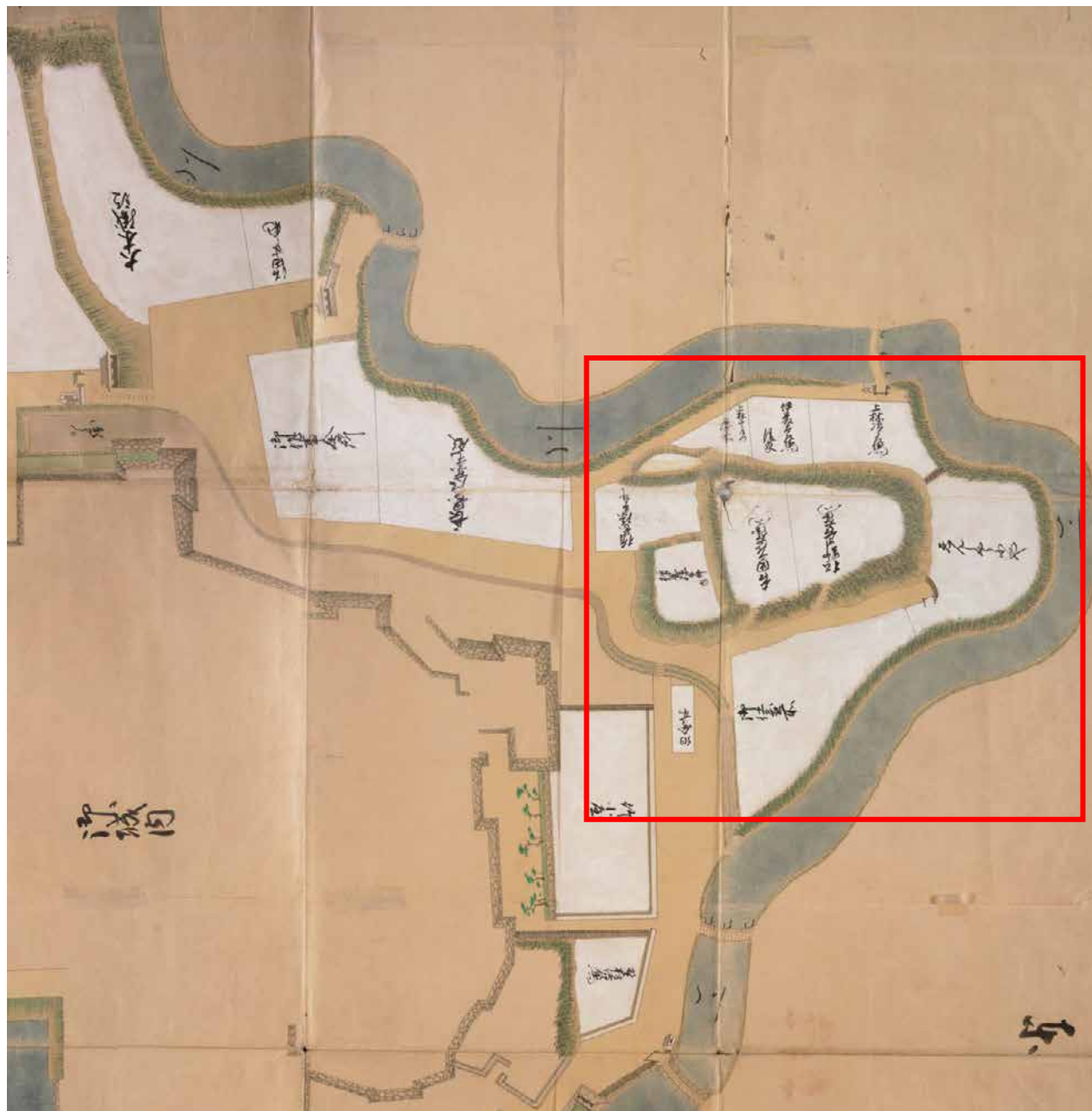
千葉城地区の変遷



NHK跡地内に区画の描写はないが、入口は2箇所
東側（現在の千葉城公園・坪井川）に塩硝（煙硝）小屋

正保年間（1644～1648）ごろ
平山城肥後国熊本城廻絵図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地は2区画

東：松野善右衛門尉（500石、鉄砲五十挺頭）、

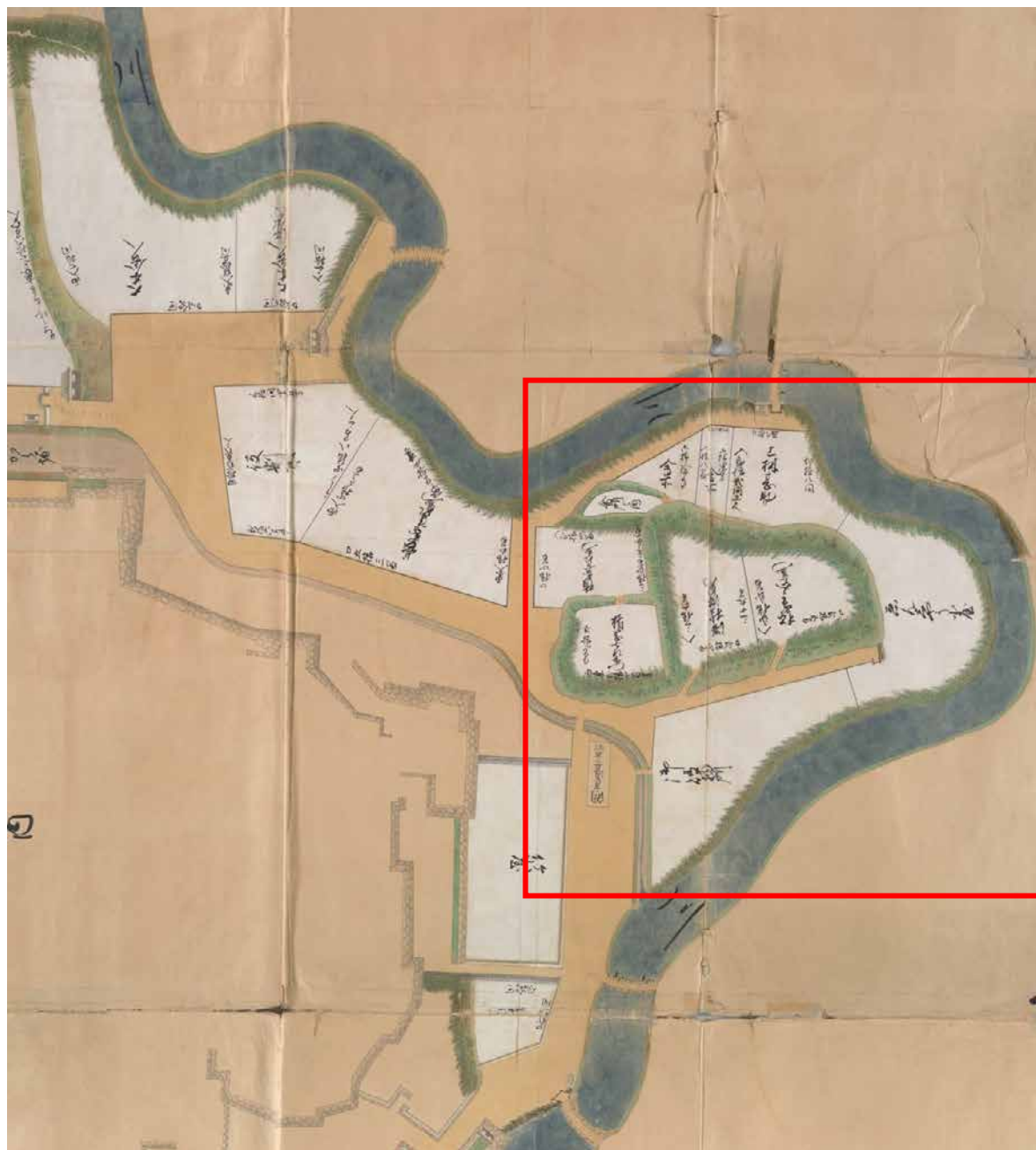
西：吉田庄右衛門尉（500石）

千葉城公園：煙硝小屋、年金事務所：上林次郎左衛門（400石）、
教育センター：伊藤太左衛門、県美分館：楯岡孫市郎（1000石）、
JT跡地：仕置所

明暦（1657）以降

二ノ丸之絵図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地は2区画

東：松野又右衛門（500石）、

西：澤村源左衛門（700石）

千葉城公園：煙硝小屋、年金事務所：上林甚助（御掃除奉行、200石）、
教育センター：御掃除方会所、県美分館：楢岡七左衛門（1000石）、
JT跡地：賄物所

元禄（1688～1703）前後

二ノ丸之絵図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地は3区画

東：松野四郎大夫（500石）、

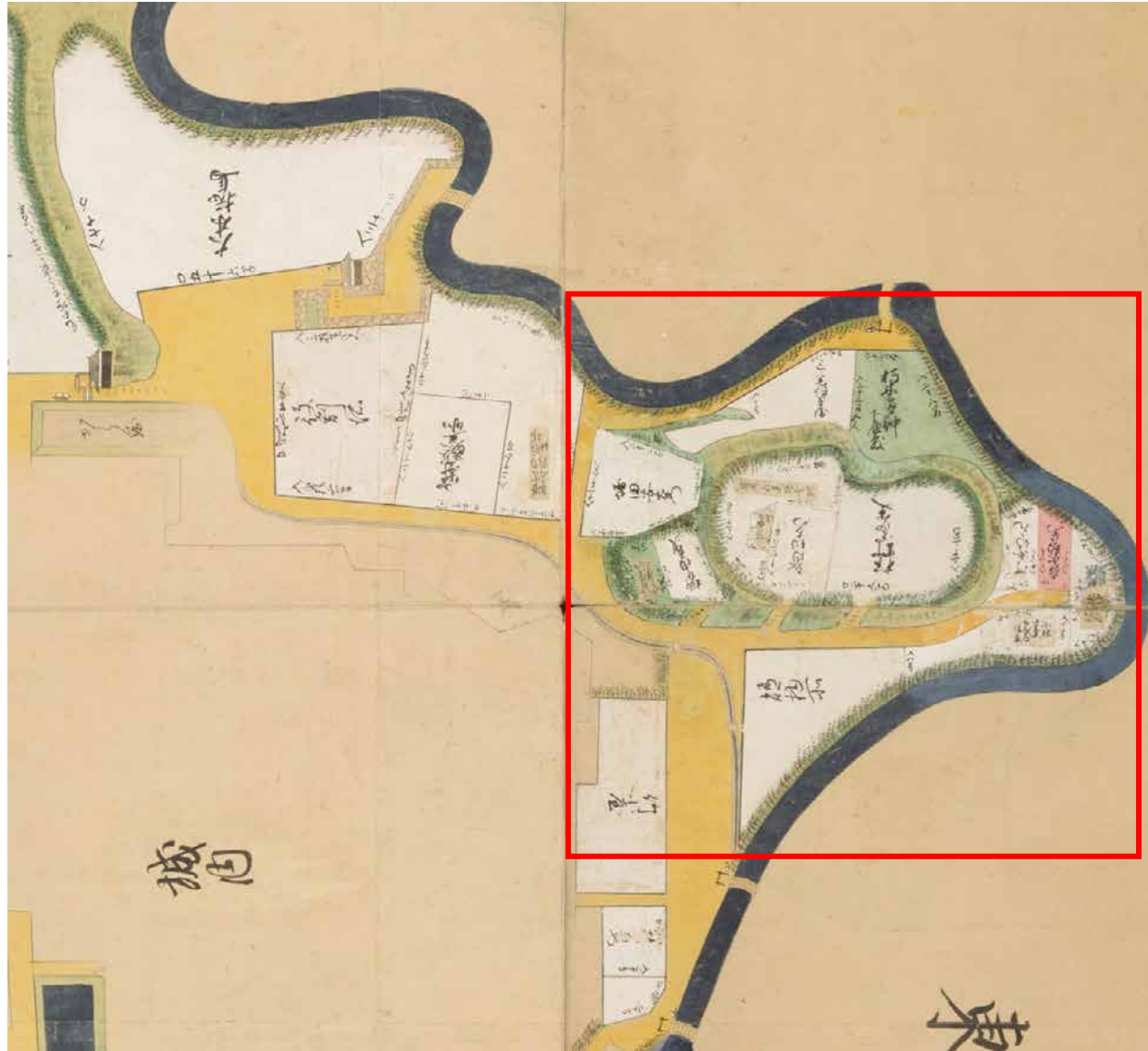
西手前：堀内喜左衛門（200石）

年金事務所：朽木内匠下屋敷、県美分館：栖本又七郎（200石）、
山下彦右衛門（御留守居組、150石）、教育センター：御掃除方会所、
JT跡地：仕置所

宝暦4年（1754）以降

二ノ丸之絵図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地は4区画

東：松野四郎大夫（500石）、
西手前：堀内作右衛門（200石）、
西奥：堀内喜太夫揚余地

千葉城公園：煙硝蔵→武家屋敷地、年金事務所：朽木多仲下屋敷、教育センター：三宅伊兵衛（700石）、県美分館：堀田安右衛門（150石）、JT跡地：賄物所

天明7年（1787）まで

二ノ丸之絵図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地は2区画

※中央にある土塁状のもの（高さ1間、幅1～6間）で区画される

東：松野善右衛門（500石）

西：永島仁右衛門（100石）

千葉城公園：朽木内匠下屋敷

→天保8年正月～林九兵衛御借

年金事務所：朽木内匠下屋敷

教育センター：富田古次右衛門

県美分館：妻木吉左衛門、栖本富太、樫方御用屋敷

JT：賄物所

文政元～10年（1818～27）

上林ヨリ藪内橋迄（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地は4区画

東：松野善右衛門（500石）、西手前：永島一之允（100石）、西奥：掃除方用屋敷

千葉城公園：林九兵衛、年金事務所：朽木内匠下屋敷、教育センター：寺尾九郎左衛門、県美分館：役割所・飽田詫摩人馬会所・櫓方用屋敷・栖本助七

JT：賄物所

文政年間（1818～29）

二ノ丸之絵図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地は4区画

- 東：松野又右衛門（500石、555坪）、
- 西（東端）：永島彦助借置（100石、120坪）、
- 西（中央）：永島彦助借置（100石175坪）、
- 西（東端）掃除方用屋敷（450坪）

千葉城公園：林九兵衛、年金事務所：朽木内匠下屋敷、教育センター：寺尾九郎左衛門、県美分館：役割所、飽田詫摩人馬会所、櫓方御用屋敷、栖本助七、JT跡地：賄物所・蔵

文久元年（1861）以降

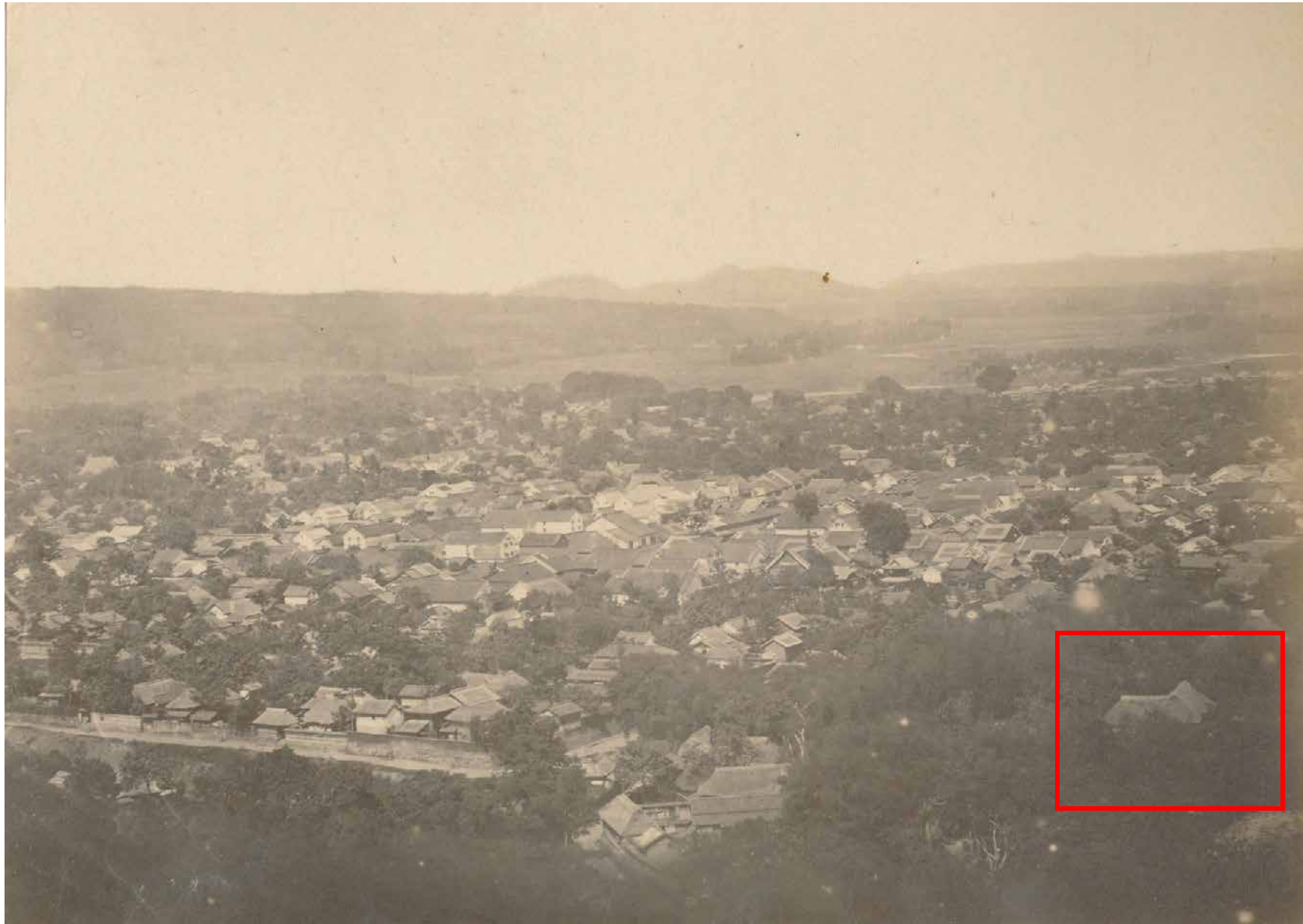
二丸之絵図（公益財団法人永青文庫蔵）

千葉城地区の変遷



上 令和2年撮影大天守から東を見る
下 明治4年撮影大天守から東を見る（長崎大学附属図書館）

千葉城地区の変遷



武家屋敷の屋根が写る

明治4年撮影
大天守から東を見る
(長崎大学附属図書館)

千葉城地区の変遷



NHK跡地 明治9年（1876）熊本中学校設置
※屋敷地を中学校敷地として県が買上
→明治10年（1877）西南戦争で焼失

JT跡地 加永（嘉永）蔵

明治10年（1877）
焼場方角図（熊本博物館蔵）

千葉城地区の変遷



明治10年（1877）撮影
南から見た熊本中学校（熊本城顕彰会蔵）

NHK跡地 東西に長い建物が数棟
西側（県美分館）は「土取場」



明治10年（1877）撮影
南東から見た熊本中学校（熊本城顕彰会蔵）

千葉城地区の変遷



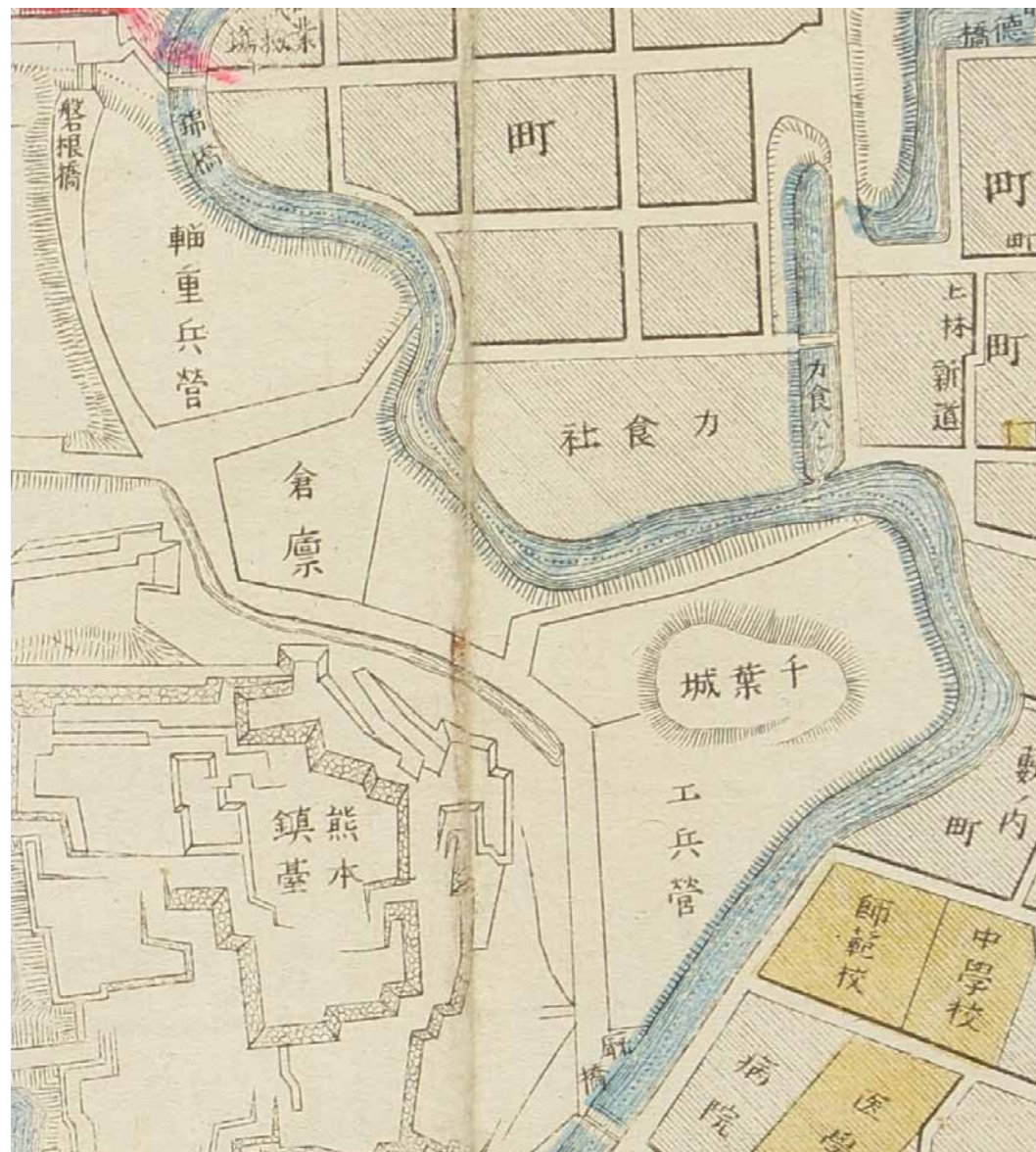
明治11年（1878）作成 両軍配備図（熊本博物館蔵）



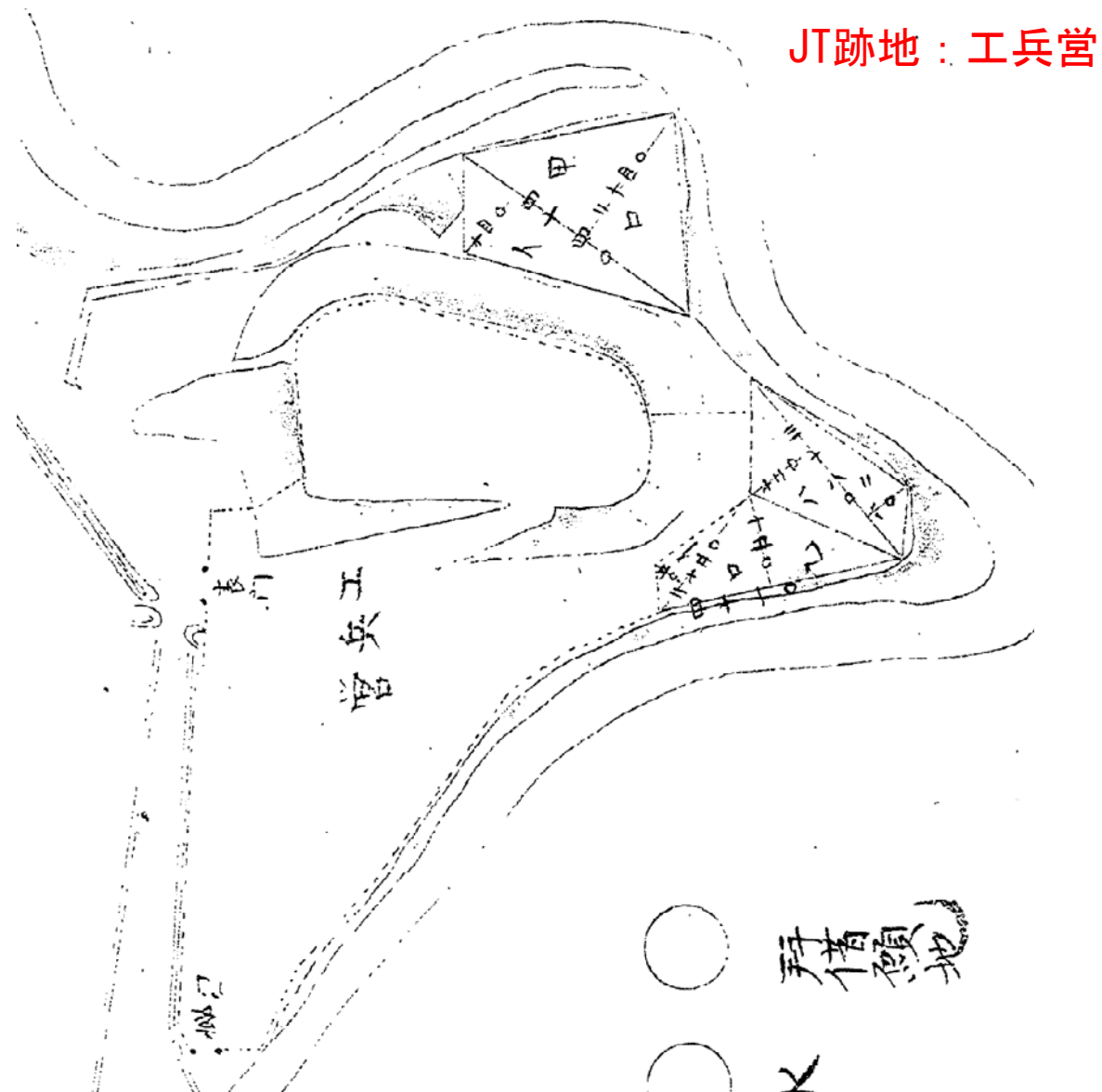
東端部に砲台（塹壕）
北・東・南に堡籃（円筒形のかごに土や砂を詰めたもの）
建物は熊本中学校のものを利用か？

明治10年（1877）西南戦争時の千葉城写真
（熊本城顕彰会蔵）

千葉城地区の変遷

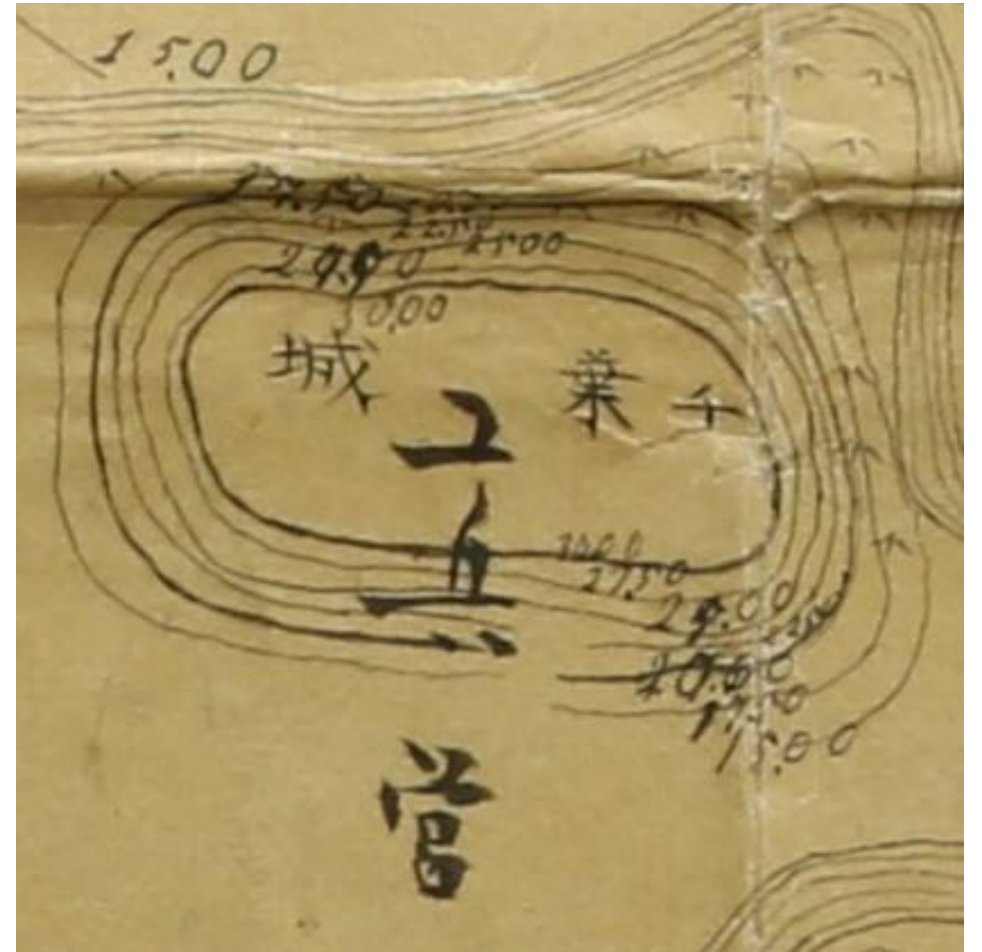
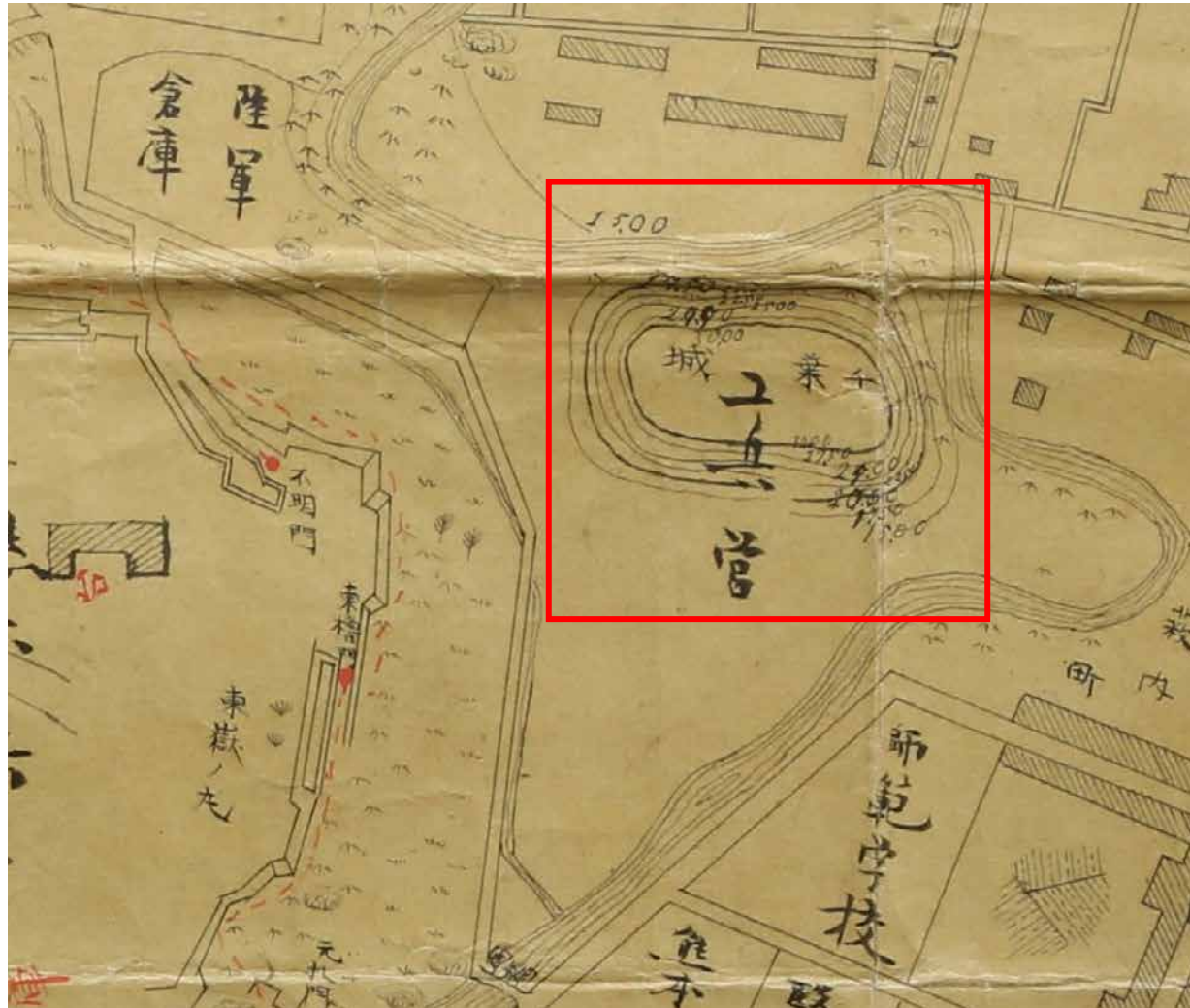


明治13年（1880）熊本全図（熊本県立図書館蔵）



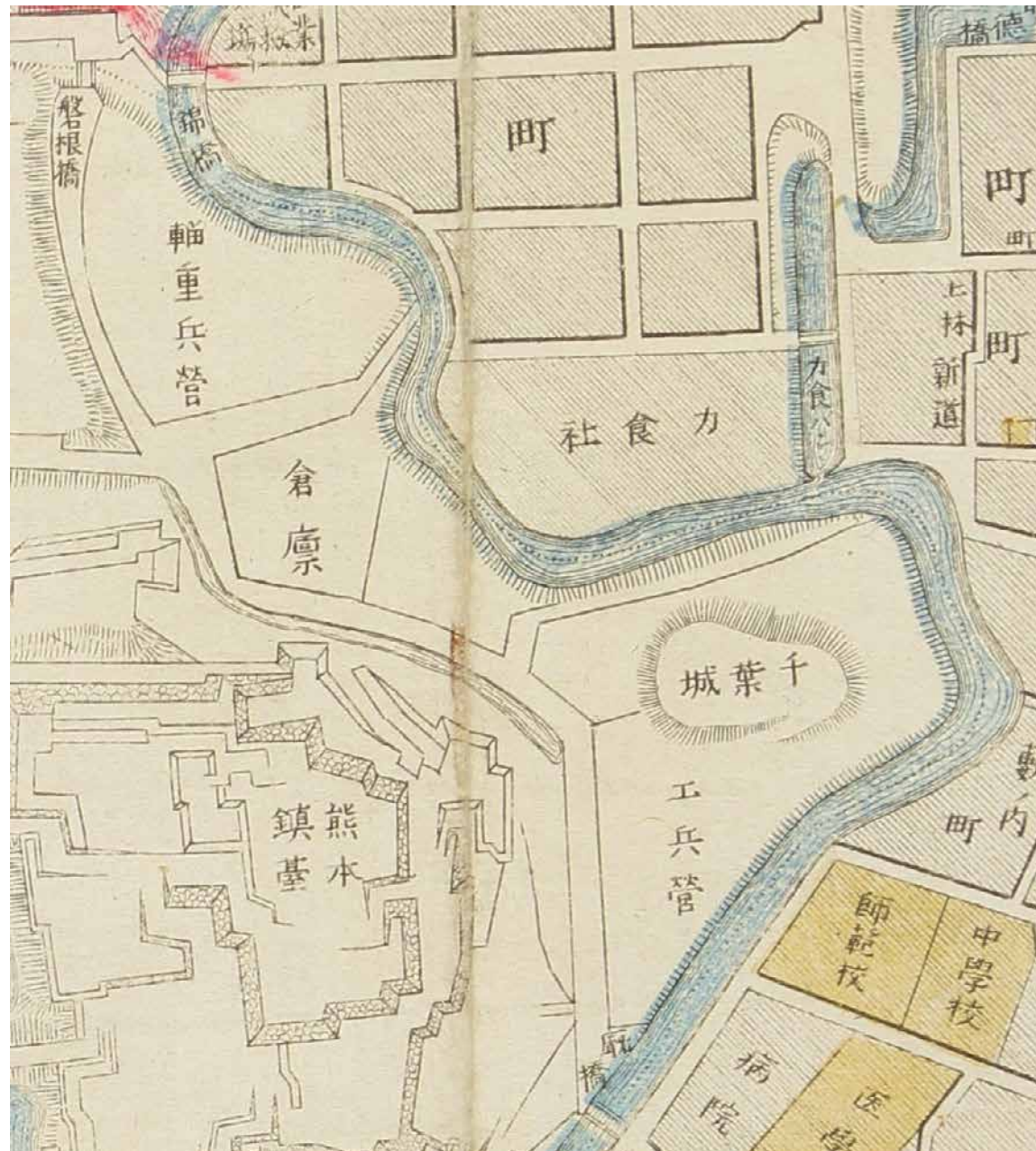
明治13年（1880）工兵營東崖下空地式千四百分一図
（防衛省防衛研究所 Ref: C04029730500）

千葉城地区の変遷



明治14年（1881）熊本城郭及市街之図（国立国会図書館蔵）

千葉城地区の変遷



JT跡地：工兵營

明治26年（1893）
熊本市街全図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



NHK跡地：憲兵本部

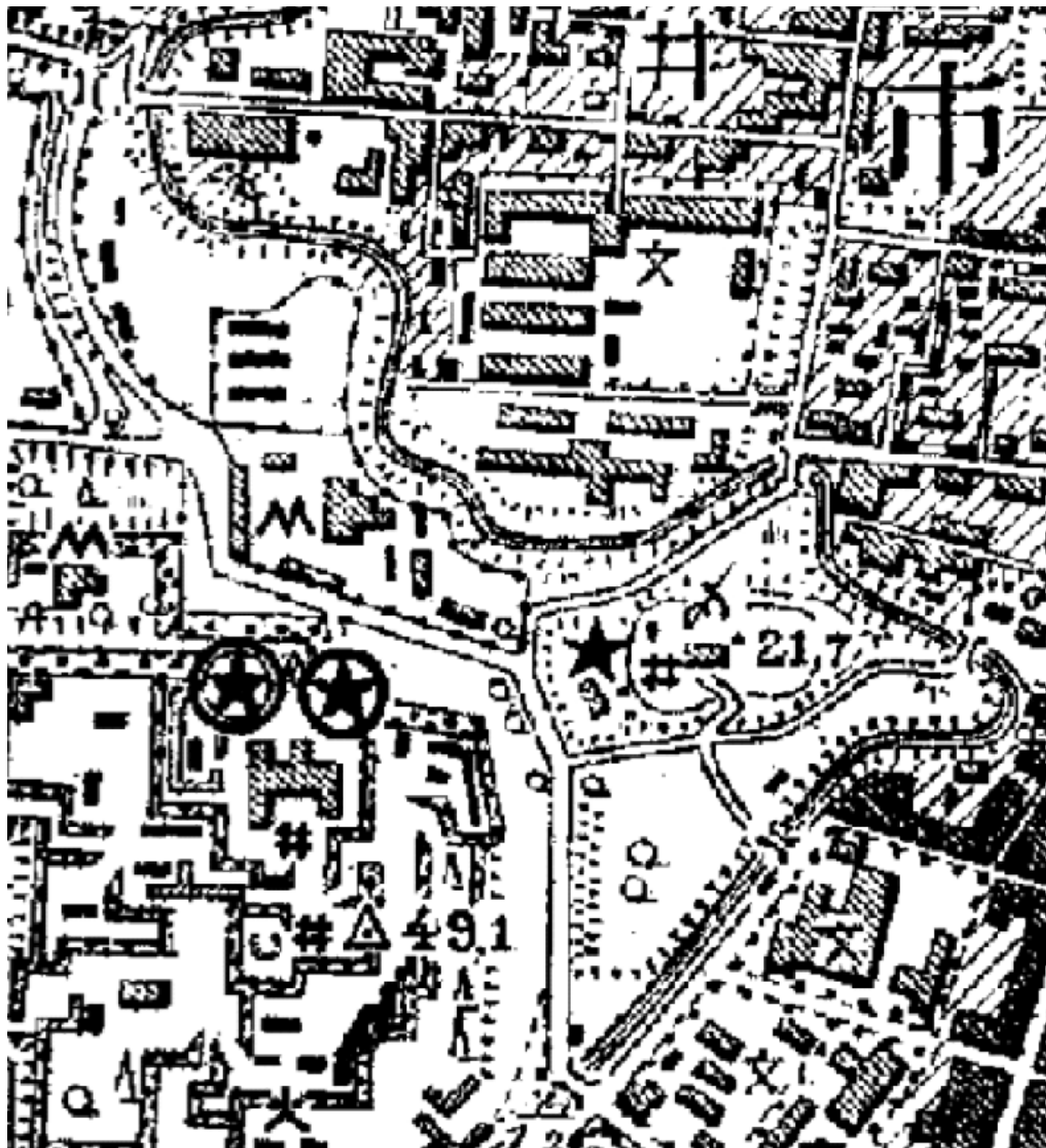
※明治23年（1890）4月1日 熊本憲兵隊設置

JT跡地：大隊区

明治38年（1905）

熊本市明細地図（熊本県立図書館蔵）

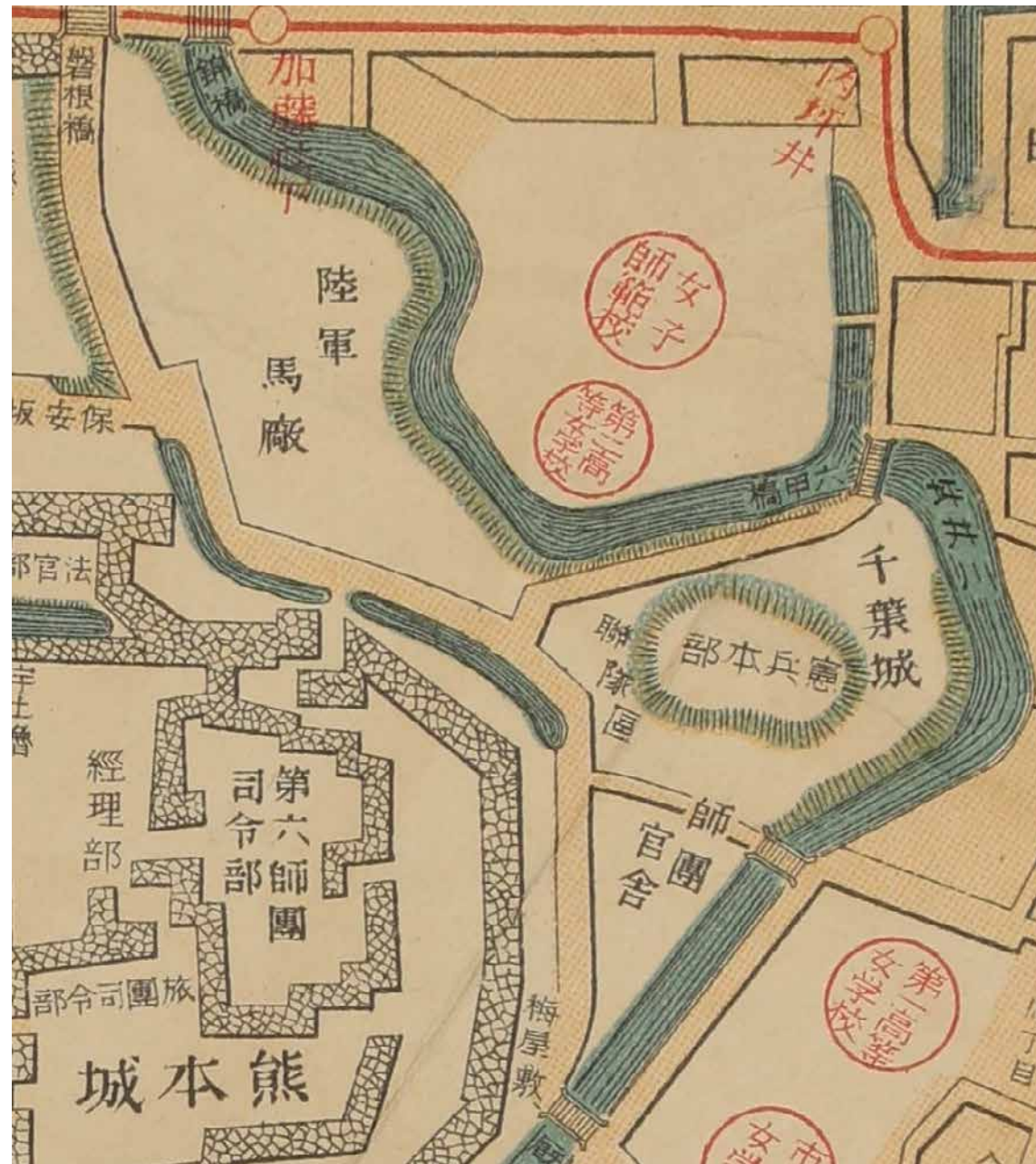
千葉城地区の変遷



NHK跡地 標高21.7m 敷地西部に井戸あり

明治44年（1911）測量 5万分1地形図
国土地理院HP 旧版地図

千葉城地区の変遷



NHK跡地：憲兵本部

JT跡地：師団官舎

大正13年（1881）

最近実測熊本市街地図（熊本県立図書館蔵）

千葉城地区の変遷



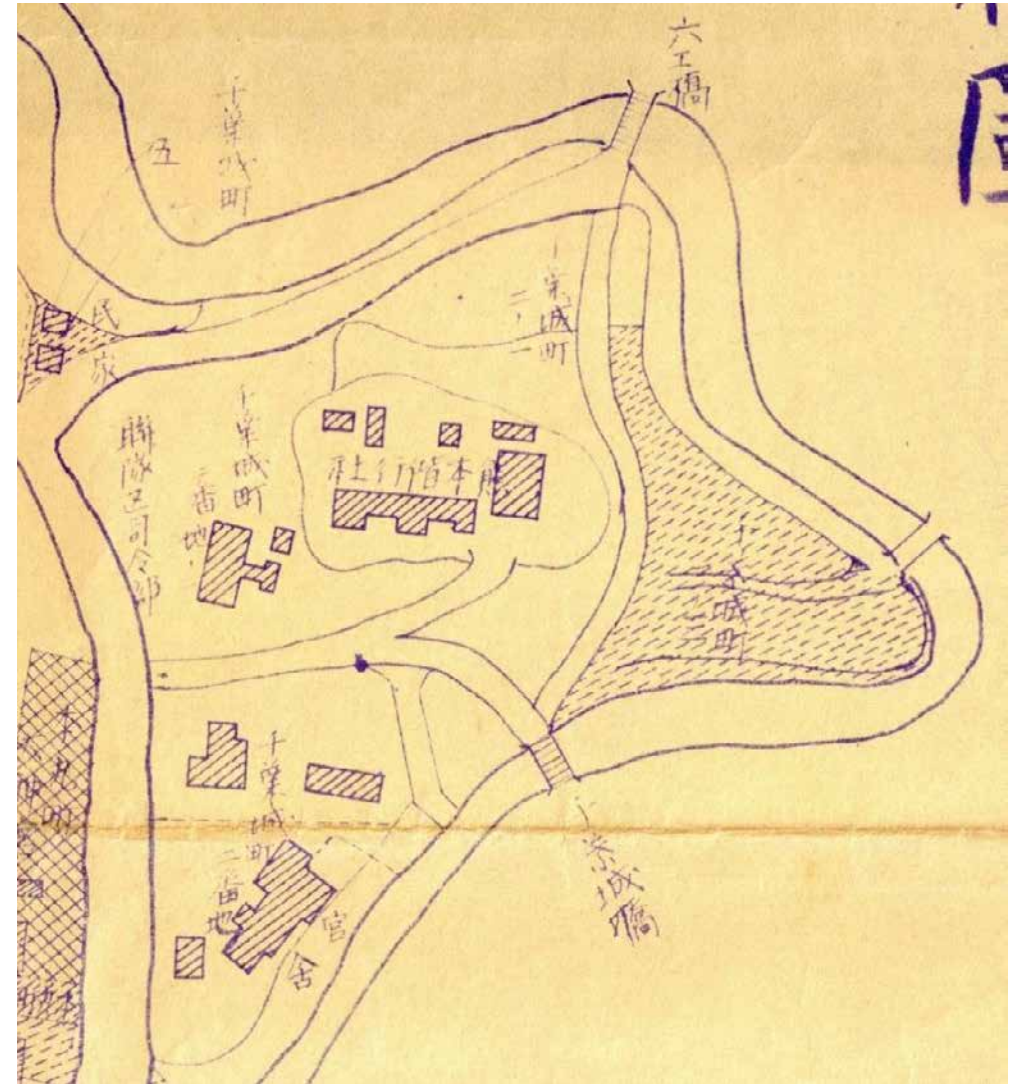
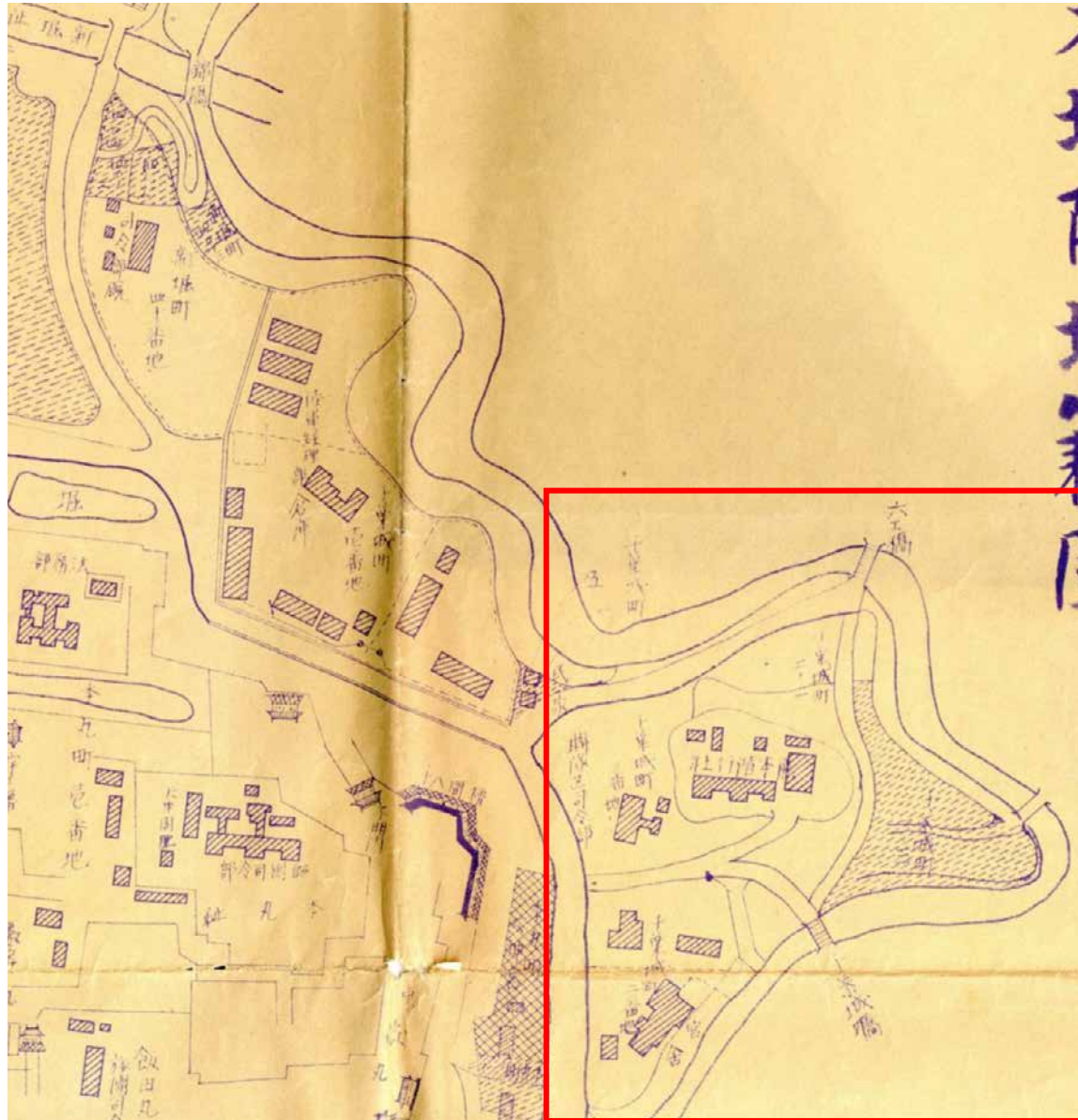
昭和3年（1928）
南から見た千葉城（熊本市蔵）

NHK跡地 昭和4年（1929）偕行社落成
※このとき、坂の整備も実施か



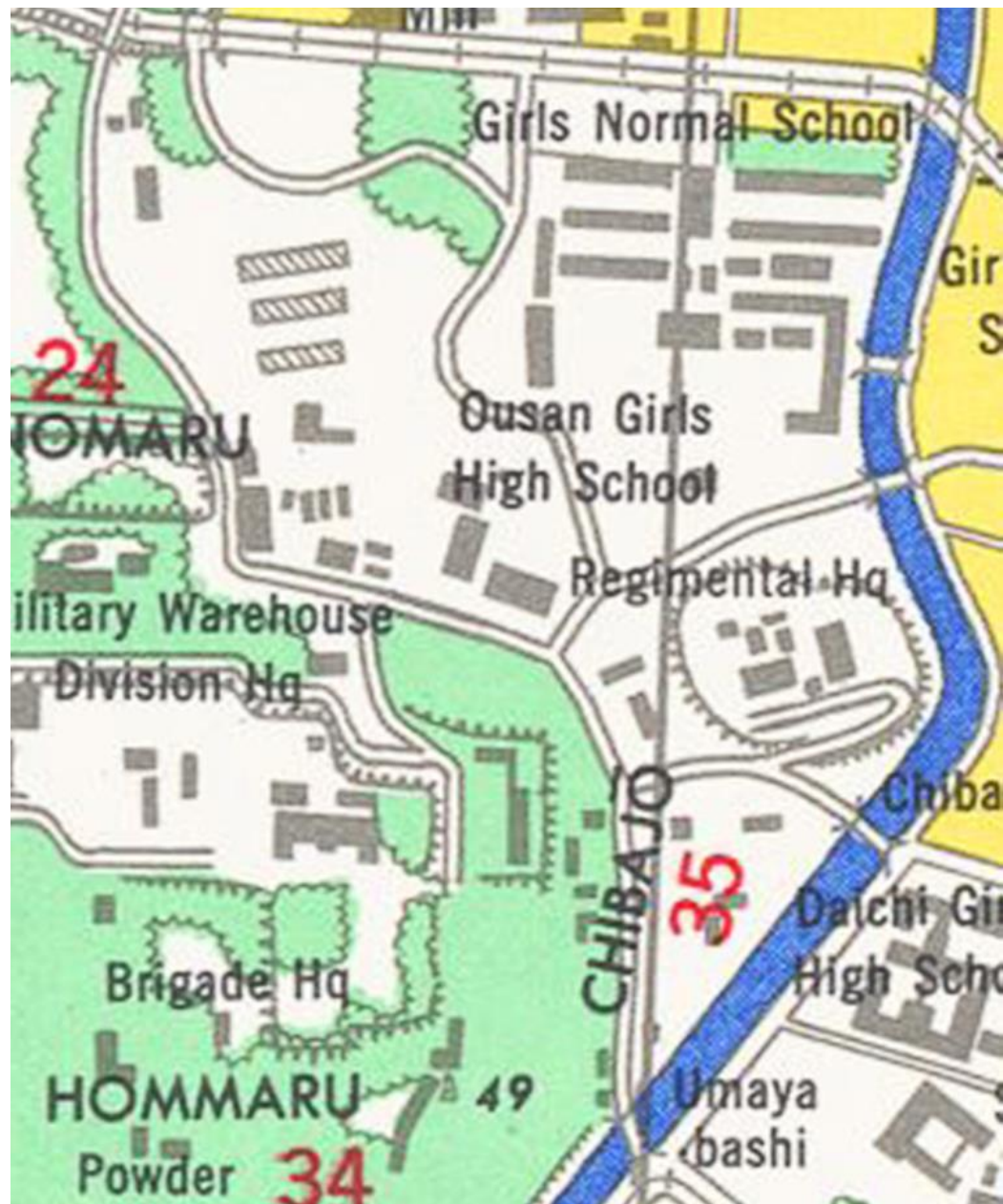
昭和6年（1931）以降
偕行社（熊本市歴史文書資料室蔵）

千葉城地区の変遷



昭和8年（1933）
熊本城址地籍図（熊本市蔵）

千葉城地区の変遷



昭和12年（1937）坪井川の改修

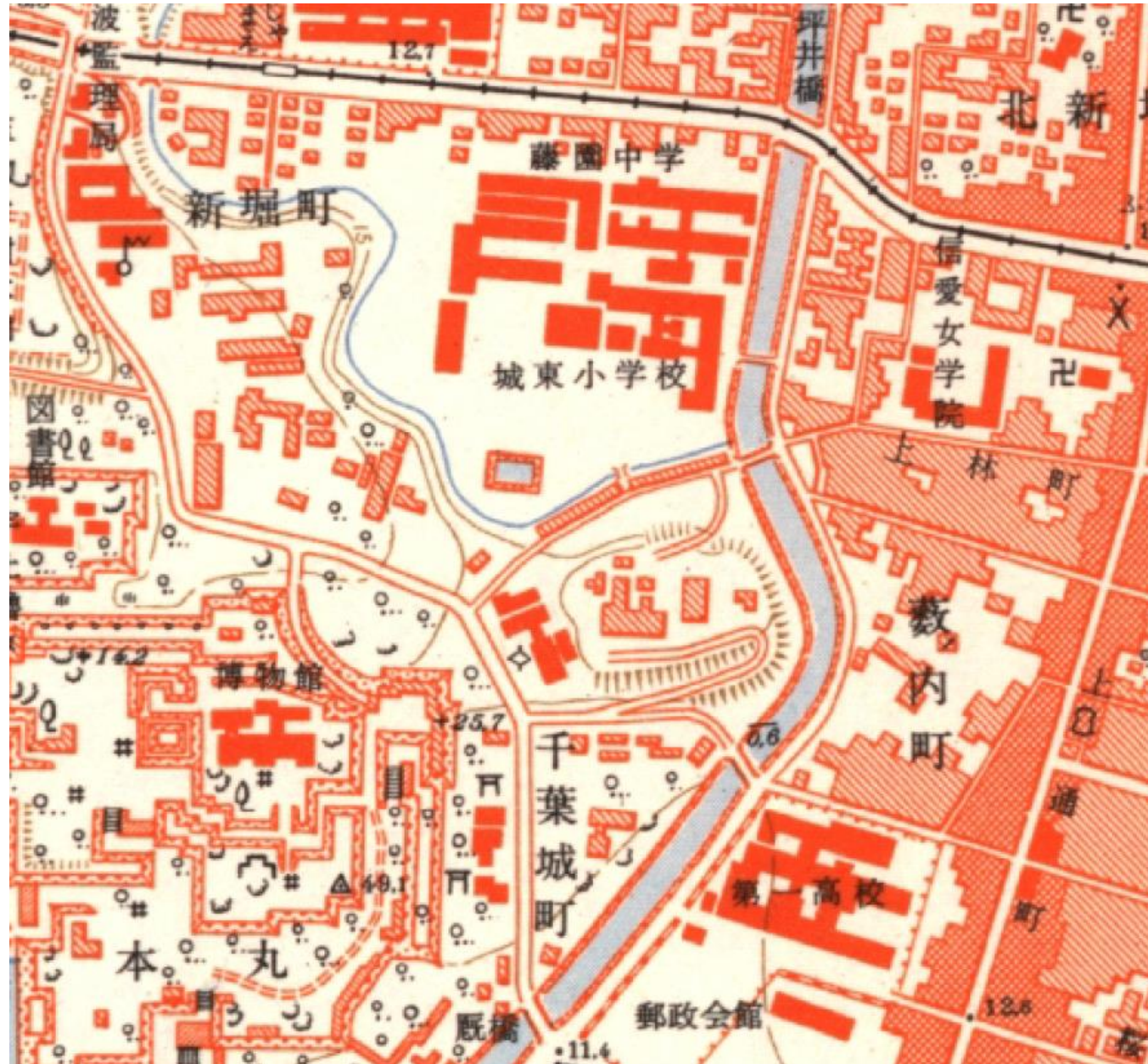
昭和20年（1945）
Japan City Plan Kumamoto（テキサス大学所蔵）

千葉城地区の変遷



昭和22年（1947）航空写真（国土地理院）

千葉城地区の変遷

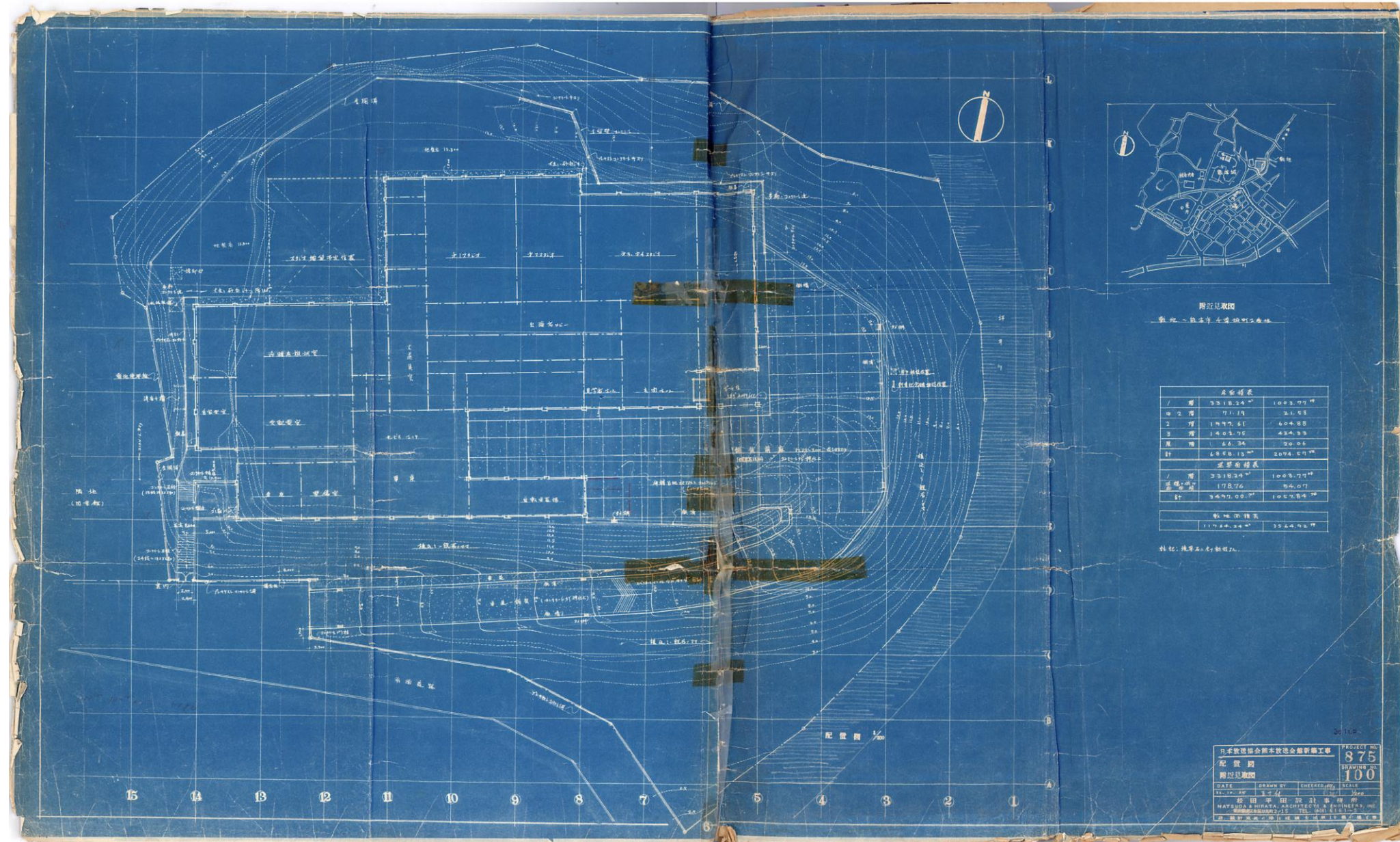


NHK跡地

昭和27年（1952）教育研究所（教育センター前身）が旧偕校社別館に移転
→昭和36年（1961）NHK熊本放送会館新築

昭和34年（1959）測量
国土地理院発行 1万分1地形図「熊本東北部」

千葉城地区の変遷



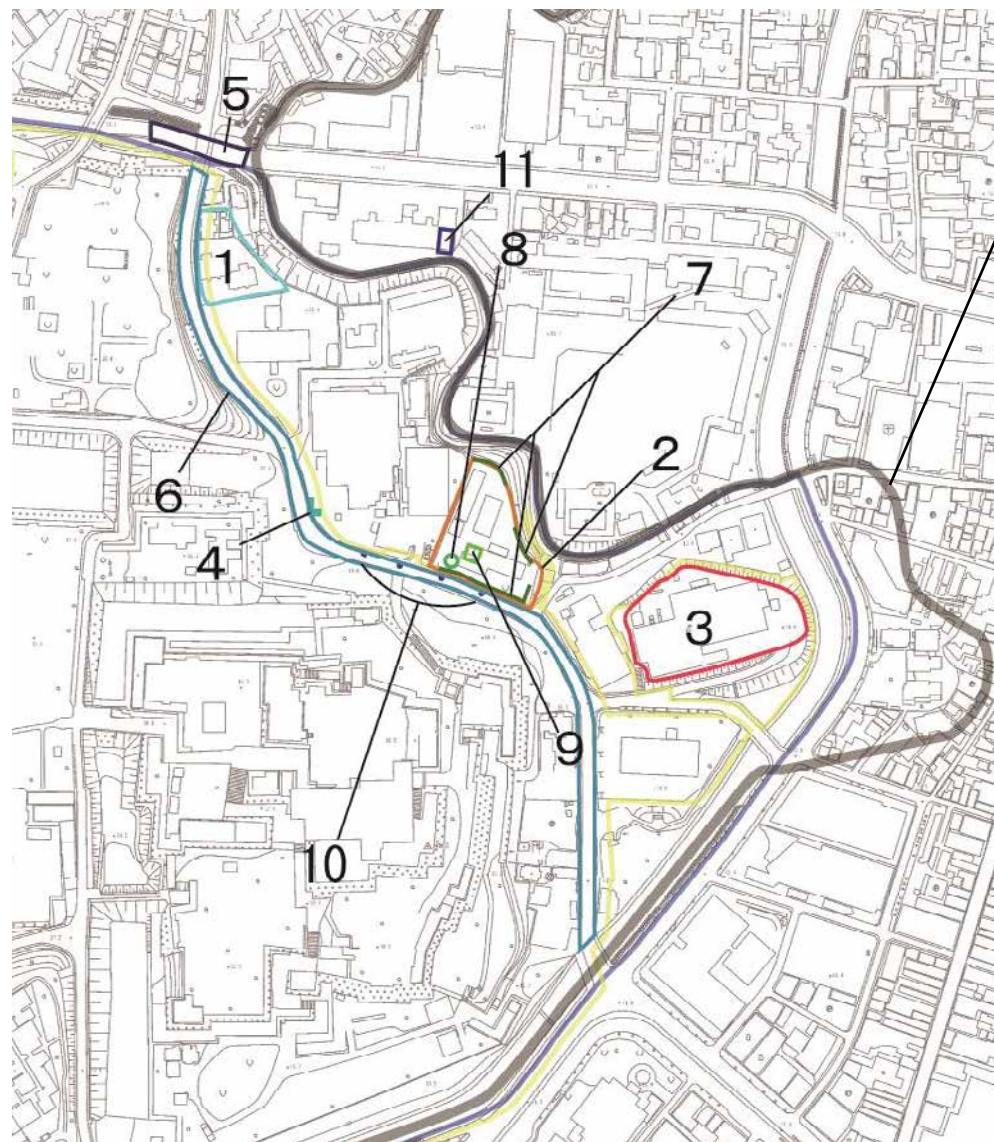
昭和36年（1961）放送会館新築配置図



文久元年(1861)以降
「熊本所分絵図 二丸之絵図」(公益財団法人永青文庫蔵)をもとに作成

千葉城地区調査・工事履歴

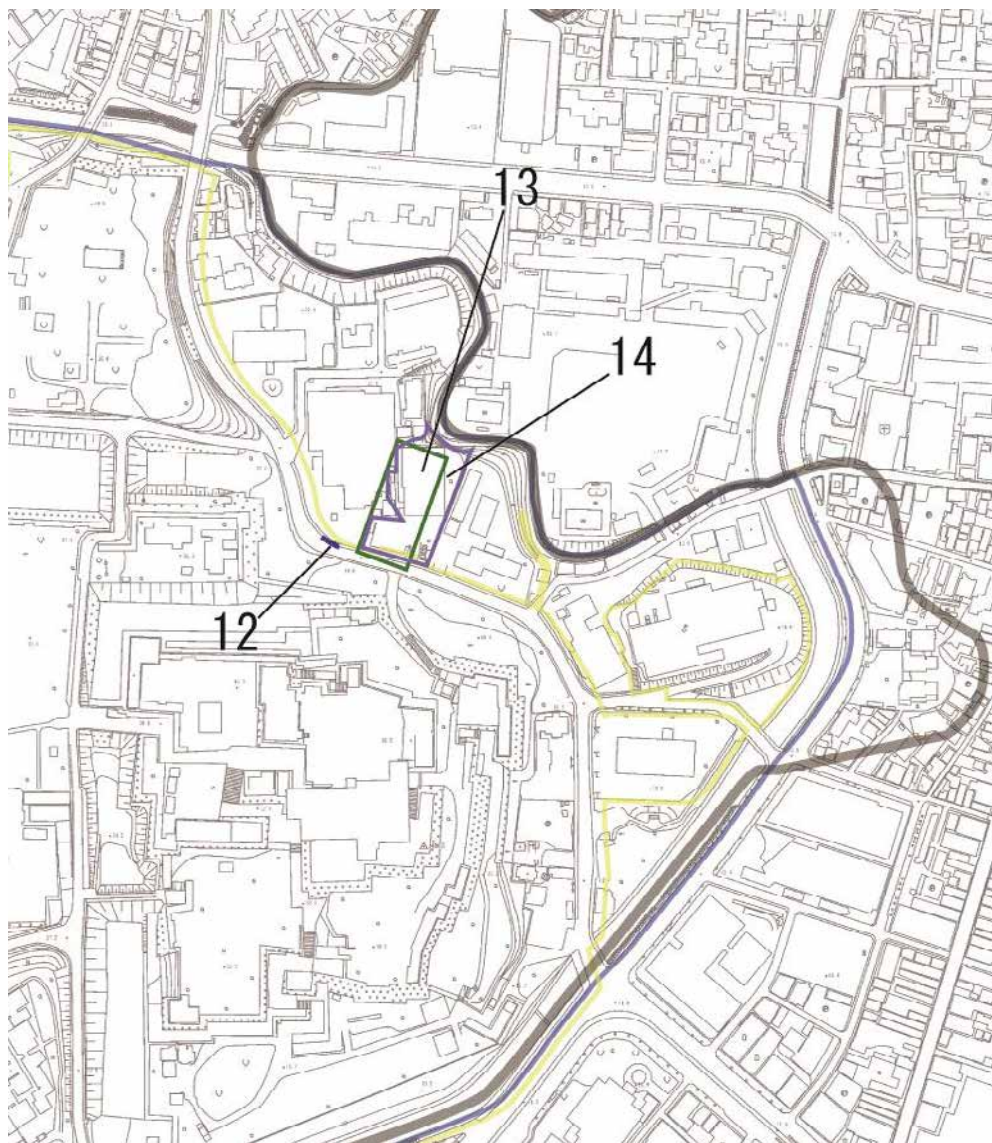
昭和28年度～昭和49年度



旧坪井川河道

- 1.水害被害者用仮宿舍新築工事 (S28)
- 2.済生会熊本病院宿直室・便所増築工事 (S29)
- 3.NHK建設に伴う調査 (S37)
- 4.道路新設による一部石垣撤去 (S42)
- 5.県道天水熊本線歩道新設工事 (S46)
- 6.四方寄熊本線歩道新設工事 (S46)
- 7.金網撤去工事 (S47)
- 8.千葉城跡石垣一部撤去工事 (S47)
- 9.建物解体撤去工事 (S47)
- 10.電柱移設工事 (S49)
- 11.旧坪井川畔遺跡発掘調査 (S49)

昭和50年度～昭和55年度

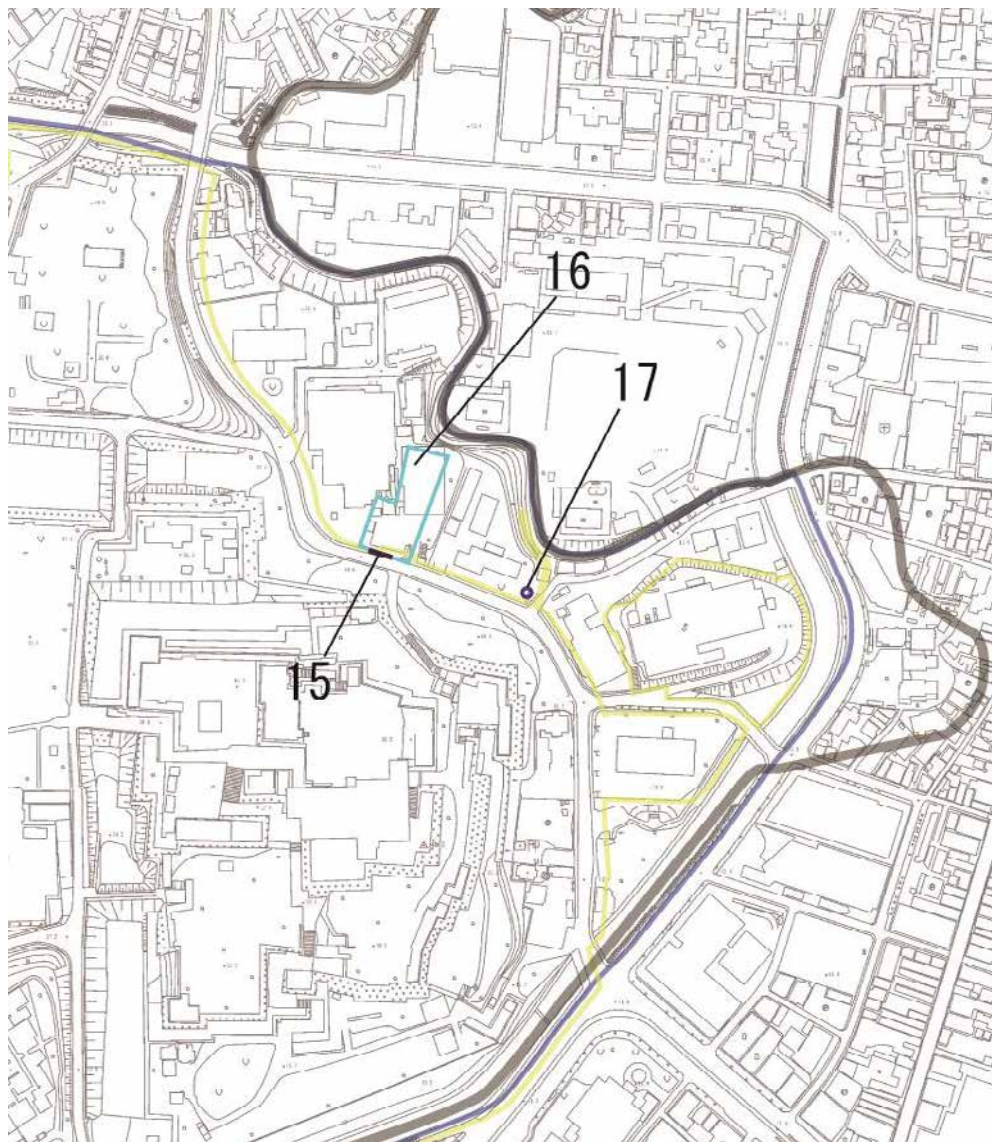


12.フェンス取替工事 (S53)

13.塀撤去・樹木伐採工事 (S55)

14.伝統工芸館建設に伴う事前調査 (S55)

昭和56年度～昭和60年度

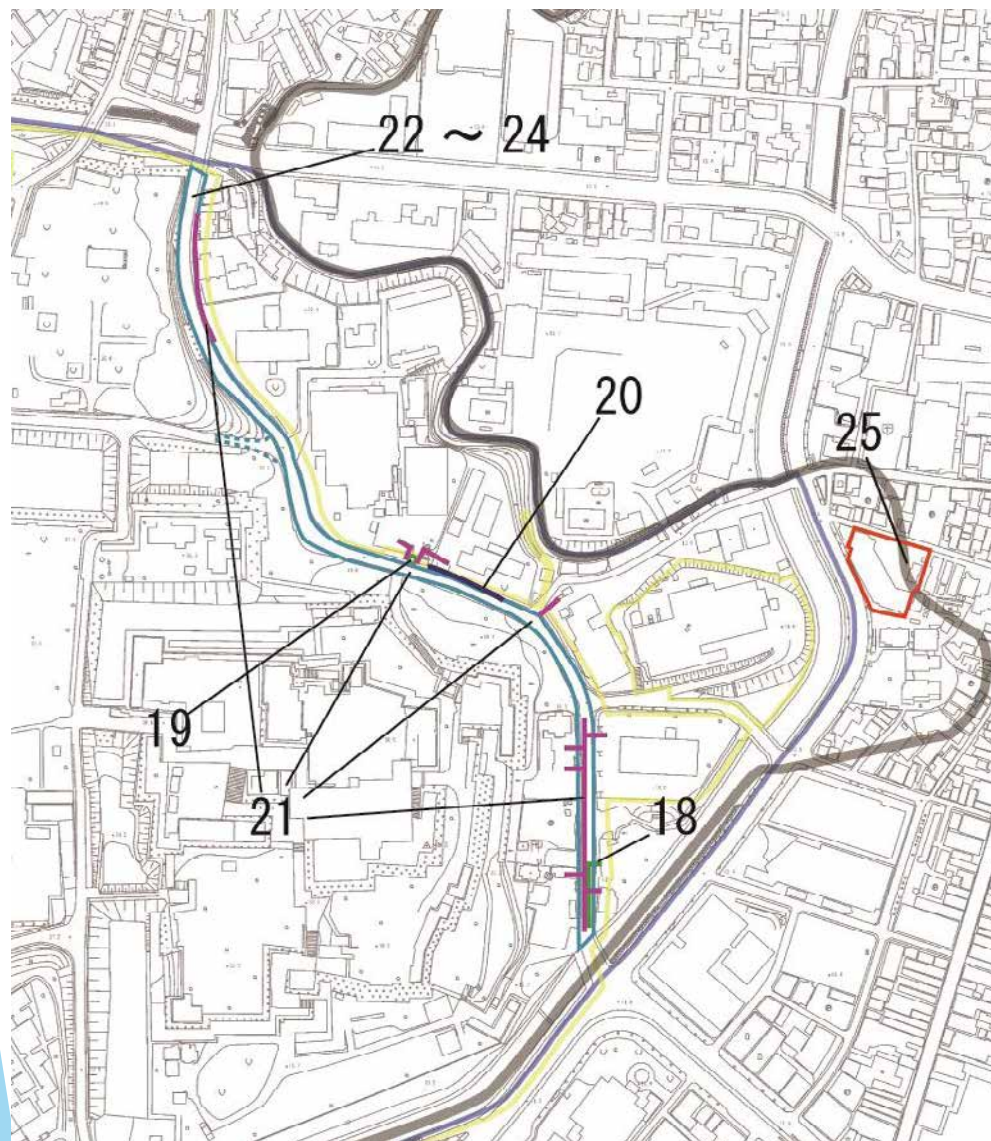


15. 強風による倒木・石垣一部崩壊 (S56)

16. 石垣の一部整備工事 (S56申請)

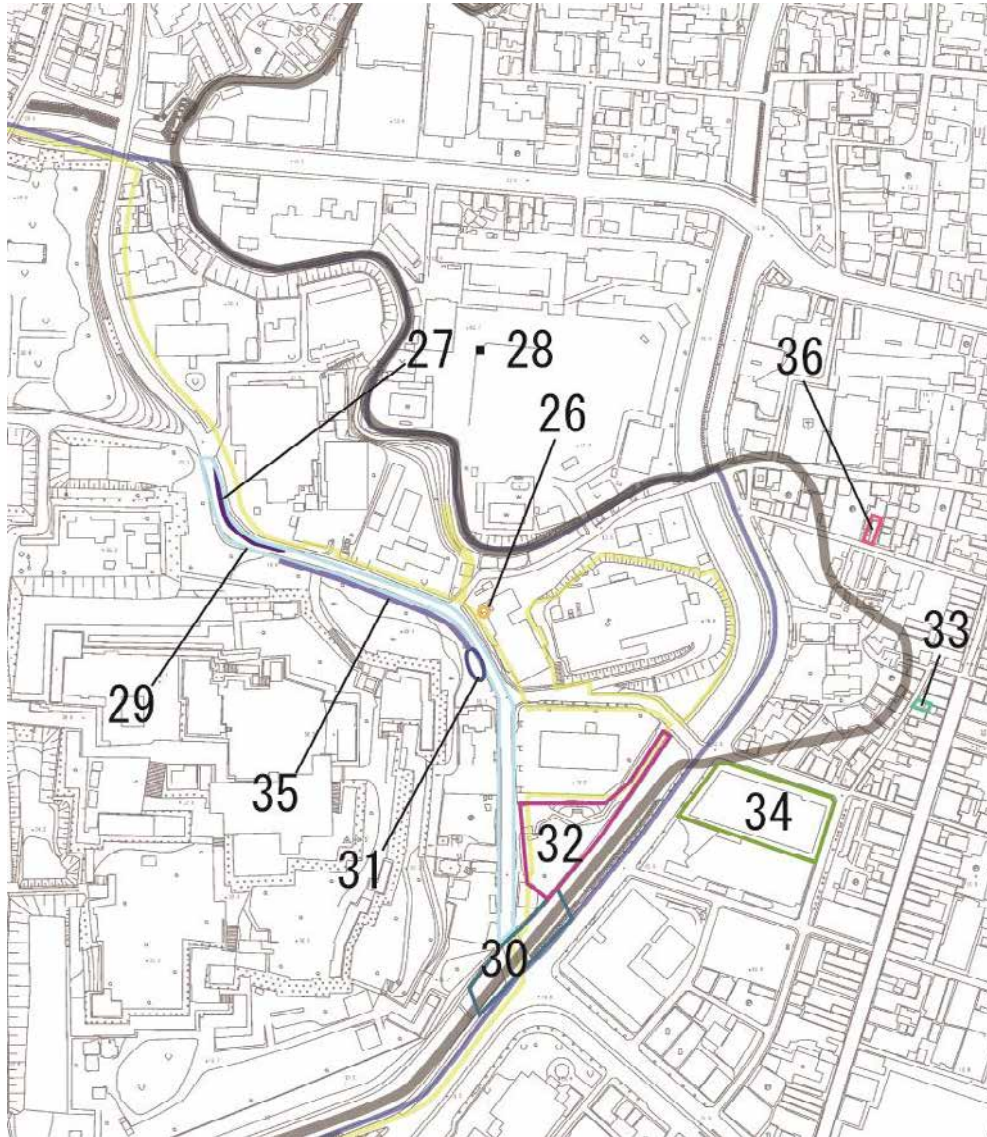
17. 石垣補修工事 (S57)

昭和61年度～平成元年度



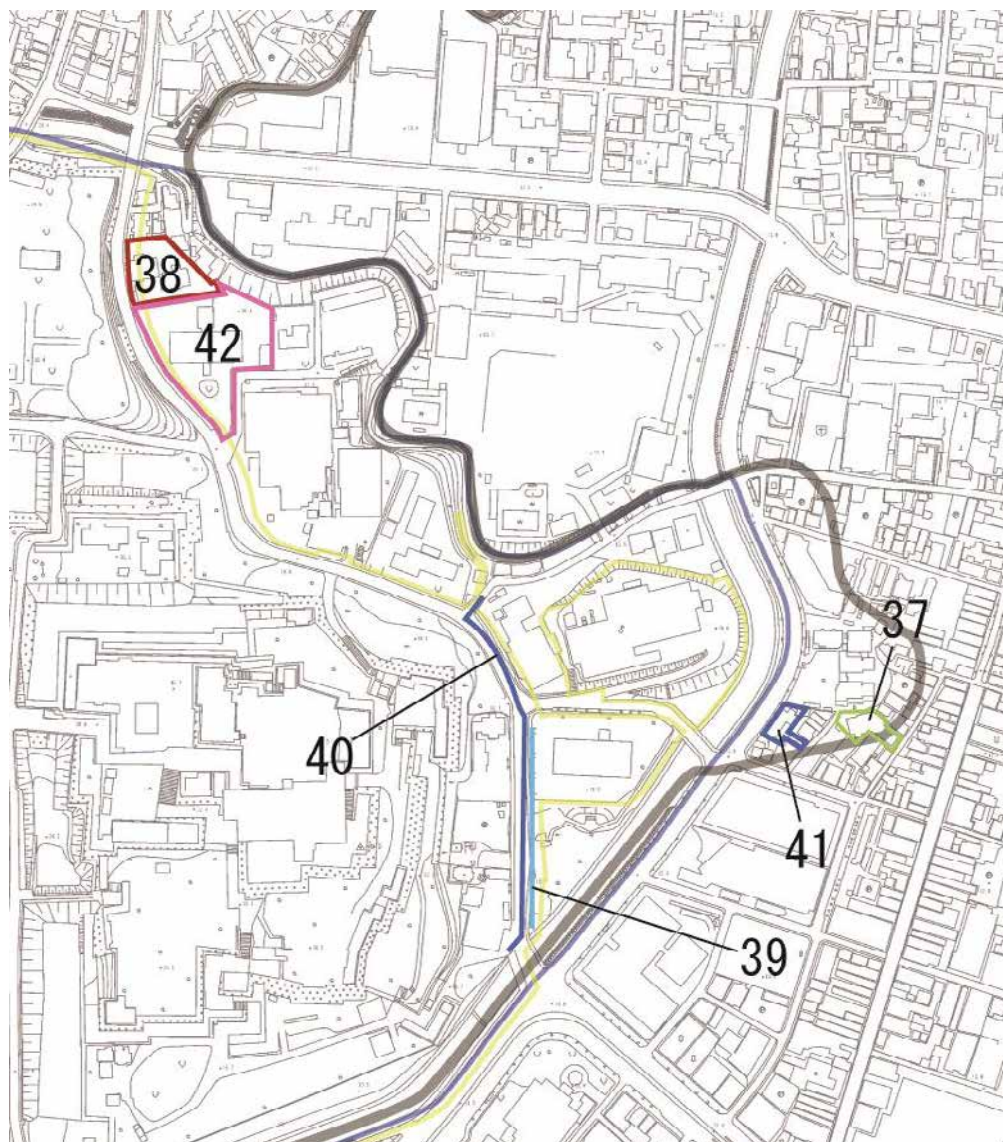
- 18.電線地下埋設工事 (S61)
- 19.案内標識設置工事 (S61)
- 20.ガス管埋設工事 (S62)
- 21.電話線埋設工事 (S62)
- 22.電線埋設工事 (S62) * 実線部分
- 23.電話線埋設工事 (S62～S63) * 実線+破線部分
- 24.歩道改良・新設照明設置工事 (S63) * 実線部分
- 25.建物建設に伴う試掘調査 (H1)

平成2年度～平成19年度



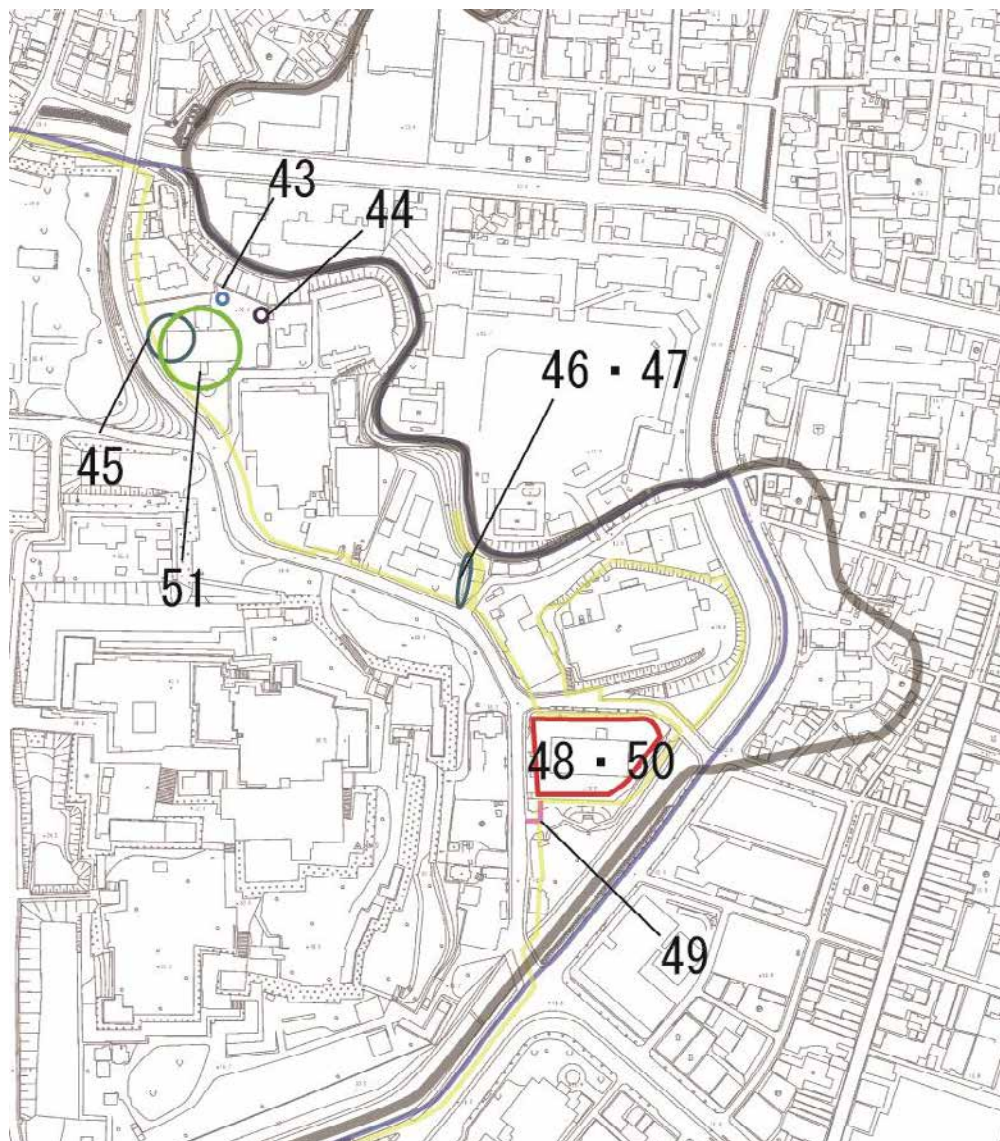
- 26.県立美術館分館改修に伴う発掘調査（H3）
- 27.玉川水路改修工事（H6）
- 28.ポケットパーク設置工事（H7）
- 29.県道四方寄熊本線歩道部既設石張舗装布設替工事（H10）
- 30.坪井川河床安定化工事（H11）
- 31.玉川蓋架け工事（H12）
- 32.銅像建設に伴う確認調査（H12）
- 33.店舗建設に伴う確認調査（H13）
- 34.老人ホーム・商業施設建設に伴う確認調査（H14）
- 35.園路整備工事（H15）
- 36.店舗建設に伴う確認調査（H15）

平成20年度～平成27年度



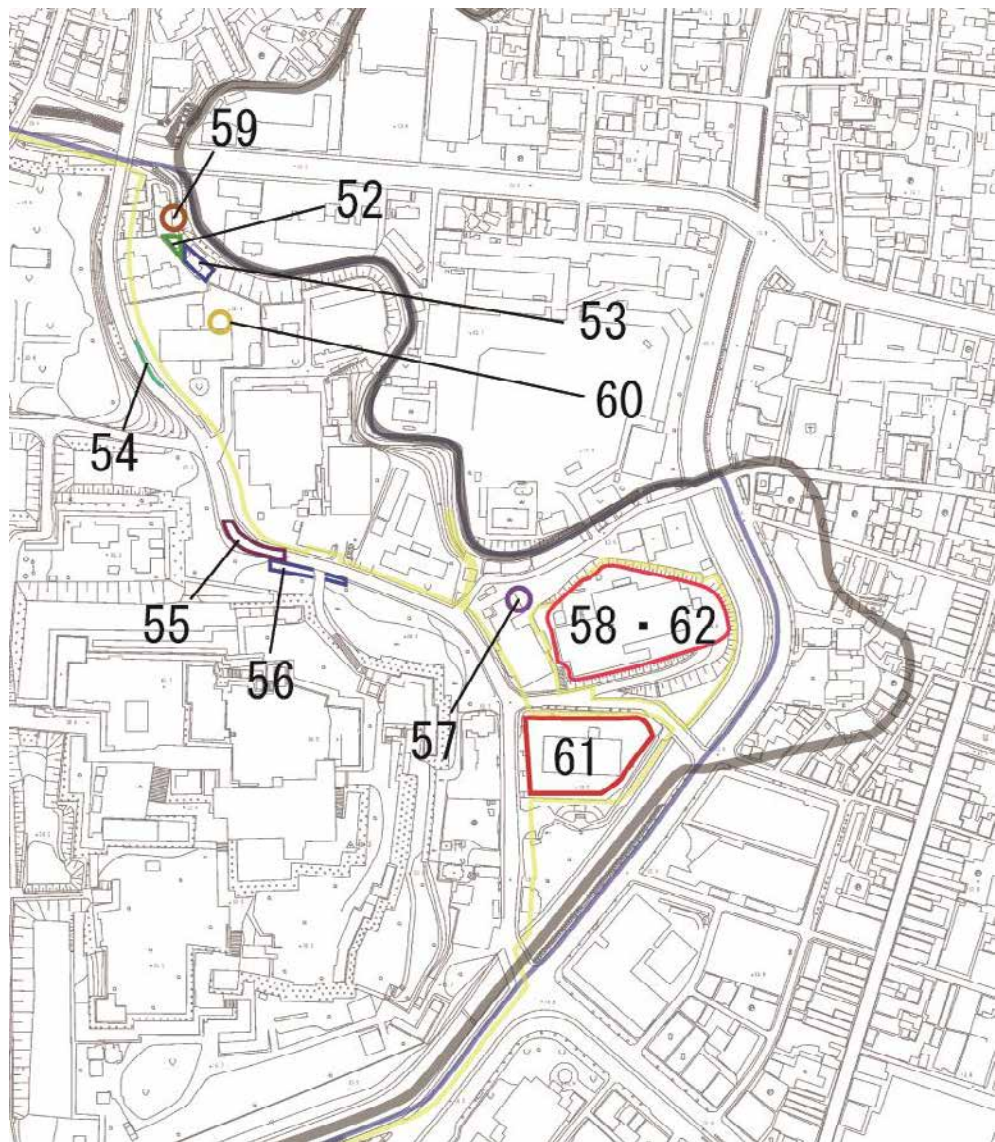
- 37.店舗建設に伴う確認調査 (H21)
- 38.共同住宅建設に伴う確認調査 (H22)
- 39.ガス管撤去及び新設工事 (H22)
- 40.下水管・マンホール建設工事 (H26)
- 41.共同住宅建設に伴う確認調査 (H26)
- 42.家庭裁判所新庁舎増築に伴う確認調査 (H27)

平成28年度～平成30年度



- 43.家庭裁判所平板載荷試験用掘削工事（H28）
- 44.家庭裁判所境界ブロック壁設置工事（H28）
- 45.家庭裁判所存在状況確認調査（H28）
- 46.旧国税石垣崩落部分の法面成形に伴う確認調査（H28）
- 47.旧国税石垣背後の法面削平工事（H28）
- 48.JT解体工事に伴う立会調査（H28）
- 49.高橋公園高圧ケーブル新設・切替工事（H29）
- 50.JT解体工事に伴う立会調査（H29）
- 51.家庭裁判所既存自転車置場撤去後新規自転車置場設置工事に伴う確認調査（H30）

令和元年度～令和3年



- 52.個人住宅建設に伴う確認調査 (R1)
- 53.個人住宅建設に伴う確認調査 (R1)
- 54.歩道舗装打替工事 (R1)
- 55.歩道拡幅工事 (R1)
- 56.歩道拡幅工事 (R1)
- 57.県立美術館分館照明設備その他電気設備改修工事 (R2)
- 58.NHK解体撤去工事 (R2)
- 59.市道千葉城町第3号線の石垣補強に伴うボーリング調査 (R2)
- 60.家庭裁判所庁舎増築に伴う存在状況確認調査 (R2)
- 61.敷地整備工事 (R2)
- 62.雨水排水施設設置・法面緑化工事 (R3)

年度	地図番号	名称	区分	内容	着手日（発生日）	終了日	出典
S28	1	特別史跡名勝天然記念物現状変更等許可申請について(水害罹災者救済宿舍建設)	不明	水害による災害者救済仮宿舍新築	S28.7.15	S28.9.31	文化財関係文書綴
S29	2	文化財の現状変更について(済生会熊本病院宿直室・便所の増築工事)	不明	済生会隈本病院宿直室・便所その他の増築工事	S29.8	約75日間	文化財関係文書綴（教社第7号許可）
S37	3	NHK建設に伴う発掘調査	発掘調査	建物基礎作業に併行して、敷地の拡張中横穴が発見され、調査を実施。合計10基の横穴が発見。副葬品がなく年代決定は困難だが第5号横穴前庭部出土の有蓋付壺型土器をはじめと遺物と他の類例から7世紀中葉と判断。（ 今年度出土遺物が熊本博物館に収蔵されていることを確認 ） また、横穴群の調査中にあらたに横穴古墳が発見され、現地踏査を実施。防空壕ではないかという説もあるが、報告では千葉城の抜け穴と判断している。	S37.3	不明	熊本市北部地区文化財調査報告（熊本市教育委員会 1971）
S42	4	道路新設による一部石垣の撤去	不明	道路の線形改良と歩道の設置に伴い、武家屋敷区画の一部を撤去	S42.8.15	S42.10.31	S42熊本城跡現状変更（九建熊発第1854号申請）
S46	5	県道天水熊本線歩道新設	不明	石垣を10cmのコンクリートで張るため、歩道より下の石垣が隠れるが、新しい石垣であるので問題ないとの判断（熊本県判断）。	S46.9.3	S46.12.21	S46史跡熊本城関係その2（委保第4の927号許可）
S46	6	四方寄熊本線の歩道新設	不明	水路（史跡名称玉川）の下流一部に石積芝張コンクリートをしてPC板を乗せ歩道巾1.5mを又、上流土羽法面水路部はコンクリート擁壁を築造してベタ打ちコンクリート歩道1.2mを施行し、側溝のある部分については縁石ブロックを並べて巾1.2mとして路面高上をせずに施行	S47.1.28	S47.3.31	S46史跡熊本城関係その2（委保第4の1056号許可）
S47	7	金網撤去等について	不明	①石垣上の金アミが腐蝕破損して危険状態にあるので、撤去して植樹する ②敷地の高低差が、平均8cmくらいあり危険状態のため石垣を構築して「フェンス」網を新設する	S48.3.20	S48.3.24	S47現状変更（熊本城関係）（委保第4の787号許可）
S47	8	千葉城跡石垣の一時撤去	不明	建設用資材の搬入に支障があるため、一時石垣を撤去する。工事終了後に復旧。	S47.8.17	S48.3.20	昭和47年度現状変更（熊本城関係）（委保第4の890号許可）
S47	9	建物解体撤去について	不明	老朽化はなはだしく危険な建物で利用価値がないため撤去	S47.6.27	S47.6.30	S47現状変更（熊本城関係）（委保第4の452号許可）
S49	10	電柱移設	不明	電柱4本を歩道端に移転する(歩道中央近くにあるため歩行者に不便.市役所-京町間県道)	S49.6	S49.6.30	S48.49国指定文化財現状変更（委保第5の677号許可）
S49	11	旧坪井川畔遺跡発掘調査	発掘調査	S46会館の社会保険会館（S49に厚生年金会館と改称）がS49に増築を計画。工事前に発掘調査を実施し、記録に残すことに。東側工事部分で明治以降の所産と思われる布積の石垣が検出された。	S50.1.8	S50.1.21	旧坪井川畔遺跡発掘調査報告書（熊本城調査研究会 1976）
S53	12	フェンス取替	不明	フェンスの基礎はそのままにして上部のみ取り換える	S54.2.6	S54.2.10	S53国指定文化財現状変更 永久（委保第4の15号許可）
S55	13	塀撤去及び樹木伐採	不明	既設の塀(金網、コンクリート支柱)撤去			55° 現状変更（熊本城その他）（委保第4の39号許可）
S55	14	熊本県伝統工芸館建設に伴う発掘調査	発掘調査	熊本県伝統工芸館開設のため、事前の発掘調査を実施。第一次造成層（4層）上位に享保元年の火災に特定される焼土層が検出。2層は享保元年の大火後に再度整地して形成されたと推定される第二次造成層。遺構は排水溝・井戸など、遺物は瓦が出土している。	S55.7	S55.9	総括報告書第3分冊

S56	15	熊本城跡の一部き損届(樹木・石垣)について	き損	熊本県伝統工芸館敷地の石垣(特別史跡熊本城跡)の上にある立木(榎)が昭和57年3月15日13時30分頃強風のため倒伏し石垣の一部が崩落	S57.3.15	—	S57国指定文化財き損・修理届（商政第34号申請）
S56	16	石垣の一部整備	発掘調査	伝統工芸館入口通路西側の石垣を撤去、拡幅工事	不明	不明	昭和56年度国指定文化財現状変更№2（商政第582号申請）
S57	17	石垣補修	不明	集中豪雨により石垣が倒壊寸前となったため	S57.10.22	S57.11.26	S57 現状変更熊本城（委保第4の734号許可）
S61	18	電線地下埋設等	不明	電柱・電線を地中化	S61.10.8	S62.1.20	61 現状変更 熊本城（委保第4の800号許可）
S61	19	案内標識設置	不明	伝統工芸館入口に標識を設置(歩道内)	S61.12.20	S62.3.13	61 現状変更 熊本城（指令教文第12号許可）
S62	20	ガス管理設工事	不明	熊本市教育センター新設に伴うガス管新設工事	S62.6.19	S62.7.20	62 現状変更 熊本城1（委保第4の440号許可）
S62	21	電話線埋設工事	立会	電柱撤去30本、ハンドホール新設10個、架空ケーブル撤去1553.0m、管路新設1351.9m、蓋高調整1個	S63.2.12	S63.4.12	62 現状変更 熊本城1（委保第4の485号許可）
S62	22	電線埋設工事	発掘調査	工事前に事前の試掘調査を実施。工事の際は熊本市職員が立会。電柱を撤去し地下に埋設	S63.1.5	S63.3.31	62年度 現状変更 熊本城Ⅱ（委保第4の980号許可）
S62	23	電線埋設工事	立会	電柱・電線を地中化	S63.2.15	S63.4.20	S62国指定文化財現状変更等の許可綴№3（委保第4の1060号許可）
S63	24	県道四方寄-熊本線の歩道改良・新設照明灯設置	立会	歩道新設・改良、緑地帯の整備、歩道照明灯の設置	不明	不明	S63国指定文化財現状変更等許可綴№2（委保第4の1018号許可）
H1	25	熊本城跡試掘	発掘調査	申請地は坪井川旧河道にあたるため、試掘調査を実施 遺構検出されず	H2.3.7	H2.3.7	処理票H1-0076
H03	26	熊本県立美術館分館の改修工事に伴う発掘調査	発掘調査	集水桝状遺構1基、土坑10基以上、礎石の根石・柱穴などが検出されている。	H3.10.17	H3.11.2	総括報告書第3分冊
H06	27	玉川水路改修工事	立会	棒庵坂下から不開門下まで熊本産雑石積(延長125m)に整備	H6.6.10	H6.8.27	H6「熊本城跡」現状変更「終了届」綴（国）（委保第4の509号許可）
H07	28	ポケットパークの設置	立会	既存谷積石垣(安山岩)を1.6m幅で現状変更し、歩道(県道)から敷地内への進入路(歩道幅1.6m)を設置する	H7.8.10	H7.8.30	H7熊本城現状変更 終了竣工届綴平成7年度（委保第4の746号許可）
H10	29	県道四方寄熊本線歩道部既設石張舗装布設替	不明	歩道部既設石張舗装の布設替	H11.1.11	H11.7.30	平成10年度特別史跡熊本城跡現状変更（指令教文第17号許可）
H11	30	坪井川河床安定化工事	不明	河床の異常洗堀により熊本城跡側の石積工等が倒壊する危険性があるため	H12.3.1	H12.3.31	H12国指定史跡現状変更H12（指令教文第24号許可）
H12	31	玉川蓋架け工事	不明	県立美術館前横断歩道より下流へ17.9mに蓋を架け県道歩道と一体化を図る 城内側が急傾斜となるため防護柵(H0.6m)を設置	許可あり次第	H12.3.31	H12国指定史跡現状変更H12（12委庁財第4の55号許可）
H12	32	銅像建設に伴う確認調査	発掘調査	2層から近世の瓦・陶磁器が出土 トレンチからは遺構確認されず。	H12.1.11	H12.1.11	総括報告書第3分冊

H13	33	熊本城跡遺跡群確認調査	発掘調査	申請地は絵図では武家屋敷にあたるため、トレンチを1本設定し土層を確認。 1層：かく乱層 2層：旧表土（近世以降の陶磁器類含む） 3・4層：遺物なし（本来河岸段丘低位面での遺構確認面となる褐色砂層よりも下位に堆積） 3層では建造物に伴う遺構と思われる土坑などが検出。 掘削深度が3・4層に達するため、再度確認調査の必要ありと判断される。	H13.12.6	H13.12.6	処理票H13-0435
H14	34	熊本城跡遺跡群存在状況確認調査	発掘調査	有料老人ホーム・商業施設建設のため、存在状況確認調査を実施。申請地は近世には侍屋敷、近代には熊本第一高等女学校が存在。また、坪井川を挟んだ対岸には横穴群が存在。調査の結果、近世屋敷跡に関連する遺構が検出された。中世以前の遺構が存在しないとは断言できないため、今後工事の影響が地下50cmの遺跡に及ぶ場合には、再度事前の確認調査が必要。	H14.9.4	H14.9.6	処理票H14-存037
H15	35	園路整備工事	立会	県立美術館分館前から不開門までの園路舗装等 園路整備(150m)・園路舗装・空石積工・フェンス設置・照明灯設置	H16.2.1	H16.3.31	H15特別史跡熊本城跡の変状変更等許可申請関係（15委庁財第4の1267号許可）
H15	36	熊本城跡遺跡群確認調査	発掘調査	店舗建設に伴う確認調査。トレンチを1本設定し、土層・遺構の検出を実施。遺跡は存在していない可能性があると判断。身長工事で対処してよいと判断。	H16.3.1	H16.3.1	処理票H15-0708
H21	37	熊本城跡遺跡群確認調査	発掘調査	店舗建設に伴う確認調査。トレンチを2本設定し、土層を確認。埋蔵文化財の存在は認められず。	H21.4.13	H21.4.13	処理票H21-0012
H22	38	共同住宅建設に伴う確認調査	発掘調査	共同住宅建設のため、存在状況確認調査を実施。1b層は江戸時代の整地層と判断されている。遺構は確認されず。	H22.9.22	H22.9.22	総括報告書第3分冊
H22	39	ガス管撤去及び新設工事	不明	高橋公園前ガス管取替に伴い重機等により掘削 新設ガス管(埋設深さ0.5～0.8m)	不明	不明	現状変更申請等22〈特別史跡熊本城跡②〉（22受庁財第4の2052号許可）
H26	40	下水道管及びマンホール埋設	立会	熊本城稻荷神社前に設置されている既存マンホールポンプ場に隣接して新規マンホールポンプ場を建設、ポンプ場より排水管を埋設する 玉川護岸石積を確認（調査結果報告あり）	H26.7.22	H26.12.19	現状変更申請等26〈特別史跡熊本城跡〉（26受庁財第4の458号許可）
H26	41	熊本城跡遺跡群確認調査	発掘調査	マンション建設に伴う確認調査。申請地は武家屋敷があった地域。時期不明の土坑・近代のごみ穴を検出。近世・近代陶磁器も出土。近世の生活面はV層上面と想定されるものの、近世遺構の検出はできず。慎重工事で対応。	H27.10.24	H27.10.24	処理票H26-0465
H27	42	熊本家庭裁判所新庁舎増築に伴う確認調査	発掘調査	新庁舎増築のため存在状況確認調査を実施。トレンチを3本設定し、土層の堆積状況と遺構の存在状況を確認。3層上面、4層上面で遺構検出を行われたものの確認されず。3トレンチ3層から17世紀の陶磁器が出土。	H27.5.25	H27.5.28	総括報告書第3分冊
H28	43	家庭裁判所平板載荷試験用掘削	立会	瓦片・レンガ片出土。全て現代に堆積した土層であると判断	H29.3.10	H29.3.10	熊本城調査研究センター年報3号
H28	44	熊本家庭裁判所境界ブロック壁設置工事	立会	遺構・遺物確認されず	H28.12.2	H29.1.14	熊本城調査研究センター年報3号

H28	45	熊本家庭裁判所存在状況確認調査	発掘調査	江戸時代後期の遺物を含む造成土堆積、土坑検出。保存対象と判断	H29.1.7	H29.1.12	熊本城調査研究センター年報3号
H28	46	旧熊本国税局石垣崩落部分の法面整形に伴う確認調査	発掘調査	江戸時代以降の造成・整地に伴うと思われる二次堆積土層を確認。土坑検出。近代・近世の瓦・陶磁器など出土。埋蔵文化財に該当するため工事の際は事前の本調査の必要あり	H28.12.12	H29.1.20	熊本城調査研究センター年報3号
H28	47	旧熊本国税局石垣の背後の法面削平工事	立会	事前の立会調査で江戸時代後期の造成土、近世初頭の土坑などを検出。工事前の本調査が必要であると判断されたが、計画変更を行い削平面積を大幅に縮減したことで本調査は実施せず、工事立会で対処することに。	H29.3.28	H29.3.31	熊本城調査研究センター年報3号
H28	48	日本たばこ産業（JT）解体工事立会	立会	確認された土層は単一層であり、河岸段丘低位面の基盤層となる褐色砂質土ブロック・軟質砂岩ブロック、コンクリート塊が混入している。工事は埋蔵文化財に対して影響がないことを確認。	H29.2.24	H29.3.15	熊本城調査研究センター年報3号
H29	49	高橋公園高圧ケーブル工事	立会	掘削工事は現代の土層に収まることを確認	H29.4.6	H29.4.10	熊本城調査研究センター年報4号
H29	50	日本たばこ産業（JT）解体工事	立会	H28年度にも立会調査を実施している。今回は敷地内建物外周部の立会調査。全体的に現代の客土が厚く堆積。	H29.4.13	H29.4.18	熊本城調査研究センター年報4号
H30	51	熊本家庭裁判所既存自転車置場撤去後新規自転車置場設置工事	発掘調査	Ⅰ層は現代の表土、Ⅱ層は大規模な造成土。工事は全て現代の土層に収まるもの。	H31.1.14	H31.1.15	熊本城調査研究センター年報5号
R1	52	千葉城町個人住宅建築に伴う確認調査	発掘調査	1～4層までは近代～現代の盛土、5層が地山。申請地建物範囲には埋蔵文化財は確認されず	R1.5.8	R1.5.8	熊本城調査研究センター年報6号
R1	53	千葉城町個人住宅建築に伴う確認調査	発掘調査	遺物・遺構確認されず。全て客土と判断される	R1.10.30	R1.10.30	熊本城調査研究センター年報6号
R1	54	一般県道四方寄線歩道舗装打替えに伴う工事立会	立会	遺構・遺物確認されず。既存の擁壁設置に伴う工事範囲内で掘削が収まることを確認	R2.2.17	R2.2.17	熊本城調査研究センター年報6号
R1	55	一般県道四方寄線歩道拡幅工事	立会	歩道拡幅工事に伴い支障する既設構造物の撤去後、擁壁、タイル舗装及び転落防止柵設置。既設舗装等の撤去は遺構に影響がない範囲で施工。擁壁は掘削を行わず、既設地盤面上に設置	R1.8.9	R1.10.24	文化財現状変更申請・その他届出関係（平成31年度）（31受庁財第4号の157許可）
R1	56	一般県道四方寄線歩道拡幅工事	立会	旧歩道と側溝整備の掘方内の土層を確認。	R1.9.9	R.9.10	熊本城調査研究センター年報6号
R2	57	熊本県立美術館分館照明設備その他改修電気設備工事	立会	遺物・遺構検出されず。	R2.9.11	R2.9.11	熊本城調査研究センター年報7号（予定）
R2	58	N H K 熊本放送会館撤去解体工事	立会	江戸時代の遺構面は確認できず。敷地南西部分で地表下1.5mに火砕流を確認。	R3.1.13	R3.3.24	熊本城調査研究センター年報7号（予定）
R2	59	市道千葉城町第3号線の石垣補強に伴う地質調査	地質調査	平成28年熊本地震の影響により、市道千葉城町第3号線の石垣補強工事が必要となったため、工事方法検討のためのボーリング調査を実施。現地表面下3mは砂礫が混ざる砂質シルト層、その下4mの厚さで火山灰粘性土が確認される。さらにその下11.7mの厚さで阿蘇火砕流堆積物が確認される。	R2.10.27	R2.10.27	熊本城調査研究センター年報7号（予定）

R2	60	家庭裁判所確認調査	発掘調査	新庁舎増築に伴い、存在状況確認調査を実施。東に向かい傾斜する地形の変化を確認。近代の土坑・土管・柱穴、近世の土坑が検出。 近代の瓦・陶磁器出土。	R2.5.12	R2.8.26	熊本城調査研究センター年報7号（予定）
R2	61	敷地整備工事	立会	熊本城復旧のための資材置き場を整備するため、盛土を実施。	R2.6.12	R3.3.18	文化財現状変更・その他届出関係（令和2年度）（指令（文化財）第15号許可）
R3	62	雨水排水施設設置・法面補修工事	立会	2021年5月17日の大雨以降、土砂流出・雨水滞水・法面洗堀が発生しているため、遺構保護のための応急措置として雨水排水施設の設置と旧NHK建物建設及び撤去に伴う法面緑化工事を実施。	R3.6.18	工事中	文化財現状変更・その他届出関係（令和3年度）（指令（文化財）第23号許可）

「熊本城みどり保存管理計画」について

1 前回委員会での質問と回答 **報告**

前回 7 月の委員会でいただいた質問に対し調査した成果について報告します。
(資料 3-1)

2 保存管理計画の目次（案） **諮問**

保存管理計画の素案を作成するため、まずは目次（案）をお示しします。
(資料 3-2)

3 “みどりの現状と課題”の作業状況 **報告**

令和 2 年度の樹木点検結果を分析・整理した結果について、危険木（D 判定）位置、文化財への影響木の位置、撤去した場合の樹木配置状況などをお示しします。
(資料 3-3)

4 アンケート実施状況 **報告**

アンケート実施状況について報告します。
アンケート実施期間（予定）：11/1～11/19（3 週間程度）

第1回委員会での委員からの質問と回答

項目	番号	委員質問（敬称略）	質問時期	回答
上位計画	1	・上位計画の「熊本市緑の基本計画」の内容を示す必要あり（西嶋）	7月委員会	【今回】他の上位計画、関連計画（緑の基本計画）との関連性を説明 【今後】計画内に掲載
管理体制	2	・15年前から現場ではどういう管理をしてきたのか、不作為は無かったか。その辺りも点検して欲しい。（西嶋）	7月委員会	【今後】課題として整理し計画に記載
歴史検証（江戸期）	3	・熊本城ではこういった植栽をして、城としての機能を果たしていたなどの情報を分かるようにしてもらえたらいいと思うので、今回の歴史的変遷にはそういった所も加えてもらおうとありがたいと思う。（服部）	7月委員会	【今回】調査研究結果（文献・絵図より）を説明 【今後】調査研究結果を計画に掲載
	4	・江戸時代の城内樹木の配置を調べる。各樹木の歴史背景が分かって計画に掲載することができたらいいのでは(服部、伊東龍)	7月委員会	
	5	・元々建物があった所には木は無いと思う。遺構表示をする場合に、そういう場所に木が在ったらおかしいと思う。（服部）	7月委員会	【今回】調査研究結果（絵図と現存樹木の重ね図）を説明 【今後】調査研究結果を計画に掲載、該当箇所の樹木撤去については今後検討、遺構表示については今後、別途整備計画を策定する際に検討。
景観	6	・熊本城はどういう姿が本当なのか、などの情報を分かるようにしてもらえたらいい(服部)	7月委員会	【今回】調査研究結果（視点場における古写真、現在の景観を比較）を説明 【今後】調査研究結果を計画に掲載、今後の景観に関する施策について検討
	7	熊本城の植栽の変遷、近世から近代まで連続して歴史が成立する中で、それらを踏まえた案ができることが望ましい。（伊東龍）	7月委員会	
	8	・お城としての景観をいかに観光客にもうまく見せるか、城壁の石垣を遠方からでも綺麗に見せるのか重要。樹木がどんどん育っていくので伐採もしながら管理することが大事。（河島）	7月委員会	【今後】具体的な施策の中で書き込む
植樹記録(明治以降)	9	・明治期以降、いつどこに誰が植えたかの記録は？(服部）(伊東龍）(西嶋）	7月委員会	【今回】調査研究結果（文献等、現状変更許可より）を説明 【今後】調査研究結果を計画に掲載
遺構への影響	10	・樹木が石垣等へ与える影響（地震・台風など）の事例を調べる(山尾)	事前説明時	【今回】事例(毀損届等より）を説明 【今後】調査研究結果を計画に掲載
密度管理	11	・樹高や樹冠幅、配置（密か分散か）などのデータはあるか？景観への影響、原因が明確になる。間引きも必要か。（山尾）	事前説明時	【今後】次回説明予定
樹木育成	12	・遺構に影響するものや危険な樹木は伐採し周辺樹木を育て、樹冠を広げるよう取り組むことが大事。(伊東麗)	7月委員会 (一旦回答済)	【今後】具体的な施策の中で書き込む
サクラ	13	・絵図（熊本城図）に表現されたサクラはケアしながら眺望・景観を維持して欲しい（小堀）	7月委員会	【今回】調査結果：長堀通りの桜は「熊本城図」に基づき平成17年（2005）に復元されたもの。（元々柳だったが台風被害があり、桜に変更して街路樹復旧をおこなった） 【今後】調査研究結果を計画に掲載、今後の桜に関する施策について検討
	14	・桜は他の樹木からの被圧を受けている状況が多数ある状況で、間伐（間隔を空ける）も必要(伊東麗)	事前説明時	【今後】D判定伐採と併せて密度確認
	15	・補植には土壌改良必要、伐採から2年置く、元の位置から1.5mほど離隔取って植える（伊東麗）	事前説明時	【今後】史跡内でのサクラの補植手法について検討
	16	・根株撤去の検討（特にサクラ）（伊東麗）	7月委員会 (一旦回答済)	【今後】史跡内でのサクラの補植手法について検討
古樹	17	・古樹についてできるだけ残してもらいたいと思う。ただし安全確保は必要。（小堀）	7月委員会	【今後】現在詳細点検中、今後結果を受けて取りまとめ
他部署管理地	18	・藤崎台の大クスノキについては、今回の計画の中に入っていない。藤崎台クスノキは県管理だが、市で管理を実施して欲しい。（毛利）	7月委員会 (一旦回答済)	【今後】県管理であるため、記載について今後検討
市民参画プロセス	19	・アンケート内容事前照会と結果の示し方が大事（西嶋）	事前説明時	【今回】メールにて各委員へ事前確認の上、アンケート実施中 【今後】アンケートの結果はまとめ次第、お伝えする
	20	・委員会や利害関係者、ステークホルダーに対して意見交換、ヒアリング、アンケート等の実施を（西嶋）	事前説明時	【今後】計画の素案を作成する中で必要に応じ、今後もヒアリング、アンケート等の実施を検討

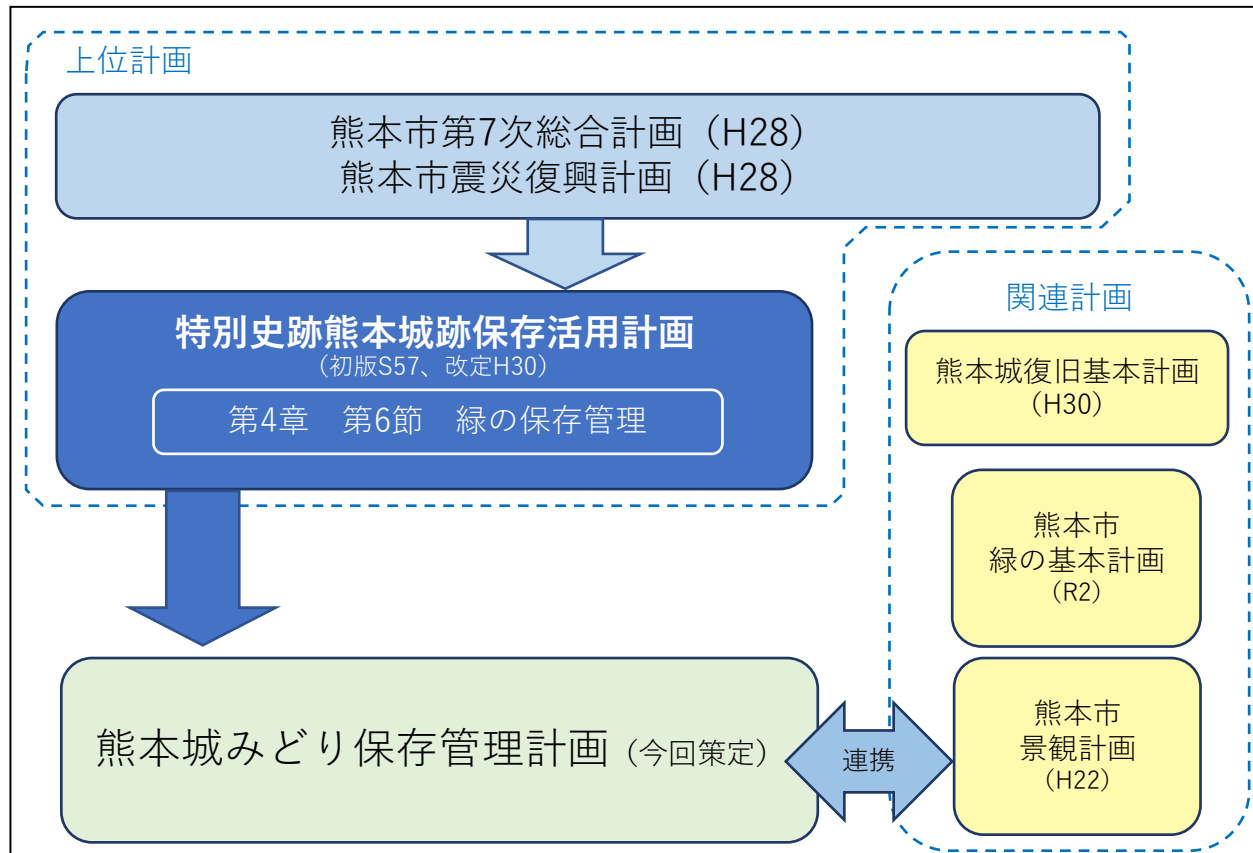
計画の位置づけ

○上位・関連計画

本計画に関する上位計画や関連計画は以下の関連図のようになります。

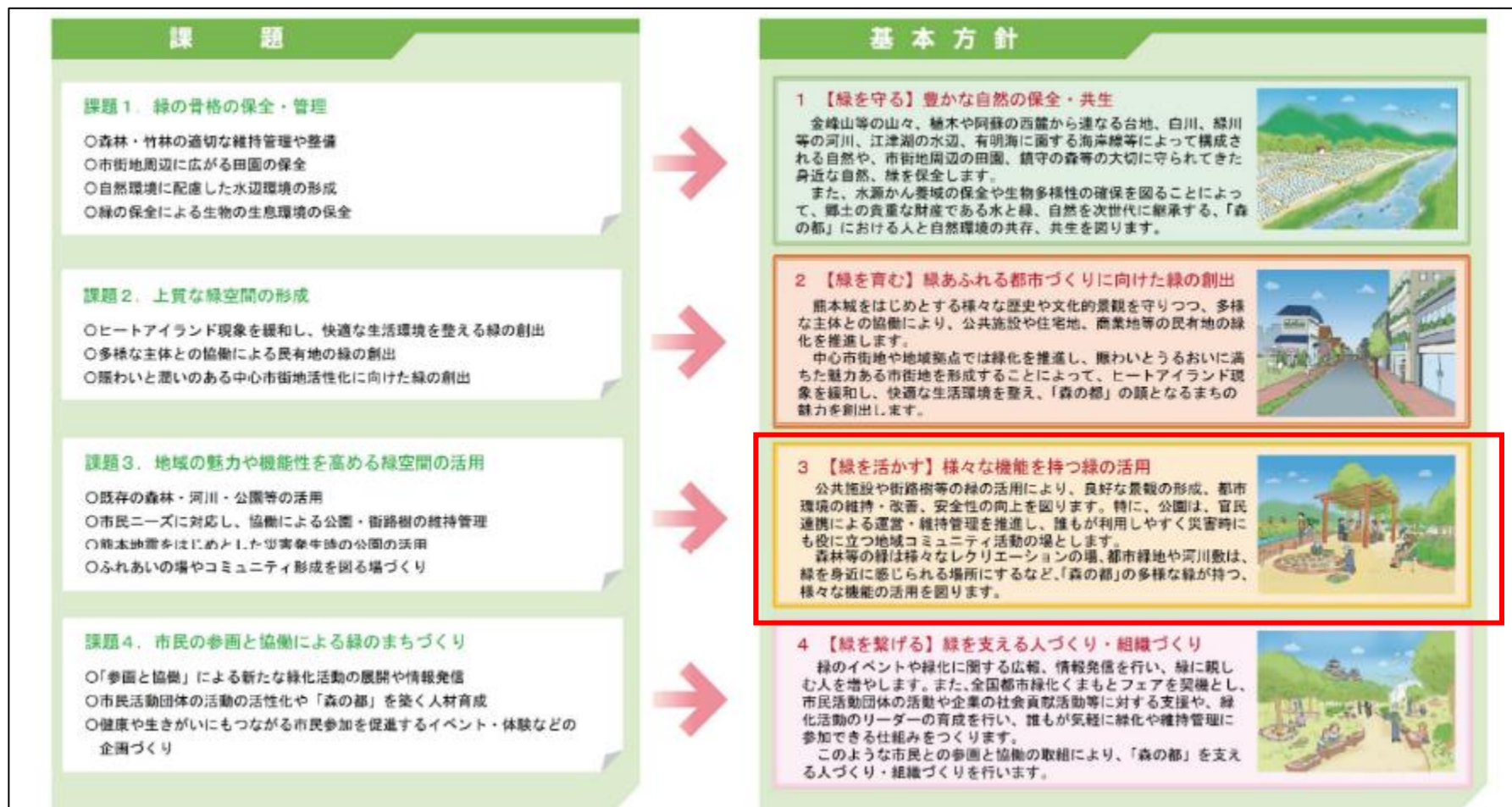
特に「特別史跡熊本城跡保存活用計画」が直接的な上位計画であり、さらにその中の「第4章 第6節 緑の保存管理」の方針に沿った計画を策定します。

また、関連計画のうち「熊本市緑の基本計画」や「熊本市景観計画」などは関連性が大きく、これらの計画にも沿った内容としていきます。



緑の基本計画（熊本城関連部分）

第4章 基本方針



基本方針 3

緑を活かす

2. 都市公園の魅力向上による 身近な緑の活用

(1)公園の特性に応じた活用の推進

①熊本城公園の復旧及び活用

2 都市公園の魅力の向上による身近な緑の活用

緑の基本計画（熊本城関連）

公園は、良好な景観の形成や都市環境を改善するほか、防災性の向上、生物多様性の確保等、多様な機能を有する都市の根幹的な施設です。

今後の公園施策は、新設から既存公園の有効活用へ転換していきます。

1 適正な維持管理の推進

公園を地域の共有財産と位置づけ、公園愛護会等のボランティア団体や市民、学校、事業者と行政との協働により、大切に維持管理します。

2 時代のニーズに対応した利用したい公園への再生

高齢者や障がいのある人への対応、健康増進、子育て支援や多世代交流、子どもたちの成長支援の機能等を付加することで、時代のニーズに対応した誰もが使いやすく利用したい公園への再生に取り組みます。

3 重点的な公園づくり

住区基幹公園の市民一人当たり公園面積が1㎡未満の校区を対象に、財政計画と整合を図りながら、市民参画による街区公園の整備に取り組みます。

具体的な事業	担当課
(1)公園の特性に応じた活用の推進	
①熊本城公園の復旧及び活用 ★	熊本城総合事務所
②都市基幹公園の健康づくり促進のための活用促進	スポーツ振興課
③【新規】水前寺江津湖公園の活用	動植物園、公園課
④歴史公園の活用促進	文化財課、公園課
(2)既存公園の有効活用	
①人にやさしい公園づくり ★	公園課
②【新規】利用しやすい公園づくり ★	公園課
③【新規】ICT活用による公園利用の促進	公園課、健康づくり推進課
④【新規】狭小公園の活用	公園課
(3)官民連携による公園の魅力の向上	
①【新規】公募設置管理制度（Park-PFI）等民間活力の導入による管理運営	公園課
②指定管理者制度等の活用	公園課
③【新規】民間活力の導入による公園づくり	公園課
④【新規】住民参画による公園づくり	公園課
(4)熊本地震を踏まえた災害に役立つ公園づくり	
①指定緊急避難場所（一時避難場所）の機能確保 ★	危機管理防災総室、公園課、消防局警防課、健康福祉政策課
(5)公園の新たな取組	
①公園利用の促進	公園課
②【新規】市民参加の公園管理の検討	公園課

★・・・緑化重点地区で主に取り組む事業

①熊本城公園の 復旧及び活用

・平成30年3月策定の「熊本城復旧基本計画」に基づき丁寧な復旧を推進するとともに、戦略的な公開・活用に取り組みます。

・また、特別史跡内については「特別史跡熊本城跡保存活用計画」（平成30年3月策定）に示した方針にしたがって緑の保存管理を行います。

■具体的な事業がもたらす緑の質の向上

上記の具体的な事業を行うことにより、次の緑の役割（緑の質）が向上します。

1. 都市環境の維持・改善	2. 良好な都市景観の形成	3. 都市の安全性の確保	4. 健康づくり・レクリエーション空間の提供	5. 精神的充足
---------------	---------------	--------------	------------------------	----------

（1）公園の特性に応じた活用の推進

熊本城公園は、熊本城復旧基本計画に基づき復旧と活用に取り組みます。都市基幹公園（総合公園、運動公園）や広域公園は、自然とのふれあいや総合的なレクリエーション、運動の場となるとともに、災害時には広域避難場所等にもなる公園であり、これらの熊本市の緑の拠点となる公園の適切な活用を図ります。

特殊公園（歴史公園等）は、史跡等の文化財の公開等を目的とした、市民のレクリエーションの場となる公園であり、歴史文化資源を活かした公園の適切な管理と活用に努めます。

①熊本城公園の復旧及び活用★

・平成30年3月策定の「熊本城復旧基本計画」に基づき丁寧な復旧を推進するとともに、戦略的な公開・活用に取り組みます。また、特別史跡内については「特別史跡熊本城跡保存活用計画」（平成30年3月策定）に示した方針にしたがって緑の保存管理を行います。



熊本城公園

②都市基幹公園の健康づくり促進のための活用促進

・健康づくり促進のため、様々な運動の場となる都市基幹公園の活用を促進します。

③【新規】水前寺江津湖公園の活用

・「水前寺江津湖公園利用・保全計画」に基づき、さらなる活用を図ります。
・「全国都市緑化くまもとフェア」の開催にあわせ、遊歩道など公園内の改修を実施します。
・熊本市動植物園については、「動植物園マスタープラン」に基づき、江津湖に隣接した恵まれた立地を活用し、さらなる魅力向上を図ります。

第5章 緑化重点地区

緑化重点地区は、緑化の推進を重点的に図るべき地区です。重点地区では、市民・事業者・行政がともに緑のまちづくりに取り組み、緑化推進のモデルを形成します。

熊本市の緑化重点地区の設定については、以下の3つの基準を用いて設定することとします。

①市民の緑化への関心を高める、PR効果が 高く先進的な取組を行う地区

築き上げた「森の都」を拠点として、市内外に緑づくりを行う人が増えるよう広く発信します。

②市民の方々が身近に緑を感じ、親しめるよ うな場を創出する地区

地域の方々が身近に感じる緑を創出することで、住み心地のいい地域を共につくります。

③市民・事業者・行政がともに緑のまちづく りに取り組む地区

緑化推進に取り組むにあたって多様な主体が協働・参画し、みんなで「森の都」を築きます。



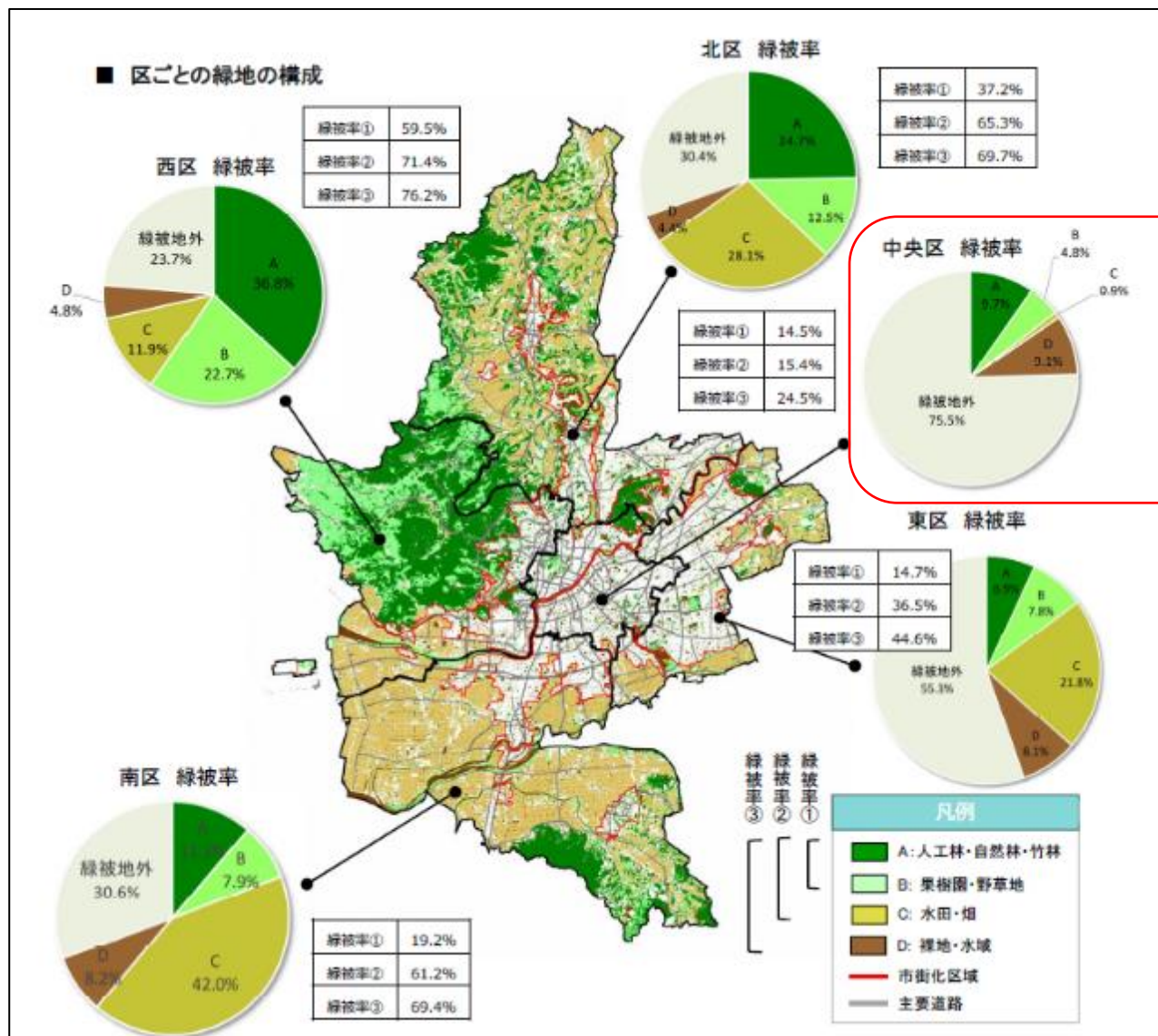
2-3 緑化重点地区の施策

下記の緑化重点地区における整備方針の基、「中心市街地」、「地域拠点（15箇所）」、「中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸」において各施策を実施します。

本市の顔となる緑の拠点（熊本城）

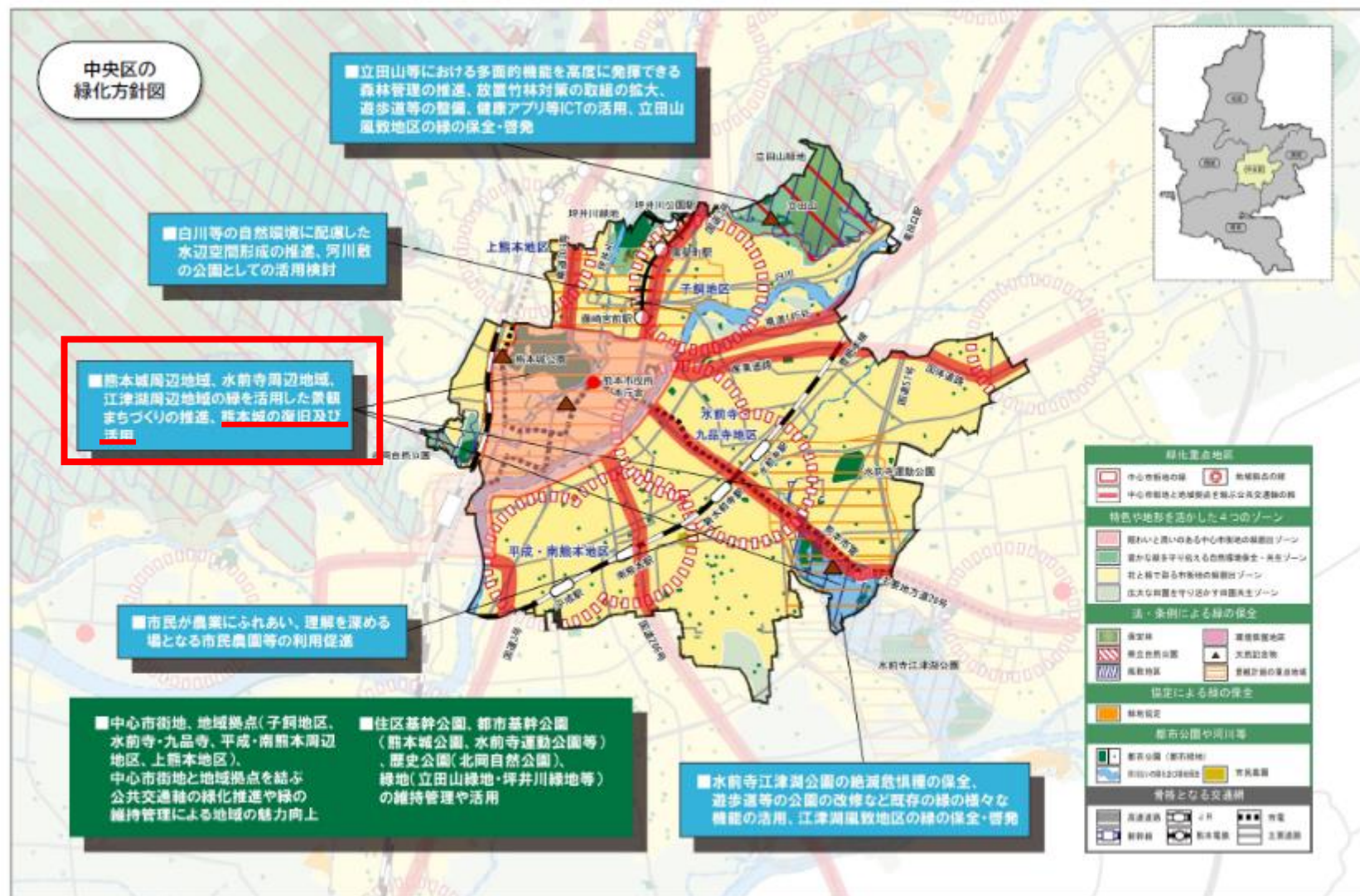
緑化重点地区における整備方針		1. 本市の顔となる緑の拠点（熊本城）と「シンボルプロムナード」の形成	2. 白川河川敷の活用	3. 本市の玄関口（熊本駅）の緑の景観形成	4. 水と緑のネットワークの形成	5. 公共施設の緑化推進	6. 緑豊かなまちづくりの緑化推進	7. まちや地域の魅力を高める公園づくり	8. 来訪者をもてなす地域拠点における駅やバス停周辺の緑化推進
施策		① 熊本城公園の復旧及び活用 ② シンボルプロムナード・花畑広場の整備	① 白川河川敷の活用	① 熊本駅前周辺の緑化推進	① 環境に配慮した河川整備の推進・促進 ② 市電軌道敷の緑化 ③ 街路樹等の再生整備の推進	① 公共施設の緑化充実 ② フラワーポット等による緑化の推進	① 緑地協定の締結推進 ② つながりの森づくり補助金の活用促進 ③ 花苗等配布活動等の推進 ④ 壁面・屋上緑化助成制度の活用促進 ⑤ フラワーポット等による緑化の推進（公共地以外） ⑥ スポンサー花壇制度・パートナー花壇制度の活用促進（NEO GREEN PROJECT） ⑦ アーケード内の緑化推進 ⑧ 商店街等の緑化推進	① 人にやさしい公園づくり ② 利用しやすい公園づくり ③ 住民参画による公園づくり ④ 狭小公園の活用	① 地域拠点における駅やバス停周辺の緑化推進
中心市街地		○	○	○	○	○	○	○	○
	植木地区	—	—	—	—	○	○	○	○
	北部地区	—	—	—	—	○	○	○	○
	楠・武蔵ヶ丘地区	—	—	—	○	○	○	○	○

第6章 区ごとの緑化方針



中央区の
緑被率①は14.6%
(市全体32.8%)

第6章 区ごとの緑化方針（中央区）



本丸（本丸上段）

- 本丸御殿御居間南側の路地に4本程度の樹木あり（イチョウも含む）
- 本丸御殿大広間南西に樹木あり



明和6年（1769）頃「御城内御絵図」（熊本市蔵）本丸上段部分

本丸（平左衛門丸）

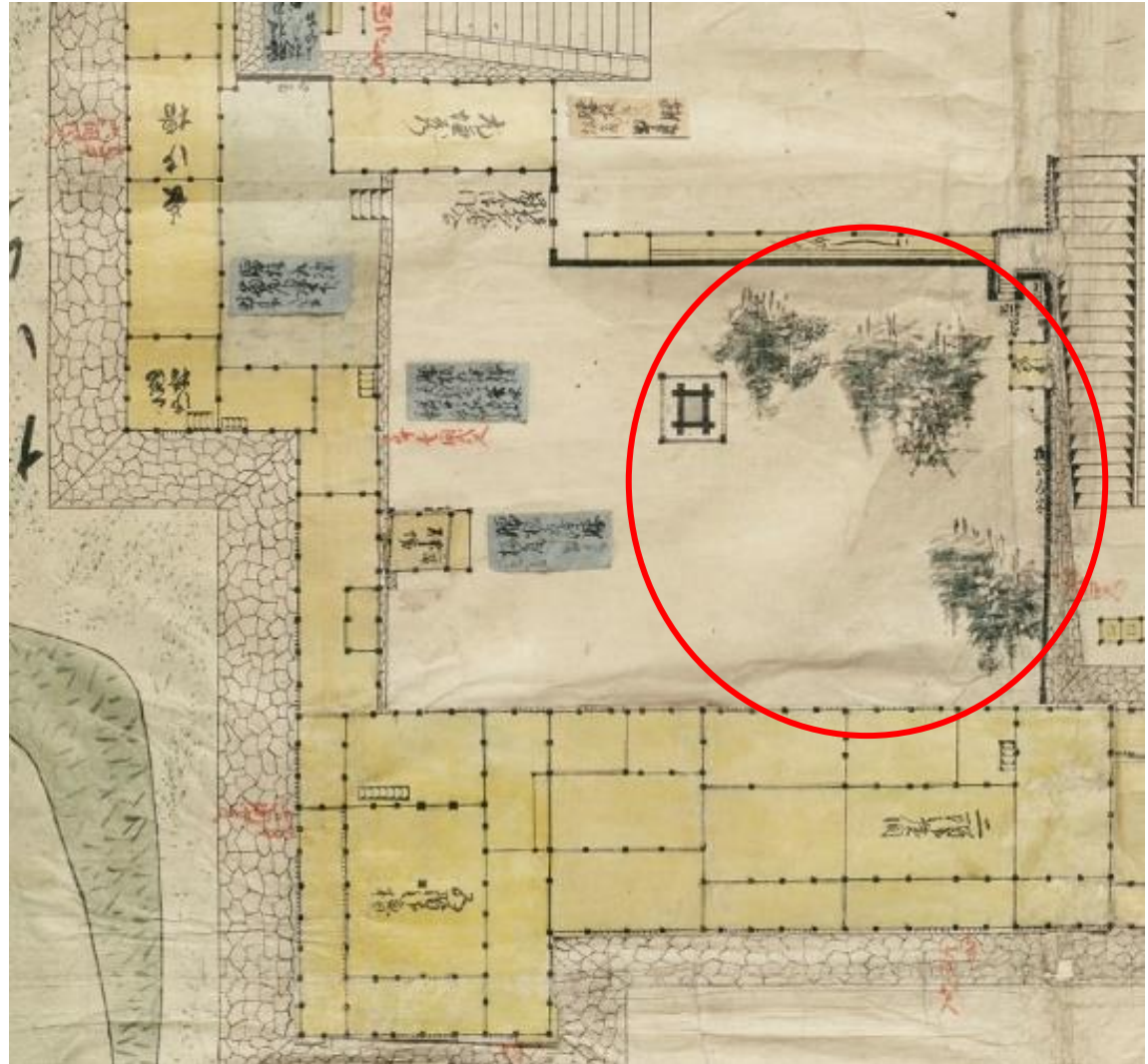
- 平左衛門丸台所南側にスギ並木あり
- 宇土櫓側にマツ1本、広葉樹1本あり



明和6年（1769）頃「御城内御絵図」（熊本市蔵）平左衛門丸部分

本丸（数寄屋丸）

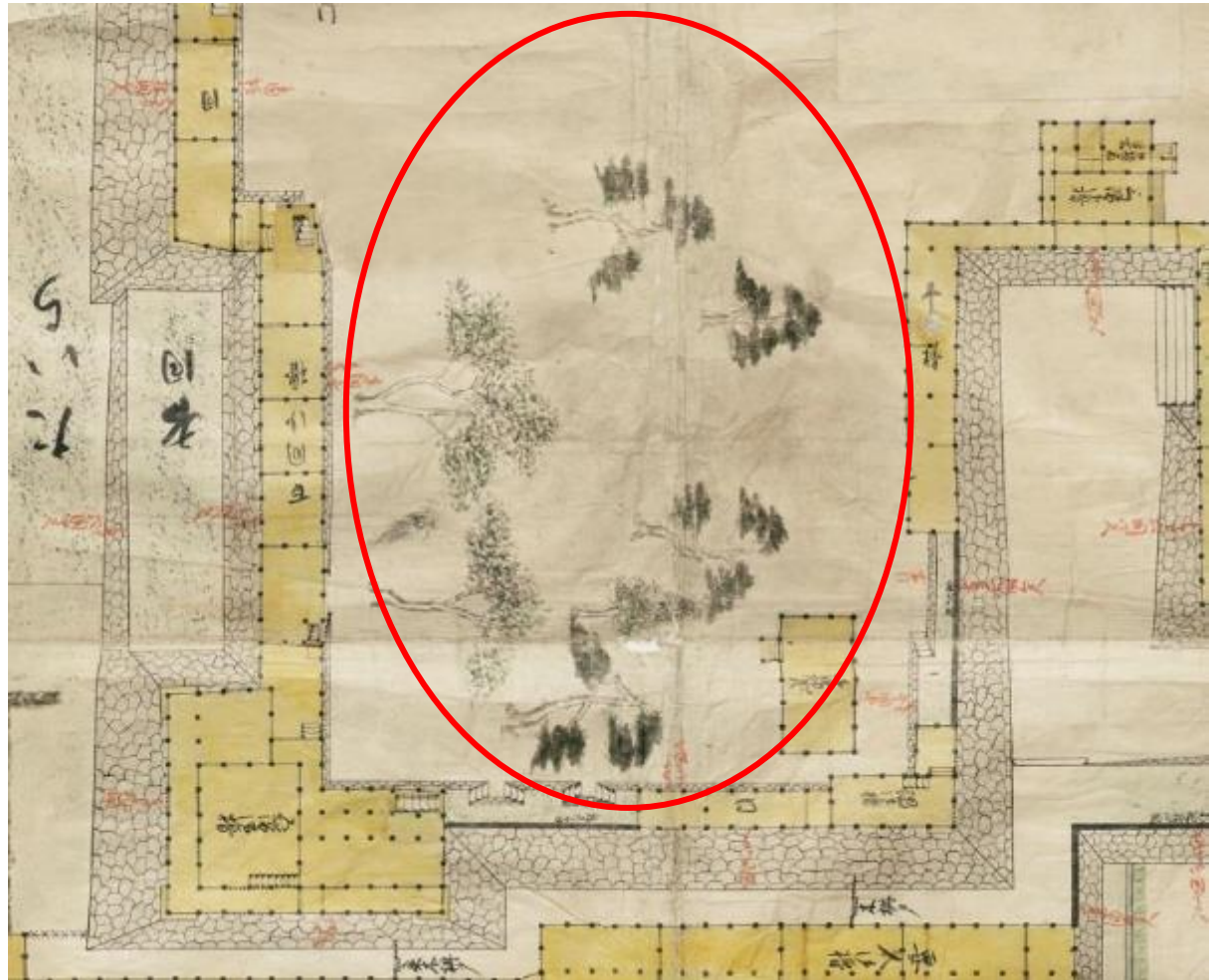
- 井戸の東側にスギとみられる樹木群あり



明和6年（1769）頃「御城内御絵図」（熊本市蔵）数寄屋丸部分

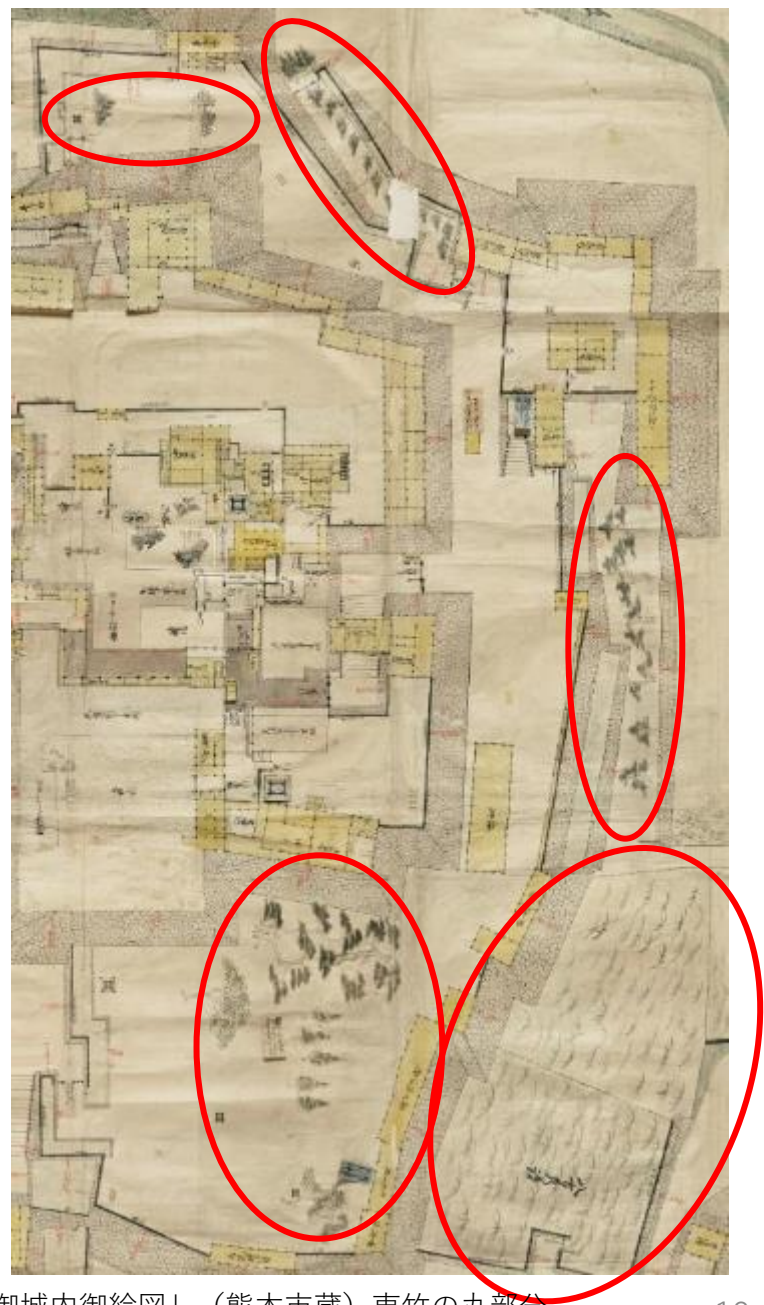
本丸（飯田丸）

- 百間櫓東側にクスノキ、マツ複数本あり



本丸（東竹の丸）

- 重要文化財櫓群の西側にマツ3本、広葉樹3本（クスノキか）、スギ5本あり
- 平櫓前の広場に広葉樹2本あり
- 不開門坂道と坂道下にスギ十数本あり
- 東十八間櫓南側の平場にマツ複数本あり
- 八方蔵跡（重要文化財櫓群東側下段）に笹の描写あり



本丸（竹の丸）

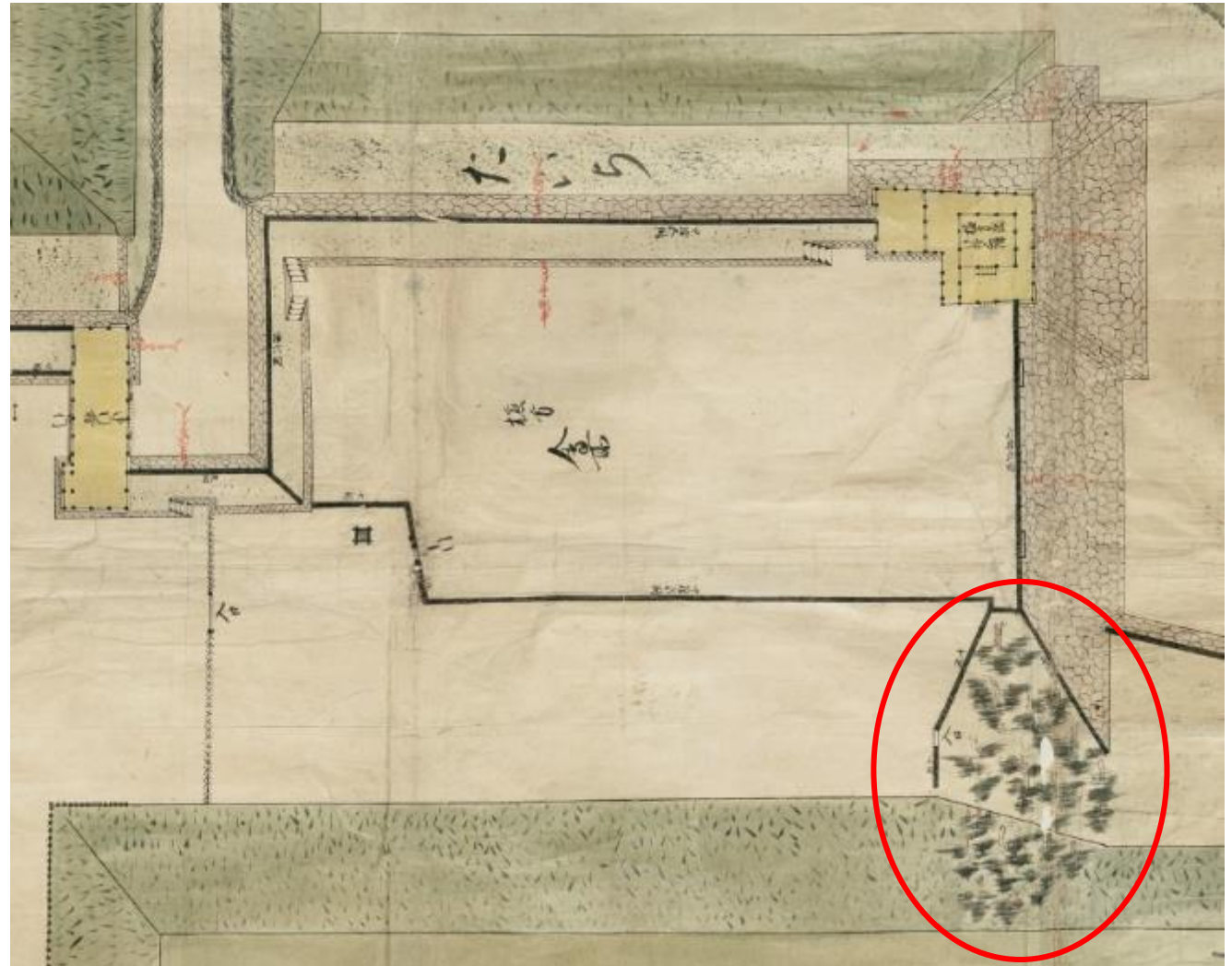
- 要人櫓下・長塀内側にスギ林あり（作事所が建築資材として使用した記録あり）
- 書物櫓西側にスギほか複数樹種の樹木あり。勢屯中央に広葉樹の大木がある



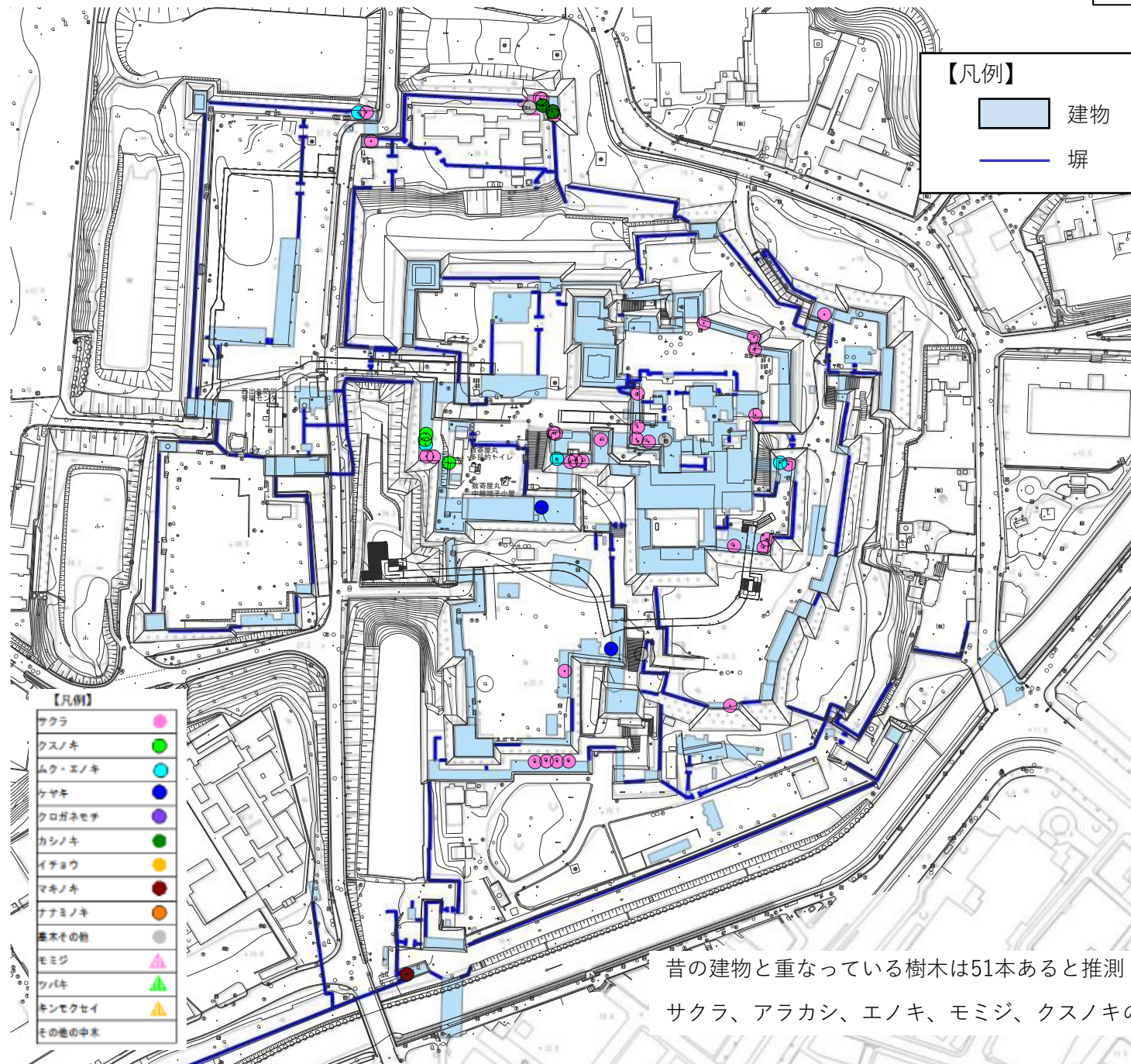
明和6年（1769）頃「御城内御絵図」（熊本市蔵）竹の丸部分

本丸（櫓方）

- 櫓方会所南側から空堀にかけての斜面にマツ林あり



明和6年（1769）頃「御城内御絵図」（熊本市蔵）櫓方部分



昔の建物と重なっている樹木は51本あると推測

サクラ、アラカシ、エノキ、モミジ、クスノキの順で多い

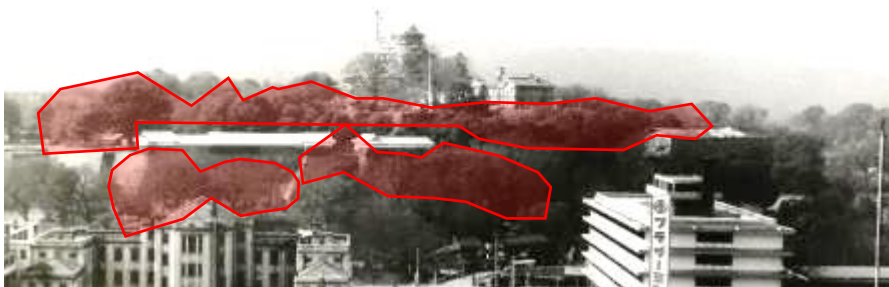
視点場①



昭和35年撮影（熊本市歴史文書資料室蔵）



令和3年10月撮影



同範囲樹木と推測される箇所を明示

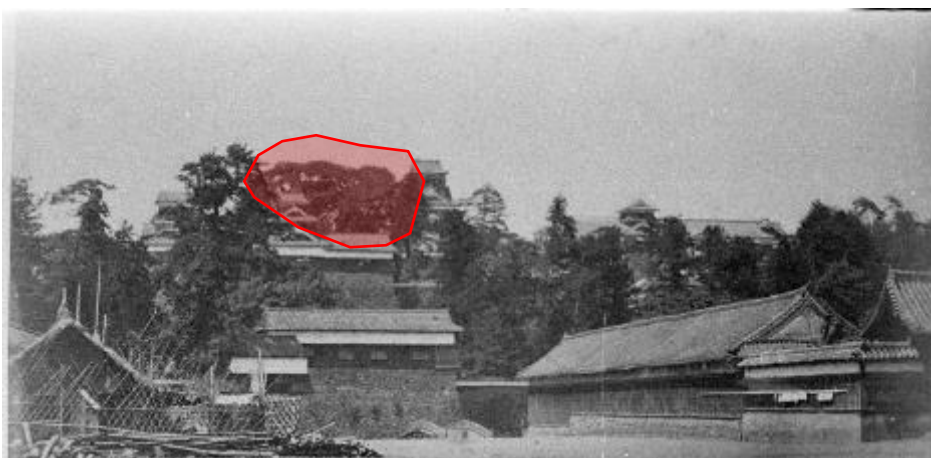
視点場②



明治4年撮影（熊本市寄託）



令和3年9月撮影



針葉樹が多くみられる

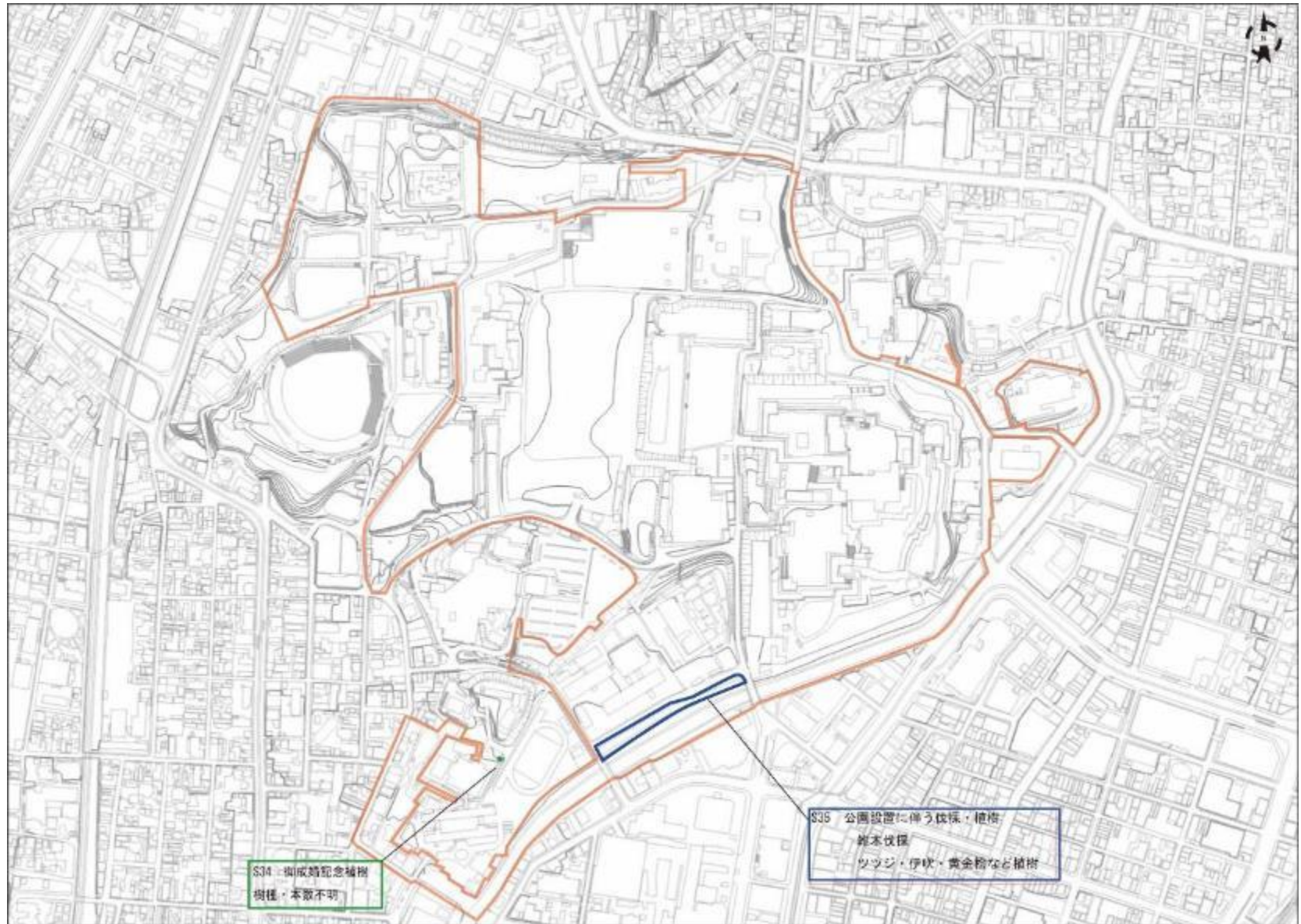


広葉樹が多くみられる

同範囲樹木と推測される箇所を明示

植樹の記録

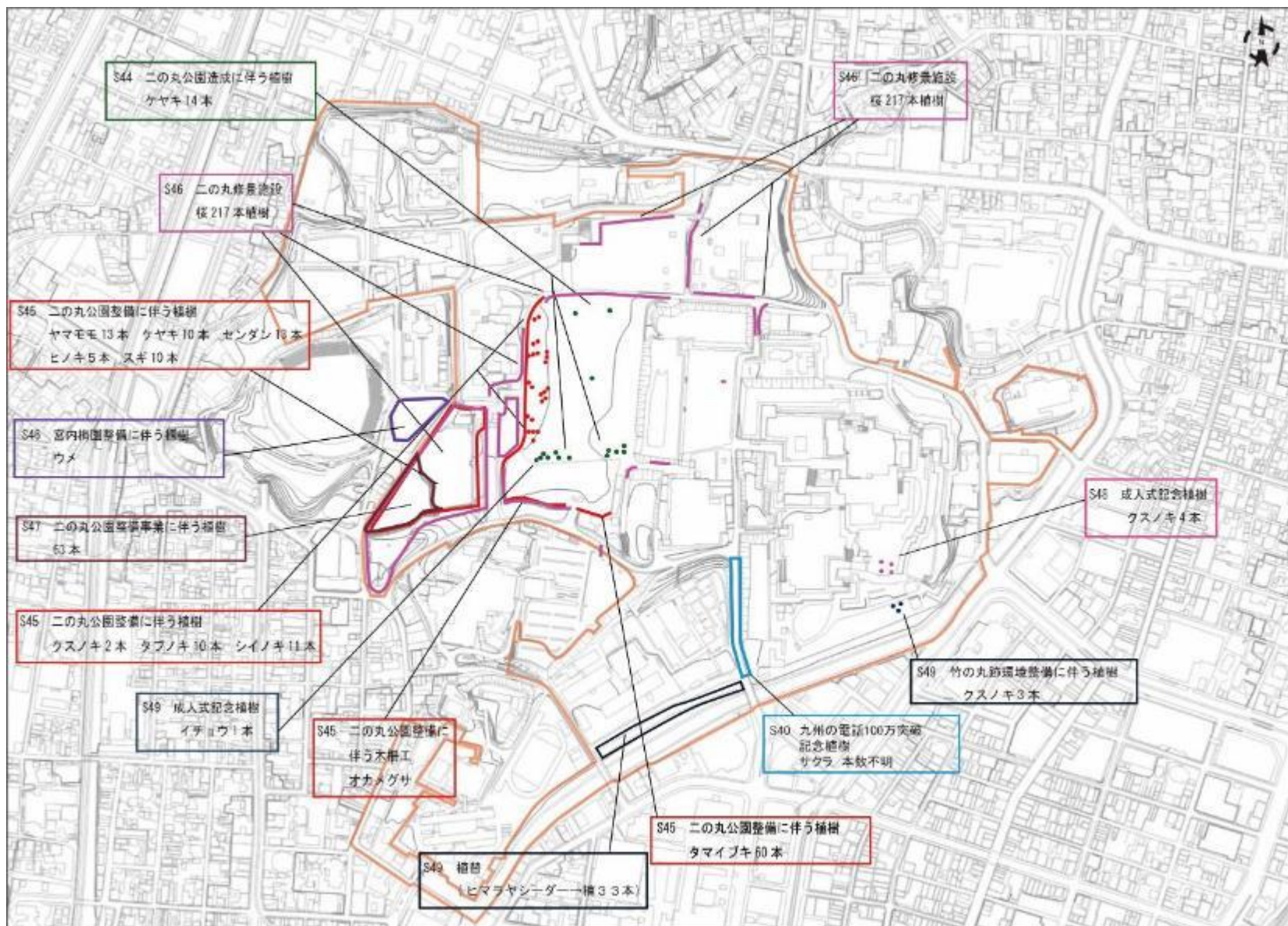
昭和20年代～30年代（20年間）



植樹の記録

昭和40年代（10年間）

昭和47年「森の都宣言」市議会にて決議 官民一体での全市的な緑保全と緑化推進

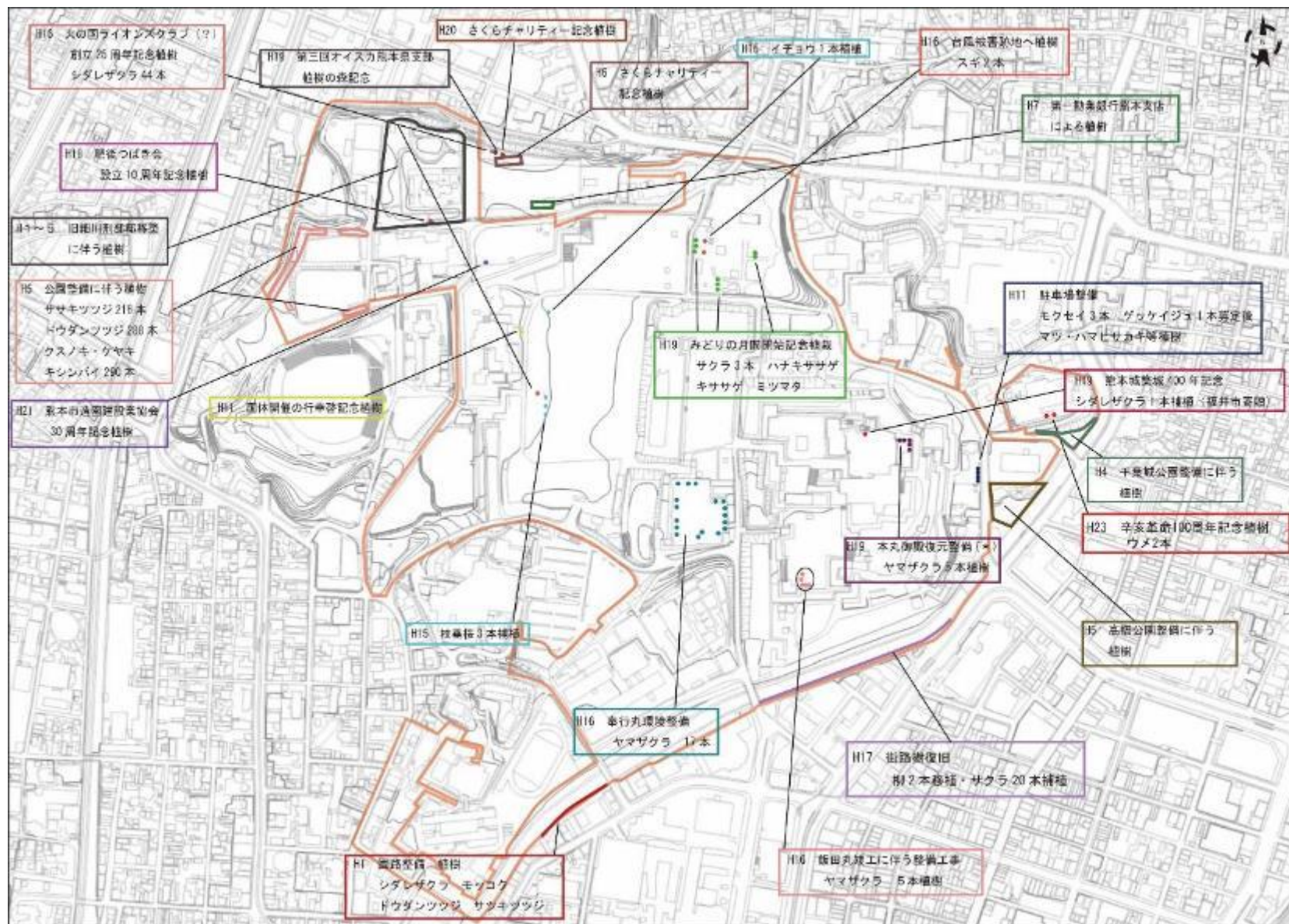


The map illustrates the layout of the Kumamoto Castle grounds, with various areas designated for greenery management projects. The projects are categorized by color-coded boxes and labeled with codes and descriptions:

- S56** 熊本キャッスルライオンズクラブ 結成10周年記念植樹
- S55** 成人式記念植樹 エノキ1本
- S51** 県立美術館植栽 ケヤキ2本
- S50** 二の丸等環境整備に伴う植樹 クスノキ12本 ムク8本 イチョウ4本 ケヤキ45本
- S54** 成人式記念植樹 エノキ1本
- S56** 成人式記念植樹 エノキ1本
- S52** 成人式記念植樹 ムクノキ20本
- S51** 美術館前通路設置に伴う植樹 (詳細不明)
- S57** 成人式記念植樹 エノキ1本
- S53** 成人式記念植樹 エノキ1本
- S51** 緑化植栽事業 ムク10本 エノキ10本 タラヨウ20本 モチノキ20本 ナメノキ10本 ヤブツバキ20本 ウメモドキ40本
- S55** 景観保全のための植樹 モチノキ1本 モクセイ2本
- S54** 西大手門石垣復元及び排水路整備工事に伴う植樹等 桜樹 クスノキ5本
- S51** 緑化植栽事業 トベラ46本 (純植)
- S53** 柱林市との姉妹都市締結記念植樹 キンモクセイ1本
- S51** 緑化植栽事業 ヒメクチナシ40本 ジンチョウゲ35本
- S51** 緑化植栽事業 ケヤキ10本 ムク4本
- S55** 公衆便所設置に伴う植樹 ウバメガシ
- S51** 緑化植栽事業 ウバメガシ30本
- S50** 二の丸等環境整備に伴う植樹 カナメモチ485本 ケヤキ24本 クス8本
- S51** 緑化植栽事業 モッコウ20本
- S50** 二の丸等環境整備に伴う植樹 クスノキ11本
- S51** 緑化植栽事業 ヒノキ10本
- S51** 緑化植栽事業 ヒラギノキモクセイ32本
- S51** 緑化植栽事業 リンゴ7本
- S51** 緑化植栽事業 ヤブツバキ5本
- S50** 須戸口門前広場緑化植栽 クスノキ3本 カエデ2本 ヤブツバキ0本 ムク1本
- S50** 須戸口門前広場緑化植栽 棠100本
- S53** 熊本城植栽 クスノキ4本
- S51** 緑化植栽事業 ウメ20本
- S53~S54** 行幸坂置路の環境整備工事 山桜14本 ベニカナメモチ136本
- S55** 環境整備 (行幸坂排水施設工事) サクラ17本 ベニカナメモチ261本
- S50** 二の丸等環境整備に伴う植樹 トベラ143本

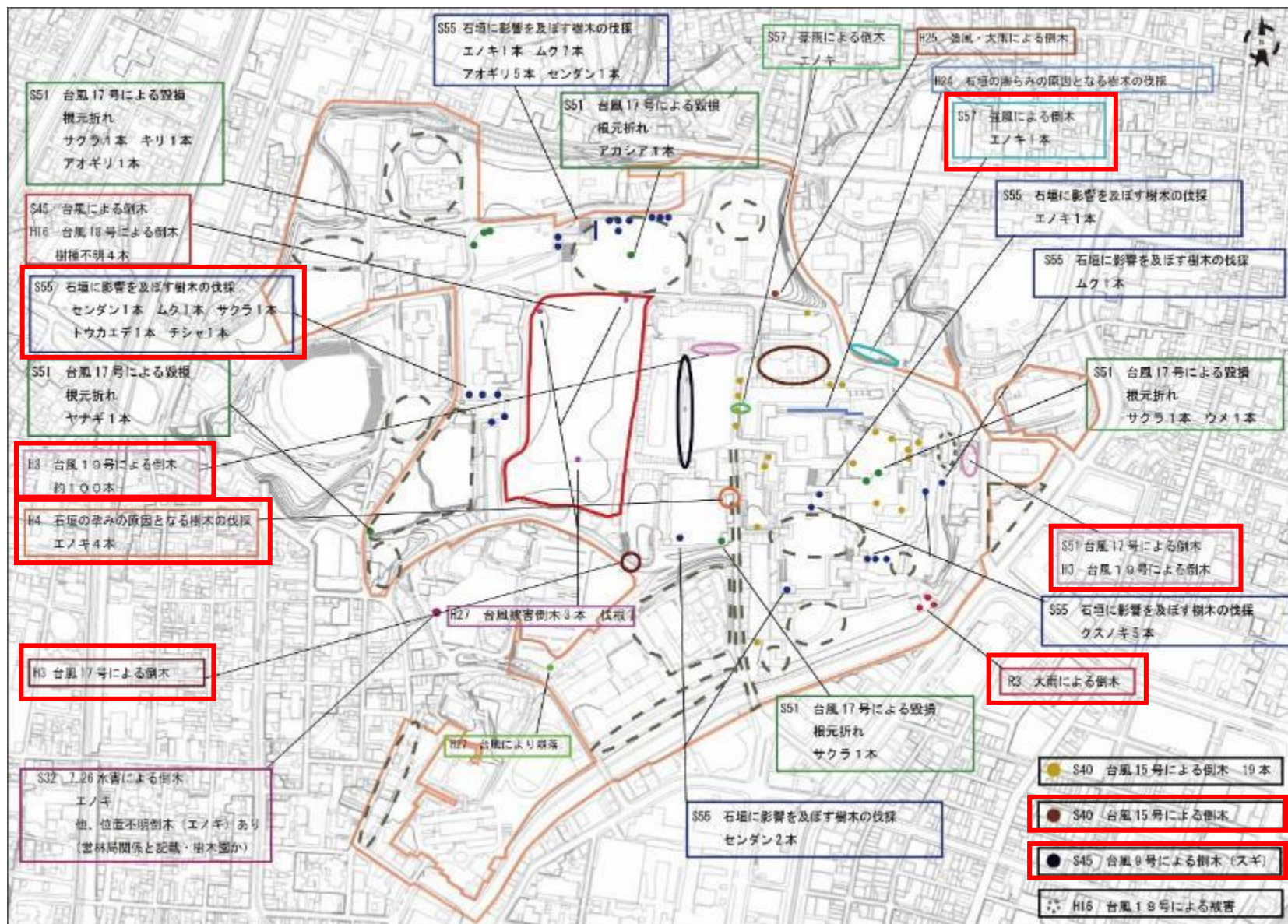
植樹の記録

昭和60年代～現在（40年間弱）

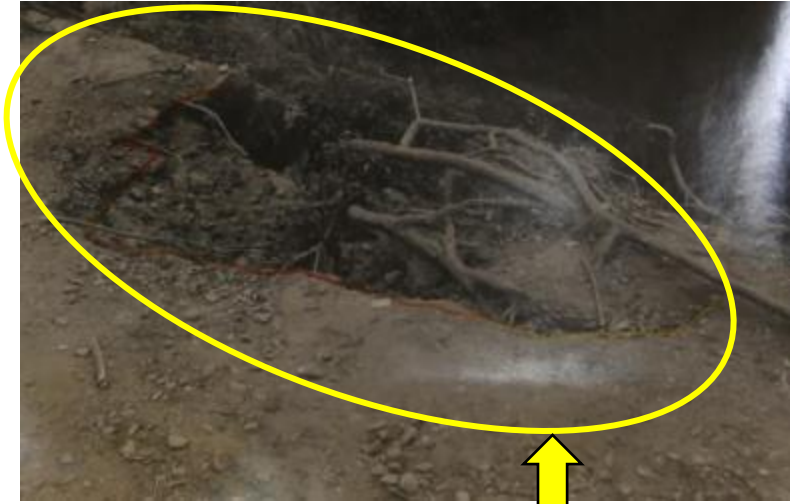


被災樹木・遺構に影響を及ぼす樹木

昭和20年代～現在



昭和40年 台風15号による被害



倒木により加藤神社石垣天端石が崩落

昭和45年 台風9号による被害

倒木により石垣変状



(写真：熊本県教育委員会提供)

昭和51年 台風17号による被害

倒木による建物き損
(熊本大神宮拝殿) →



(写真：熊本県教育委員会提供)

昭和55年 石垣に影響を及ぼす樹木伐採



昭和57年 強風による倒木



← 倒木により根元部分の石垣天端石が変状
(伝統工芸館)

(写真：熊本県教育委員会提供)

平成3年 台風17号による倒木

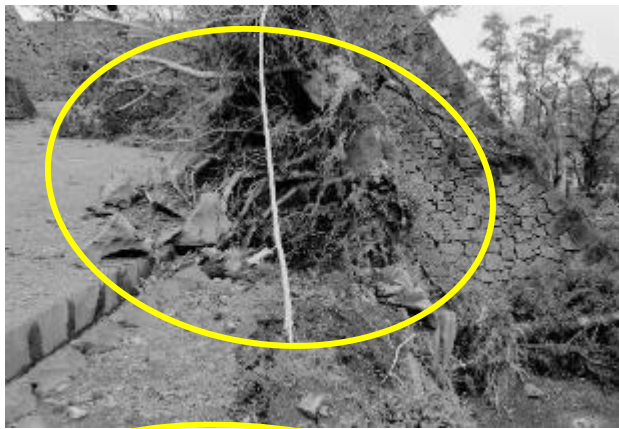
倒木処理前



倒木処理後



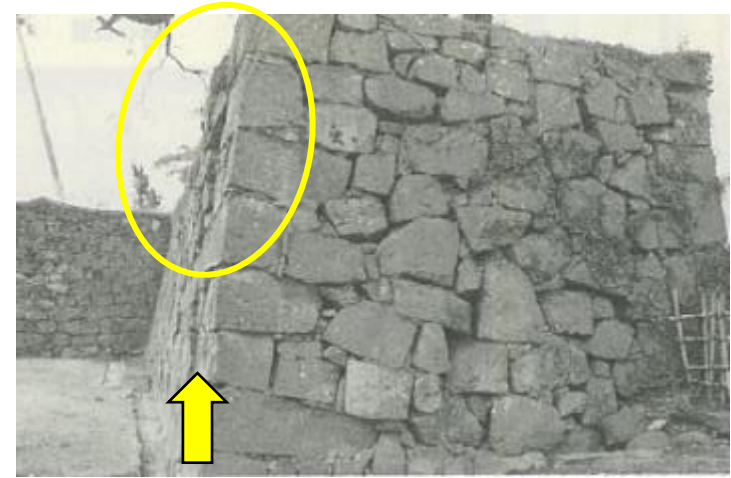
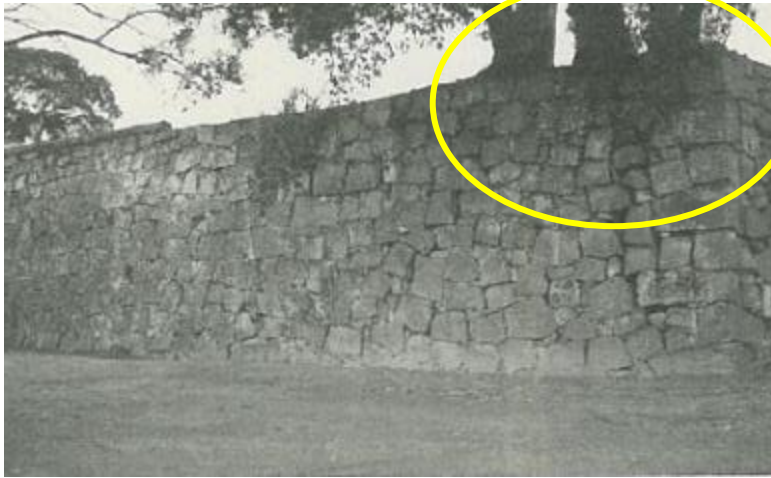
倒木により法面崩落（未申櫓周辺）



倒木により
東十八間櫓石垣の
天端石が崩落・変状

平成4年 石垣の変状の原因となる樹木伐採

資料3-1 質問10



石垣上の樹木による変状（奉行所）

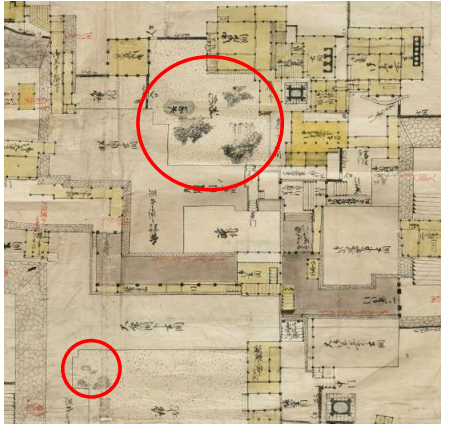
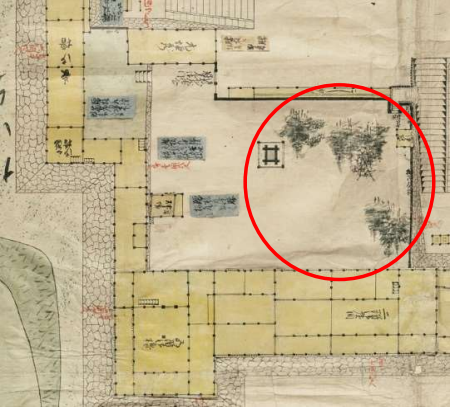
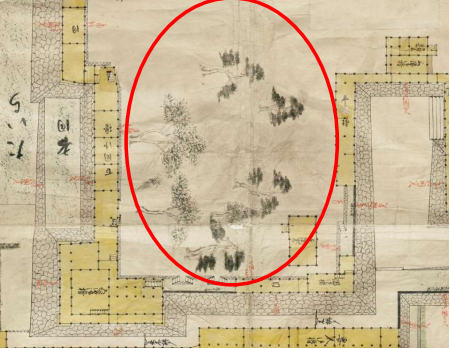
令和3年 大雨及びベッコウタケによる倒木

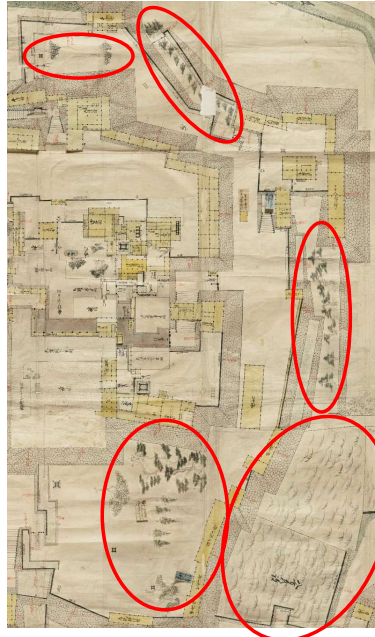
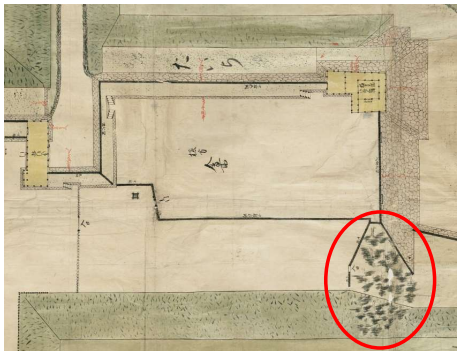


倒木により須戸口虎口石垣
天端石が変状



絵図から読み取れる江戸時代における城内の植物景観

絵図	年代	地区	内容	図
御城内御絵図	明和6年（1769）頃	本丸 （本丸上段）	・本丸御殿御居間南側の路地に4本程度の樹木あり（イチョウも含む） ・本丸御殿大広間南西に樹木あり	
		本丸 （平左衛門丸）	・平左衛門丸台所南側にスギ並木あり ・宇土櫓側にマツ1本、広葉樹1本あり	
		本丸 （数寄屋丸）	・井戸の東側にスギとみられる樹木群あり	
		本丸 （飯田丸）	・百間櫓東側にクスノキ、マツ複数本あり	

御城内御絵図	明和6年（1769）頃	本丸 （東竹の丸）	・重要文化財櫓群の西側にマツ3本、広葉樹3本（クスノキか）、スギ5本あり ・平櫓前の広場に広葉樹2本あり ・不開門坂道と坂道下にスギ十数本あり ・東十八間櫓南側の平場にマツ複数本あり ・八方蔵跡（重要文化財櫓群東側下段）に笹の描写あり	
		本丸 （竹の丸）	・要人櫓下・長塀内側にスギ林あり（作事所が建築資材として使用した記録あり） ・書物櫓西側にスギほか複数樹種の樹木あり。勢屯中央に広葉樹の大木がある	
		本丸 （櫓方）	・櫓方会所南側から空堀にかけての斜面にマツ林あり	
御奉行所絵図	江戸時代中期以降 （宝暦6年（1756）以降）	本丸 （奉行丸）	・奉行丸のうち、南側の機密間西に樹木あり ・未申櫓北側の石垣上に1本、櫓東側に2本のマツがある	『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編 絵図・地図・写真』 p.93
御土居御絵図	文政元～10年	二の丸	・長岡山城預櫓南側の土手に広葉樹・スギ ・法華坂から二の丸広場への入口部分の土手に広葉樹 ・二の丸御門東側の石垣上にマツ10本ほどあり	『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編 絵図・地図・写真』 P.107
		三の丸	・監物櫓北東の土手にクスノキラしき樹木あり ・新堀の堀底付近にスギ林あり ・森本櫓南側の土手に広葉樹・スギあり ・杉塘の堀沿いにスギあり ・藤崎八幡宮南側の土手に広葉樹（クスノキか）やスギの林あり	『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編 絵図・地図・写真』 p.104～108
		古城	・新町側の水堀の土手上に広葉樹・スギあり ・桜馬場の坪井川沿い（坂崎忠左衛門屋敷内）にマツ3本があるほかは、石垣上に樹木は見られない	『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編 絵図・地図・写真』 p.109～110
		千葉城	・土塁上に複数の広葉樹・スギあり	『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編 絵図・地図・写真』 p.102～103
熊本所分絵図 二丸之絵図	文久元年（1861）以降	本丸	・奉行丸南側の通路南側にスギ並木あり	『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編 絵図・地図・写真』 p.137
熊本城之図	明治時代	本丸	・長塀通りにサクラ並木あり	『特別史跡熊本城跡総括報告書 歴史資料編 絵図・地図・写真』 p.148

熊本城における樹木や植樹に関する記述

和暦	西暦	内容	出典	備考
慶長6年以降 ～慶長16年	1604～1611年	植木の季節なので、栗・柿・梨などの樹木を植えるようにと加藤清正の指示あり	(年不詳) 2月8日付加藤清正書状(長崎氏所蔵文書) 『歴史資料編』65号文書	植樹位置は不明
明和6年頃	1769年頃	本丸御殿御居間周辺：イチョウほか、平左衛門丸：スギほか、数寄屋丸：スギ、飯田丸：クス・マツ、東竹の丸：クス、スギ、マツ、竹の丸：スギ、クスほか	御城内御絵図	古樹：天守前のイチョウ、飯田丸のクス、東竹の丸のクス、竹の丸のクス
万延元年	1960年	天守前のイチョウ、大風で幹が吹き折れら、本丸御殿御居間に倒れ破壊する	本藩年表	上妻博之「清正公と名木」に記載あり
慶応3年	1867年	藩主らの通行のため、花畑屋敷から本丸への覆道を建築するにあたり、竹の丸のスギを使用する	機密間日記(永青文庫12.2.7) 『歴史資料編』198号文書	
明治4～10年	181871～1877年	竹の丸のスギ林、桜馬場の竹林、不開門坂道のスギ並木、伐採される	古写真	
明治10年	1877年	古城の統邸にあったウメを鹿柴にするために伐採する	原口長之・永田日出男・中村哲也校訂『西南戦争隈岡大尉陣中日誌』熊本史談会、1980年	
明治10年	1877年	天守前のイチョウ、火災で焼失する		
明治12年	1879年	城内の空地にマツ・スギ・ヒノキ等の苗木1万本を植樹するため、苗木代350円を明治13年度予算に計上	防衛省防衛研究所Ref.C04028732100 『歴史資料編』332号文書	植樹位置は不明
明治36年	1903年	明治35年の明治天皇行幸を記念し、行幸坂にサクラ100本を植樹	『新・熊飽学』熊本日日新聞社、1990年	
明治後半～大正頃		河喜多義男氏によるクスノキの植樹	『熊本県近代文化功労者』1981年 「くまもと緑・景観協働機構」HP	植樹位置・本数不明
昭和17年	1942年	行幸坂の美化のため、坂の両側に芝・ツツジを植える。翌年にサクラも整理か	熊本城趾保存会編『熊本城』1942年	
昭和27年	1953年	国立病院整備に伴う樹木伐採	国立病院管財第14(申請番号)	詳細不明 S27着工、S32竣工 国立病院
昭和29年	1954年	昭和28年12月に南九州財務局から城内の枯死したクス・モミなど35本の樹木の払い下げをうけた業者が、加藤神社のイチョウを伐採しようとし、中止命令を受ける	熊本日日新聞(昭和29年3月10日付)	
昭和29年	1954年	危険木伐採	教社第6(許可番号)	降雨により前年度復旧工事個所上部が崩壊したため、危険木を伐採 ムクノキ12本・榎3本 監物台樹木園
昭和32年	1957年	7.26水害による倒木(榎)	市親第111(申請番号)	7.26水害による倒木 国立病院ほか位置不明の倒木(榎)あり(営林局関係との記載あり→樹木園か)
昭和34年	1959年	御成婚記念植樹	GIS	皇太子昭仁殿下・同妃美智子殿下御成婚記念 樹種・本数不明 古城地区(第一高校内)
昭和35年	1960年	公園設置のため雑木伐採・植樹	地文記第675(許可番号)	小さな雑木伐採 ツツジ・伊吹・黄金松等大きくならない樹木を植樹 坪井川へり
昭和37年	1962年	危険木伐採	地文記第971(許可番号)	7月3日の集中豪雨による地盤の緩みによって倒木の恐れがあるムクノキ1本を伐採 監物台樹木園
昭和40年	1965年	行幸坂にサクラ植樹	熊日データベース	本数不明
昭和40年	1965年	台風15号による倒木	熊市城第141(毀損届)	本丸地区 樹種不明
昭和44年	1969年	二の丸公園造成に伴う植樹	委保第2の6 2 0	樟14本植樹
昭和45年	1970年	行幸坂にサクラ100本植樹	現地記念碑	電々公社、電話契約100万件記念
昭和45年	1970年	台風による倒木	都公発第147(毀損届)	24本倒木 16本伐採(カキ1本・榎2本・桜4本・キリ2本・杉5本 センダン1本・カシ1本 蘇生の見込みがある8本は植え直し 二の丸広場
昭和45年	1970年	二の丸公園整備(S42年度～継続)に伴う植樹(野鳥園)	委保4-1081	野鳥園土手に茶庭造成工事を行うもの ヤマモモ13本・榎10本・センダン13本・ヒノキ5本 スギ10本
昭和45年	1970年	二の丸公園整備(S42年度～継続)に伴う植樹(二の丸広場)	委保4-1081	二の丸駐車場整備工事に伴う 木土工(オカメザサ)・タマイバキ60株
昭和45年	1970年	二の丸公園整備(S42年度～継続)に伴う植樹(二の丸広場)	委保4-1081	二の丸広場整備工事に伴う クスノキ2本・タブ10本・シイノキ11本
昭和46年	1971年	二の丸修景施設整備に伴う植樹	委保第4の109	サクラ217本植樹 山桜・八重桜・提灯桜・ソメイヨシノ(内訳不明)
昭和46年	1971年	宮内梅園整備としてウメ植樹	総括報告書整備事業編	
昭和47年	1972年	二の丸跡の公園整備事業	委保第4の803	63本植樹 野鳥園
昭和47年	1972年	監物台樹木園土留工事	委保第4の1230	ツツジ100本
昭和48年	1973年	成人式記念植樹	委保第4の31	クスノキ4本 本丸
昭和49年	1974年	植木植替	委保第4の362	景観に適しないため、ヒマラヤシーダーをクスノキに植え替え(33本) 須戸口門の整備完了に伴い竹の丸の一部に瓦礫等が露出した部分が生じたが、城郭の庭園にふさわしくないため、環境の維持のために芝張・植林を行う クスノキ3本
昭和49年	1974年	成人式記念植樹	委保第4の12	銀杏1本植樹 二の丸広場
昭和50年	1975年	二の丸等環境整備	委保第4-369	催し広場 クスノキ20本 カナメモチ485本 ケヤキ24本 クス8本 二の丸広場 クスノキ12本 イチョウ4本 ムク8本 エノキ8本 ケヤキ46本 トベラ143本 本丸北側一帯 クスノキ11本
昭和50年	1975年	須戸口門前広場緑化植栽	委保第4の368	クスノキ3本 カエデ2本 ヤブツバキ6本 ムク1本 茶100本
昭和51年	1976年	県立美術館植栽	委保第4の441	ケヤキ2本(熊本第一ライオンズクラブ寄贈)
昭和51年	1976年	美術館南通用門設置	委保第4の268	詳細不明 申請書に「植樹して目隠し」と記載

昭和51年	1976年	緑化植栽事業	委保第4の391	催し広場 ケヤキ10本 ムク4本 二の丸広場 エノキ10本 ムク16本 トベラ46本 本丸 ウバメガシ30本 モッコウ20本 (図面では19本) リンゴ7本 ウメ20本 ヒメクチナシ40本 ジンチョウゲ33本 ヤブツバキ5本 ヒイラギモクセイ32本 ヒノキ10本
昭和51年	1976年	成人式記念植樹	委保第4の56	ムクノキ1本 二の丸広場
昭和51年	1976年	台風17号によるき損	熊城発第225	天守閣前休憩所東…サクラ根元倒れ1本 西櫓門入口西…サクラ根元折れ1本 月見櫓…ウメ根元倒れ1本 清爽園…ヤナギ根元折れ1本 催し広場…アカシア根元折れ1本 美術館西…サクラ・キリ・アオギリ根元折れ各1本 その他枝折れあり
昭和52年	1977年	成人式記念植樹	委保第4の40	ムクノキ20本 二の丸広場
昭和52年	1977年	枯損木伐採	委保第4の1071	台風17号によりエノキ幹折れ (毀損届には記載なし) その後枯れ始めたため、根元から伐採撤去 樹齢200年 熊本稲荷神社
昭和53年	1978年	成人式記念植樹	委保第4の53	二の丸広場 エノキ1本
昭和53年	1978年	熊本城植栽	委保第4の412	竹の丸 クスノキ植樹 ヒマラヤシーダー掘取
昭和53年	1978年	行幸坂園路の環境整備工事	委保第4の44	昭和53～54年に実施 山桜14本 ベニカナメモチ136m
昭和54年	1979年	成人式記念植樹	委保第4の40	二の丸広場 エノキ1本
昭和54年	1979年	西大手門石垣復元及び排水路設置工事		エノキ100本伐採 クスノキ5本植樹 ナナメノキ3本移植
昭和54年	1979年	熊本市と桂林市 (中国) の姉妹都市締結記念植樹	委保第4の1113	二の丸広場 金木屋1本
昭和55年	1980年	石垣に影響を及ぼす樹木の伐採	委保4の36	催し広場…エノキ1本 ムク7本 アオギリ5本 センダン1本 美術館南…センダン1本 ムク1本 トウカエデ1本 サクラ1本 チシャ1本 西出丸…センダン1本 飯田丸…センダン1本 その他本丸…クスノキ5本 ムク1本 エノキ1本 熊本大神宮拝殿に被害
昭和55年	1980年	環境整備	委保第4の735	行幸坂排水施設工事に伴う植樹 サクラ17本 ベニカナメモチ261m
昭和55年	1980年	成人式記念植樹	委保第4の1	二の丸広場 エノキ1本
昭和55年	1980年	公衆便所設置に伴う植樹	委保第4の343	ウバメガシ
昭和56年	1981年	成人式記念植樹	委保第4の2	二の丸広場 エノキ1本
昭和56年	1981年	環境保全		二の丸駐車場 モチノキ1本 モクセイ2本
昭和56年	1981年	熊本キャスルライオンズクラブ結成10周年記念植樹		
昭和57年	1982年	成人式記念植樹	委保第4の1162	二の丸広場 エノキ1本
昭和57年	1982年	石垣補修に伴う植樹	委保第4の734	詳細不明 千葉城地区
昭和57年	1982年	強風による倒木	商政第34	千葉城地区 エノキ
昭和57年	1982年	豪雨による倒木	熊城発第97	行幸坂 エノキ倒木
昭和63年	1988年	移植・伐採	委保第4の656	本丸 サクラ2本 クスノキ2本 イチョウ1本移植 クスノキ6本伐採
平成1年	1988年	園路整備に伴う植樹	委保4-1200	シダレザクラ モッコク ドウダンツツジ サツキツツジ
平成3年	1990年	台風19号による倒木	石垣保存修理工事・発掘調査報告書	西出丸笹園・東十八周櫓で倒木により石垣き損
平成3年	1990年	台風17号による倒木	平成3年度 台風17号による被害の樹木処理	二の丸他多数被害
平成4年	1991年	石垣の争みの原因となる樹木伐採	石垣保存修理工事・発掘調査報告書	エノキによる西出丸東側石垣の争みが顕著なため、4本伐採
平成4年	1992年	千葉城公園整備として複数樹木植樹	総括報告書整備事業編	
平成1年～5年	1988～1993年	旧細川刑部邸移築時に複数樹木植樹	総括報告書整備事業編	
平成6年	1994年	三の丸史料公園北側にサクラ植樹	総括報告書整備事業編	さくらチャリティー 基金植樹 サクラ 本数不明
平成7年	1995年	三の丸史料公園南側に植樹	総括報告書整備事業編	第一勧業銀行熊本支店より 樹種・本数不明
平成11年	1999年	駐車場整備	指令11	モクセイ3本・ゲッケイジュ1本剪定 マツ・ハマヒサカキ等植樹
平成11年	1999年	国体時の行幸啓記念植樹	教文19	二の丸 サクラ
平成15年	2003年	便所新設に伴う移植	15委庁財第4の372	ウメ19本移植 (飯田丸内)
平成15年	2003年	樹木補植	15委庁財第4の1493	二の丸広場 イチョウ1本 シダレザクラ3本

平成16年	2004年	台風18号による被害	熊本城発第175号	櫓方門周辺…倒木：サクラ2本 馬具櫓…幹折れ：サクラ1本 竹の丸広場…倒木：サクラ1本 二様の石垣前…倒木：サクラ1本 飯田丸梅園…倒木：ウメ2本 幹折れ：ウメ1本 サクラ1本 西櫓門入口…倒木：サクラ1本 田子櫓前…倒木：サクラ2本 東十八間櫓…倒木：サクラ2本 行幸坂…倒木：サクラ3本 樹種不明1本 監物台前…倒木：サクラ1本 二の丸広場・駐車場…倒木：樹種不明4本 幹裂け：樹種不明1本 催し広場…倒木：樹種不明1本 三の丸史料公園…倒木：樹種不明3本 三の丸広場：倒木：樹種不明5本 梅園（三の丸）…倒木：樹種不明7本 野鳥園…倒木：樹種不明7本 幹折れ1本 清爽園…倒木：センダン1本 サクラ1本 古城堀端公園周辺…倒木：サクラ1本 坪井川遊歩道…倒木：小竹10数本 合同庁舎前公園…幹折れ：スギ1本 桜馬場駐車場周辺…倒木：サクラ2本 幹折れ：スギ1本 イチョウ1本
平成16年	2004年	奉行丸環境整備	16委庁財第4の853	ヤマザクラ17本植樹
平成16年	2004年	飯田丸竣工に伴う整備工事	16委庁財第4の1695	ヤマザクラ5本植樹
平成16年	2004年	台風被害跡地への植樹	16委庁財第4の1828	監物台樹木園 スギ2本
平成16年	2004年	火の国ライオンズクラブ記念植樹		三の丸 二の丸 シダレザクラ44本 シダレザクラ等44本
平成17年	2005年	街路樹復旧	17委庁財第4の776	長堀 ヤナギ2本移植 サクラ20本補植
平成18年	2006年	肥後つばき会設立10周年記念植樹		三の丸
平成19年	2007年	本丸御殿復元整備	19委庁財第4の1095	移植 クロマツ1本 植樹 ヤマザクラ5本
平成19年	2007年	熊本城築城400年記念植樹	19委庁財第4の1288	シダレザクラ1本（福井市より寄贈）
平成19年	2007年	みどりの月間開始記念植樹	18委庁財第4の2314	監物台樹木園 ソメイヨシノ3本 ハナキササゲ ミツマタ キササゲ
平成19年	2007年	第三回オイスカ熊本県支部植樹の森記念		三の丸
平成20年	2008年	さくらチャリティー記念植樹		三の丸
平成24年	2012年	平左衛門丸北側石垣修復及び仮設事務所設置	22受庁財第4の2277	石垣のふくらみの原因と思われる樹木伐根6本
平成25年	2013年	強風・大雨による倒木	25九番第23	監物台樹木園
平成27年	2015年	台風によるき損		国立病院 台風により倒木
平成27年	2015年	台風被害倒木の伐根	22受庁財第4の1484	二の丸広場 3本伐根

補足

NHK跡地に梅の記念植樹あり

目次	委員からの質問	備考
序文		
例言		
第1章 計画策定の沿革と目的		
1. 計画策定の趣旨		
（1）計画策定の背景		
（2）計画の目的		
2. 計画の適用対象範囲		
3. 計画策定の体制と経過（委員会）		
4. 計画の位置づけ		
（1）上位・関連計画	1	保存活用計画から抜粋
（2）関係法令		〃
5. 計画期間		
第2章 特別史跡熊本城跡の概要、歴史的変遷		
1. 位置		保存活用計画から抜粋
2. 特別史跡熊本城跡の歴史と価値		〃
（1）歴史		〃
（2）城郭構造としての特色		〃
（3）石垣		〃
（4）建造物		〃
①重要文化財建造物		〃
②県指定建造物		〃
③未指定建造物		〃
④復元建造物		〃
3. 土地利用の変遷		調査研究結果とりまとめ
4. 近世・近代の植栽		〃
（1）近世における城内の植物景観	3,4,5,6,7	〃
（2）近代における城内の植物景観	7,8,9	〃
（3）城内における花見の始まりと歴史		〃
5. 現在の熊本城跡の利活用状況		実績より
第3章 熊本城跡における環境面		
1. 気候と土壌		生物多様性戦略から抜粋
2. 動植物の生息・生育状況、希少動植物の存在		保存活用計画から抜粋
第4章 みどりの現状と課題		
1. 樹木（高木）		
（1）樹木の健全性・安全性	2	樹木点検結果から
（2）遺構（建造物・石垣）への影響	10	〃
（3）景観面	6,7,8,11	〃
2. 古樹	17,18	〃
3. 桜	13,14,15,16	〃
第5章 みどりの保存と管理の方針	19,20	
1. 樹木点検の実施による状態把握		
2. 来城者の安全確保	12	
3. 石垣・遺構の保護	12	
4. 景観（視点場からの眺望等）		
5. 美観と健全な樹木を育てる管理手法		
6. 古樹の保護育成		
7. 桜の保護育成		
8. 現状変更について		
9. 伐採後の対応		
10. 伐採後の木材活用		
第6章 樹木管理の体制		
1. 庁内における体制		
2. 樹木管理に係る受託業者や樹木医等との体制		
3. 市民との協働		
第7章 事業実施計画		
1. 短期計画		
2. 中長期計画		
参考文献等		

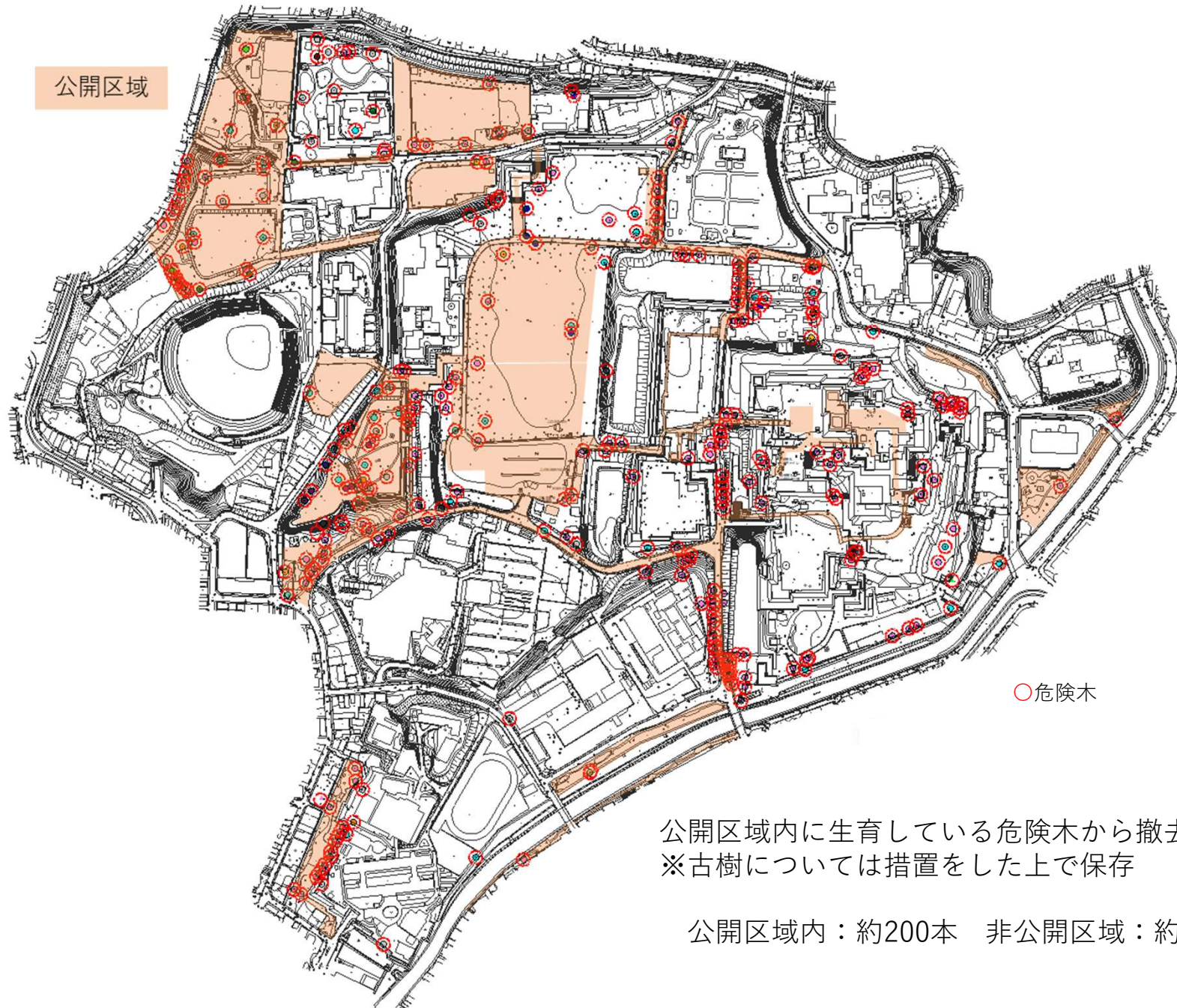
全樹木 位置図 (現状)

資料3-3-1



危険木(D判定) 位置図

資料3-3-2



公開区域内に生育している危険木から撤去を行う
※古樹については措置をした上で保存

公開区域内：約200本 非公開区域：約120本

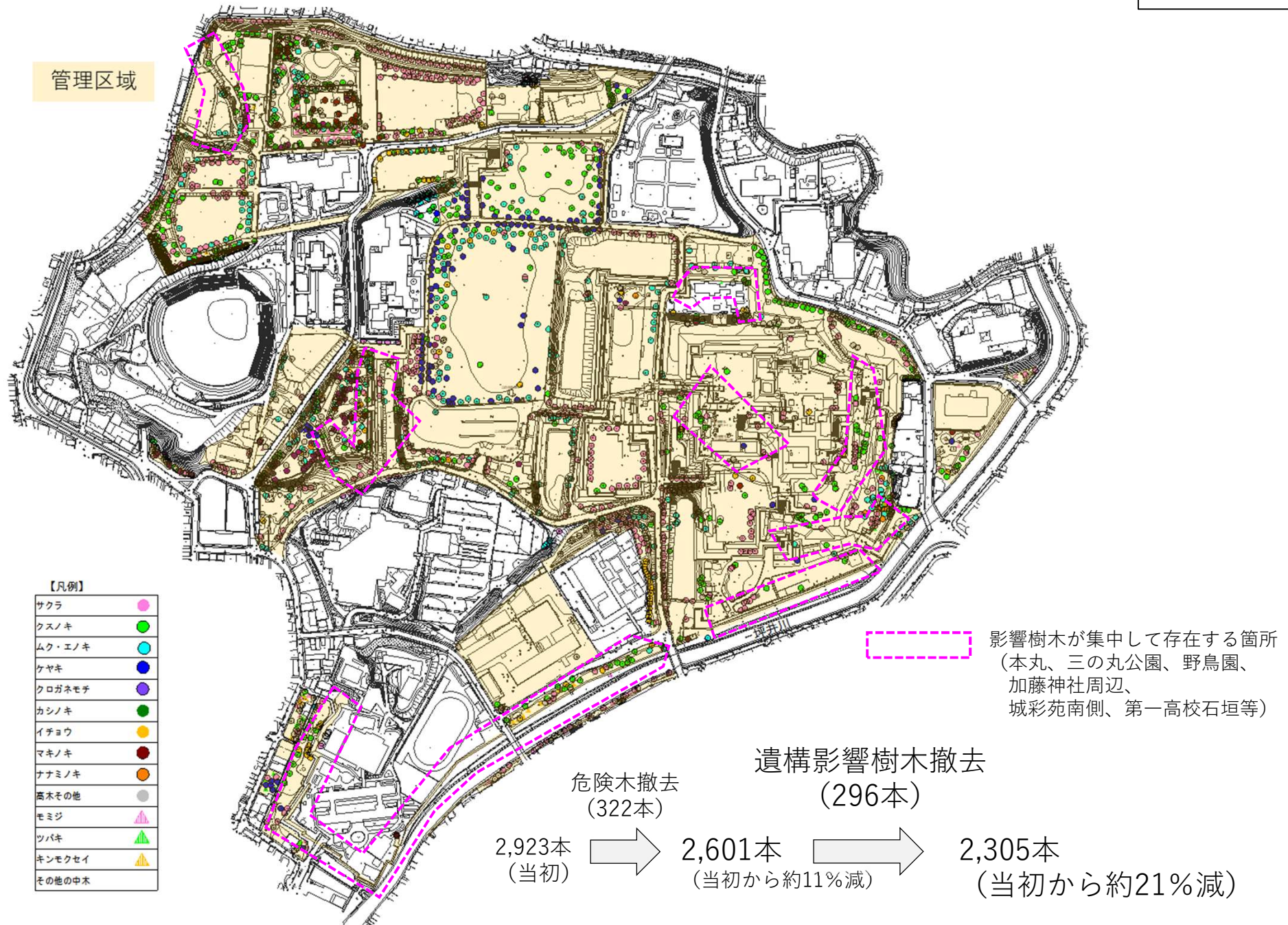


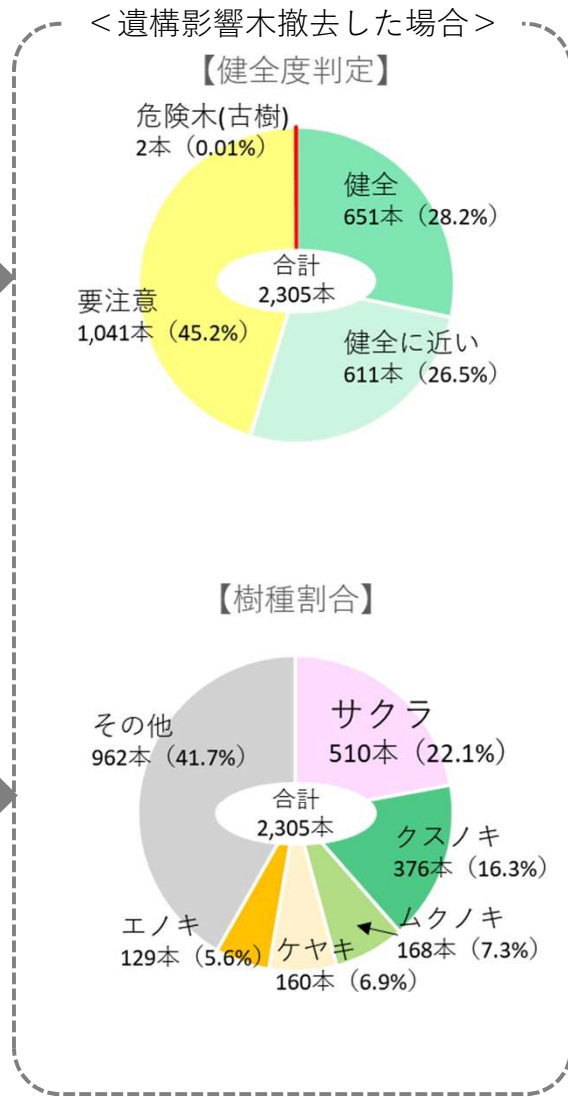
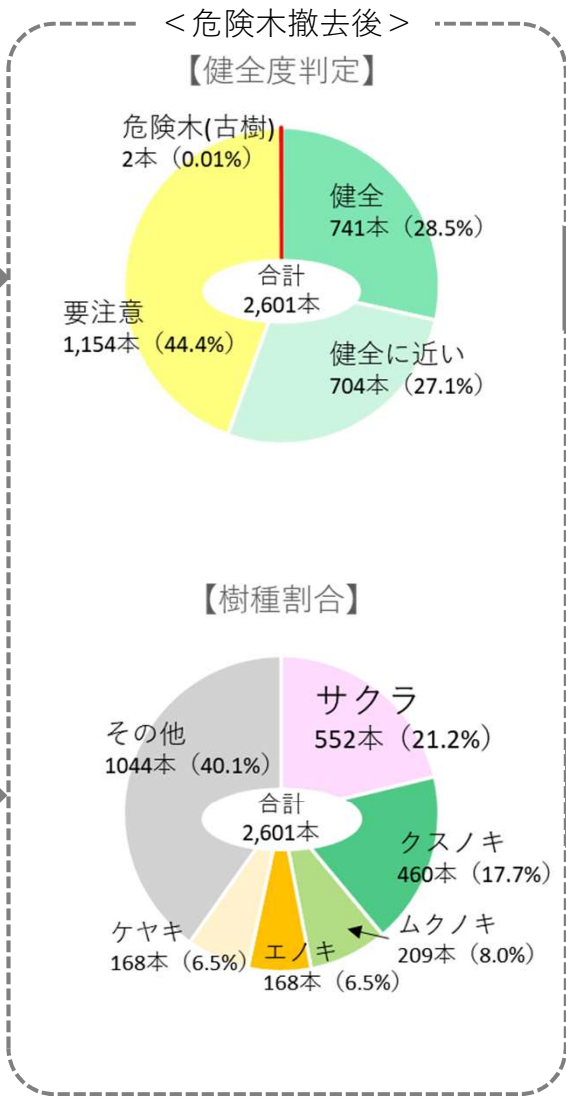
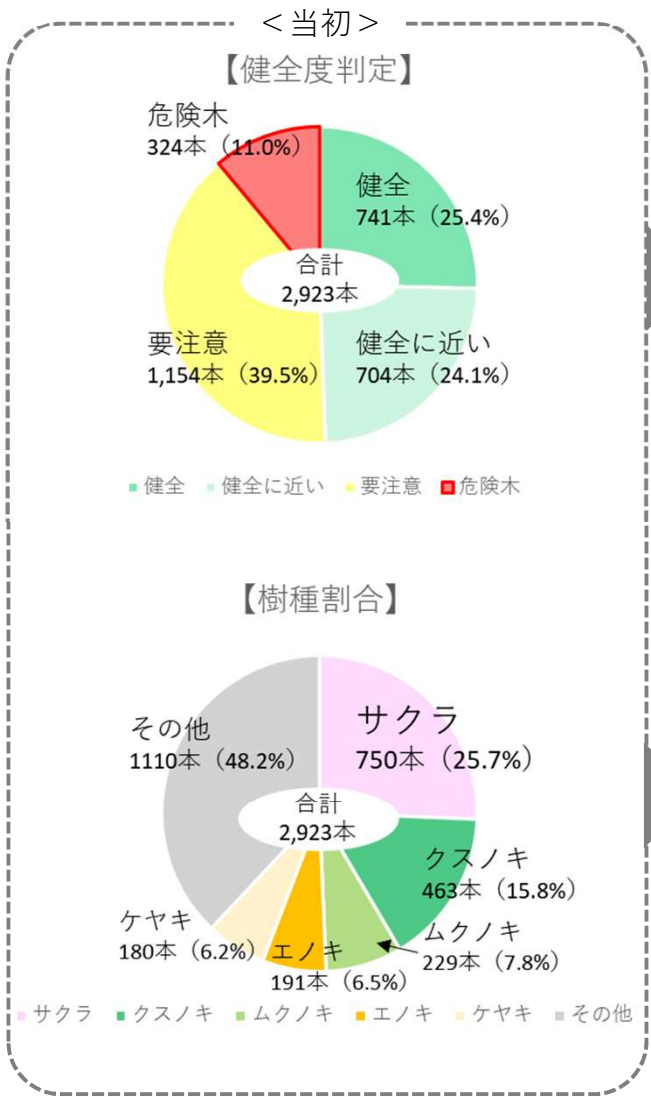
遺構影響樹木 位置図

資料3-3-4

管理区域







アンケート実施状況

実施期間：令和3年11月1日～

対象者：来城者（特別見学通路北口、南口、二の丸券売所周辺にて実施）

近隣関係者（一新校区、城彩苑内の企業、国立病院、加藤神社、護国神社、
 稲荷神社、熊本大神宮、県立美術館、KKR ホテル、熊本市博物館、
 リブワーク藤崎台球場運営者、よかこ案内人、上通・下通商工会等）

令和3年11月29日時点集計数：320件

※集計結果については後日報告します

熊本城の樹木に関するアンケートのお願い

この度はアンケートにご協力頂きありがとうございます。

このアンケートは今後の熊本城内樹木の管理方法やサービスの向上のために利用いたします。該当するものを○で囲んでください。

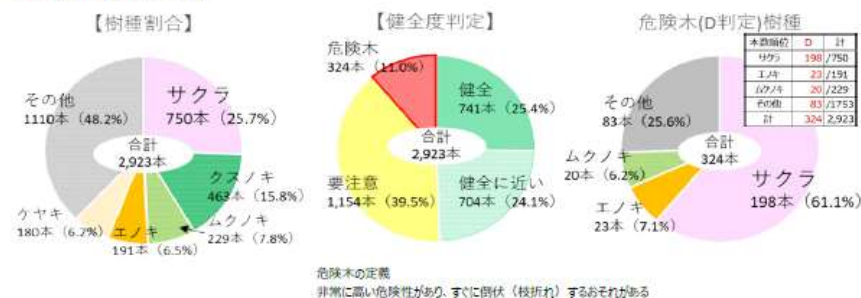
ご性別	男性	女性	その他	回答しない	
ご年代	10代未満	10代～20代	30～40代	50代～60代	70代以上
お住まい	熊本市内（中央区・東区・南区・西区・北区）			熊本県内（市・町・村）	
	熊本県外（都・道・府・県）			海外	

【質問 1】熊本城の樹木や緑に望むことは何ですか？（複数回答可）

1. 季節感(花見や紅葉等)	2. 緑陰(日陰)	3. 美しい景観	4. ヒートアイランド現象などの都市部の環境改善
5. 野鳥など、生物の住処	6. その他（ ）		

昨年度実施した樹木医による樹木点検の結果、城内には高さ3.0m以上の樹木が2,923本あることが分かりました。そのうち、約1割（324本）の樹木が今にも倒木する可能性がある**危険木（伐採予定）**として判定されました。また、その他にも約1割の樹木が**文化財に影響を及ぼしている**ということも確認されました。今後そのような異常を有した樹木に対しては、根元から切る（伐採）、枝を落とす（剪定）を含め、適正な保存管理を検討していく予定です。下記の検討内容についてどう感じますか？

○熊本城内の樹木点検の結果



【質問 2】危険木については、安全確保のため根本から切る（伐採）ことも仕方ないと思いますか？

1. はい	2. いいえ	3. その他（ ）
-------	--------	-----------

【質問 3】サクラは城内に750本あり、そのうち危険木は198本という結果を確認しています。

サクラを伐採した場合は新しくサクラを植えることを望みますか？

1. はい	2. いいえ	3. その他（ ）
-------	--------	-----------

裏へ続きます⇒

【質問 4】倒木すると“文化財建造物”に被害が生じる可能性がある、樹木の根が“石垣”を押して崩落する可能性があるなど、熊本城の文化財に悪影響を与える樹木については、根元から切る（伐採）ことも仕方ないと思いますか？

1. はい 2. いいえ 3. その他（ ）



（文化財建造物沿いの倒木）



（成長し石垣を押す樹木）



（石垣から生えている樹木）

【質問 5】熊本城の樹木を管理する中で優先してほしいことは何ですか？

1. 安全性 2. 遺構（歴史的建造物や石垣）の保護 3. 景観
4. その他（ ）

【質問 6】熊本城の樹木や緑に対してご意見があれば自由にご記入ください

ご協力いただきありがとうございました。

【追加資料】

通町筋からのテスト剪定結果

クスノキ 21 本に対して剪定を実施

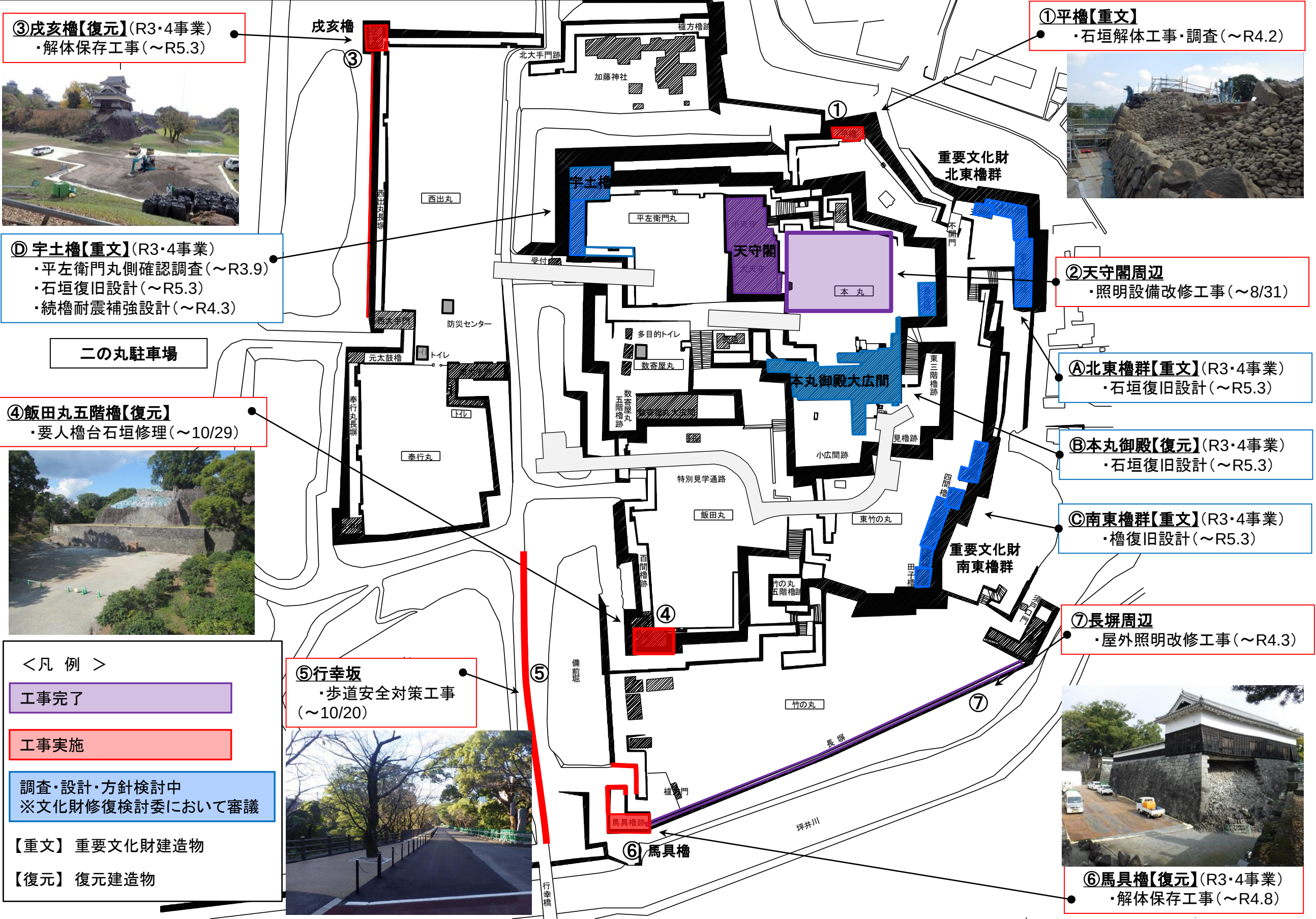
剪定前（令和3年11月上旬）



剪定後（令和3年11月中旬）



令和3年度熊本城復旧・整備状況について①<本丸地区>



令和3年度熊本城復旧・整備状況について②<本丸地区以外>

⑤ 旧細川刑部邸【県重文】(R2～4事業)
・復旧設計(～R4.9)

⑨ 三の丸広場
・南棟便所排水設備改修工事(～11/30)

⑩ 二の丸広場・催し広場
・暗渠排水管等更新設計・工事(～R4.3)
・催し広場便所給排水設備改修工事

⑪ 清爽園
・公園施設(安全柵設置)工事

⑧ 監物櫓【重文】
・石垣解体・修理工事・調査(～R4.2)
・櫓復旧工事(R3～5事業)



別図(本丸地区)参照

<凡 例>

工事完了

工事実施

調査・設計・方針検討中
※文化財修復検討委において審議

【重文】重要文化財建造物

【復元】復元建造物